

SUGINAMI CITIZENS'

杉並区気候区民会議

CLIMATE ASSEMBLY

実施報告書

令和7（2025）年3月
杉並区

目次

第1章 杉並区気候区民会議の概要 1

- 1 | 開催趣旨 1
- 2 | 参加者の選定方法 2
- 3 | プログラムの特徴 2
- 4 | 開催記録 4
- 5 | 運営上の工夫 4

第2章 各回の概要とグループワークの結果 6

- 1 | 第1回会議 6
 - (1) 開催概要 6
 - (2) 会議のプログラム 6
 - (3) 情報提供の内容 8
 - (4) 情報提供に対する質問と回答の内容 10
 - (5) 意見交換の結果 22
 - (6) アンケートの概要と結果 30
- 2 | 第2回会議 38
 - (1) 開催概要 38
 - (2) 会議のプログラム 38
 - (3) 情報提供の内容 40
 - (4) 情報提供に対する質問と回答の内容 42
 - (5) 意見交換の結果 51
 - (6) アンケートの概要と結果 61

■ 3 第3回会議	71
(1) 開催概要	71
(2) 会議のプログラム	71
(3) 参加者からの質問と回答の内容	72
(4) グループワークの結果	74
(5) アンケートの概要と結果	80
■ 4 第4回会議	88
(1) 開催概要	88
(2) 会議のプログラム	88
(3) グループワークの結果	89
(4) アンケートの概要と結果	95
(5) 評価アンケートの実施	104
■ 5 第5回会議	109
(1) 開催概要	109
(2) 会議のプログラム	109
(3) グループワークの結果	110
(4) アンケートの概要と結果	112
■ 6 第6回会議	121
(1) 開催概要	121
(2) 会議のプログラム	121
(3) グループワークの結果	122
(4) アンケートの概要と結果	124

第3章 意見提案の作成過程 135

■ 1 意見提案の概要	135
■ 2 テーマ別の提案内容	137
■ 3 意見提案の作成プロセス	141

第1章 杉並区気候区民会議の概要

1 | 開催趣旨

杉並区では、令和32年（2050年）までに地球温暖化の原因である温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「2050年ゼロカーボンシティ」の実現を目指しています。今、地球温暖化は急速に進行しており、猛暑や豪雨など、温暖化の脅威は区民の暮らしや命にかかわる問題です。このような「気候危機」とも言える事態を食い止めるためには、一人ひとりが当事者意識を持ち、具体的な行動につなげていくことが重要です。そこで、区民の参画による気候変動対策を推進していくため、令和6年3月から8月まで「杉並区気候区民会議」を開催しました。

杉並区気候区民会議では、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、無作為抽出で選ばれた様々な年代の区民が気候変動対策に関して有識者等から情報提供を受けながら、議論を重ねました。全6回の議論を通じて、杉並区気候区民会議として大切だと考える「全体方針」や2050年までに実現したい杉並区の「めざす姿」、そして、その実現に向けて多様な主体が連携しながら実施すべきテーマ別（「エネルギー」、「循環型社会」、「みどり」、「交通」）の取組を意見提案としてまとめました。

杉並区は意見提案の趣旨を踏まえ、事業化等に向けて検討し、その結果を公表していきます。

■ 杉並区ゼロカーボンシティ宣言について

杉並区では、従前から取り組んできた地球温暖化対策の取組等を、より一層進める必要があるとして、令和3年（2021年）11月に、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。

今後、区は区民や事業者の皆さまとともに脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していきます。

詳細：

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s102/10618.html>

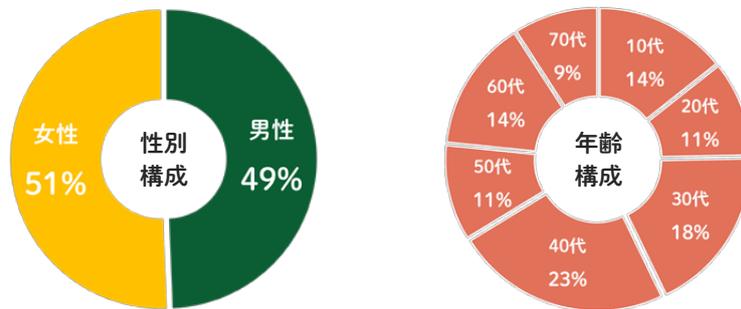


2 | 参加者の選定方法

(1) 選定方法

杉並区民約57万人の中から、16歳以上の区民5,000名を無作為に抽出し、参加の希望があった199名からさらに年齢層や性別、住所について区の人口統計を参考に選出することで、80名の参加者を決定しました（辞退者3名）。

(2) 参加者の構成

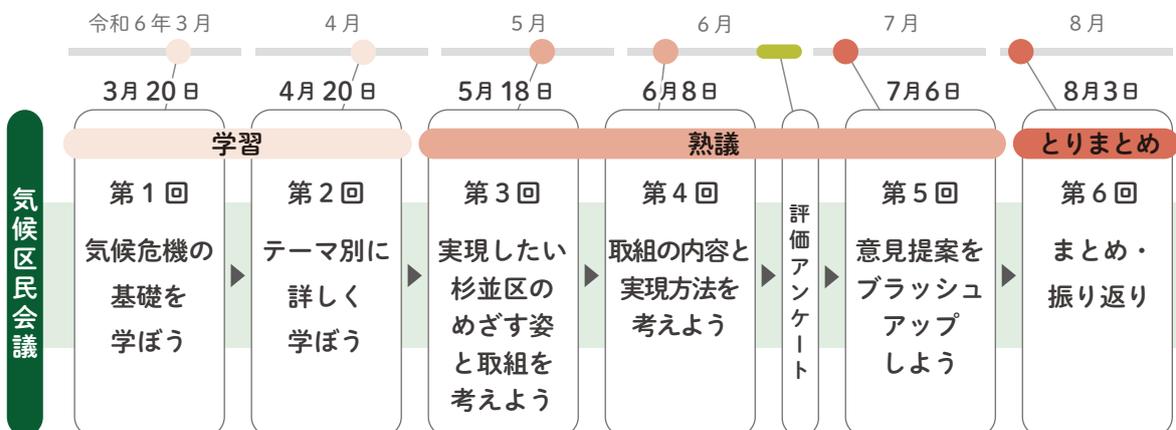


参加が確定した77名の参加者の内訳

3 | プログラムの特徴

(1) 開催日程とテーマ

学習から熟議、意見提案のとりまとめまでを3つのステップで進めました。前半の学習期間では気候変動の現状や各テーマについて集中的に学び、後半の熟議で意見提案に向けて議論しました。



(2) 各回の概要



1 気候変動の基礎・テーマ別に詳しく学ぶ

専門家から気候変動の基礎情報や、気候区民会議の役割・重要性について学びました。各テーマにおいて、学識者、事業者、現場で活動する方、杉並区など、それぞれの分野で活躍する様々な立場の方から、パネルディスカッション形式で多角的に学びました。



3 めざす姿と取組のアイデア出し

気候変動対策が進んだ杉並区のめざす姿を考え、全体でシール投票を実施。4つのテーマに関連する取組アイデアをたくさん出し合いました。



4 目標と取組の検討

第4回からは、テーマ別のグループに分かれて議論を行い、「めざす姿」を実現するために達成すべき目標や取組を考えました。



5 意見提案のブラッシュアップ

他のグループの取組に意見するポスターセッションと、テーマ別のグループワークを通じて、取組をさらにブラッシュアップしました。



6 まとめ・振り返り

各グループで意見提案を最終確認して全体発表を行い、気候区民会議全体の振り返り後、区長に意見提案を提出しました。

4 | 開催記録

当日の資料や記録動画、開催レポートを含む各回の開催記録は、杉並区ホームページに掲載しています。

■ 杉並区気候区民会議の概要

以下の区ホームページから、各回の記録をご覧ください。

▽ 杉並区公式ホームページ

URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/machizukuri/kankyou/kikoukumin/index.html>



5 | 運営上の工夫

会議を運営する上で、以下の点について工夫しました。

■ マイボトルの利用促進

プラスチックごみの削減と参加者の行動変容を目的に、区役所内のボトル対応型給水機について周知し、マイボトルの利用を促進しました。

■ ペーパーレスでの開催

書類などの印刷は可能な限り控える「ペーパーレス」な会議運営につとめました。

会議資料は会場スクリーンに加えて、参加者が手元で閲覧できるように、会場で資料を読み込むための二次元コードを用意して、スマートフォンなどの端末で閲覧可能にしました。

また、端末がない方には事務局よりタブレットの貸出しを行いました。

さらに、参加者が資料にアクセスしやすい環境をつくるため、会場には専用のWi-Fiを設置しました。



■ 参加者専用ポータルサイトの開設

ポータルサイトを開設して会議資料や参考資料・動画等を集約することで、参加者が会議に関する情報をまとめて得られるようにしました。



■ 質問フォームによる参加者からの質問への対応

情報提供に関する不明点やより詳しく知りたい点をいつでも専門家や区に質問ができるよう、ポータルサイト内に質問フォームを設置しました。

質問は表に自動集約して参加者も閲覧できるようにし、会議中の質疑応答において紹介しきれなかった内容は、後日、区や専門家から回答を記入しました。

* 質問への回答については、第2章の第1回～第3回の「情報提供に対する質問と回答の内容」をご参照ください。



■ 動画の撮影と公開

参加者が欠席の場合でも会議の様子や内容がわかるように、講義や各グループからの発表などは動画撮影を行い、動画は各回終了後にYouTube 杉並区公式チャンネルに公開しました。

▽ YouTube 杉並区公式チャンネル

URL :
https://www.youtube.com/@suginami_tokyo



第2章 各回の概要とグループワークの結果

1 | 第1回会議

(1) 開催概要

日時 2024年3月20日（水・祝）9:00～12:00（3時間）

場所 杉並区役所 本庁舎 第4会議室（杉並区阿佐谷南1-15-1）

テーマ 気候危機の基礎を学ぼう

内容 気候危機の現状や区民の役割等に関する総論と、「エネルギー」のテーマについて、気候変動対策に取り組む学識者、若者世代、事業者、中間支援団体、行政が、それぞれの立場で情報提供し、杉並区の気候変動対策に何が必要か多角的な視点から理解を深めました。

参加人数 68名

(2) 会議のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	9:00	5分	あいさつ・はじめに
	9:05	10分	オリエンテーション：気候区民会議の目的と全体の進め方など
総論： 気候危機の 現状と 区民の役割	9:15	15分	なぜわたしたちは、気候変動問題に取り組まないといけないのか？ 江守正多 東京大学未来ビジョン研究センター教授／ 国立環境研究所上級主席研究員
	9:30	10分	わたしにとっての気候変動問題：若者世代からのメッセージ 芝崎瑞穂 Change Our Next Decade 代表理事／ 北海道大学大学院文学院 博士後期課程
	9:40	10分	なんで気候区民会議をやるの？：ミニ・パブリックスの意義 三上直之 名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻 教授
	9:50	20分	グループで意見交換：感想の共有
	10:10	5分	意見交換のポイントの共有（グループファシリテーターより）
	10:15	10分	環境先進都市杉並を目指して：ゼロカーボン社会を創造しよう 岸本聡子 杉並区長
	10:25	5分	質疑応答

プログラム	時間		概要
	10:30	10分	休憩
テーマ： エネルギー 	10:40	45分	情報提供：気候変動問題に対処するため、 どんなエネルギーをどのように使えばいいの？ モデレーター： 小嶋公史 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES） 関西研究センタープログラムディレクター・ 上席研究員 パネリスト： 高木直樹 信州大学・名誉教授 工学部建築学科 谷田智洋 株式会社 細田工務店 鈴木知子 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット （全国地球温暖化防止活動推進センター：JCCCA） 有坂直子 杉並区環境部温暖化対策担当
	11:30	15分	グループで意見交換：感想の共有
	11:45	7分	質疑応答
	11:52	8分	まとめ・次回ご案内
	12:00		終了

(3) 情報提供の内容

* 詳細は、区ホームページに掲載している当日の資料や記録動画をご覧ください。

■ 総論：気候危機の現状と区民の役割（講演）



江守正多 東京大学未来ビジョン研究センター教授／国立環境研究所上級主席研究員



芝崎瑞穂 Change Our Next Decade 代表理事／北海道大学大学院文学院 博士後期課程



三上直之 名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻 教授



岸本聡子 杉並区長

■ テーマ：エネルギー（パネルディスカッション）

～気候変動問題に対処するため、どんなエネルギーをどのように使えばいいの？～



有坂直子
杉並区環境部
温暖化対策担当

鈴木知子
一般社団法人
地球温暖化防止
全国ネット
(全国地球温暖化防止
活動推進センター)

谷田智洋
株式会社
細田工務店

高木直樹
信州大学・
名誉教授 工学部
建築学科

小嶋公史
公益財団法人
地球環境戦略
研究機関
(IGES)

■情報提供・意見討論のグラフィックレコーディング

杉並区気候区民会議 2024. 3. 20
第1回 気候危機の基礎を学ぼう

総論

江守先生
「ぼくたちは、気候変動問題に
取り組まないとどうなるの？」

温暖化のしくみ
温室効果ガス
CO₂、CH₄、N₂O
化石燃料の使用が増える
海面上昇、熱波、渇水、食料不足、生態系崩壊

温暖化がもたらす影響
+1.2℃
+4℃、+8℃、+10℃
社会システムの大転換

「わたしたちとしての気候変動問題」
気候変動は「環境問題」
気候変動は「健康問題」
気候変動は「経済問題」
気候変動は「社会問題」

三上先生
「なんで気候区民会議をやるの？」
2020札幌と始まった杉並は15年前
1970年代「気候変動」
2008年「気候変動」
2015年「気候変動」
2019年「気候変動」
2021年「気候変動」

岸本区長
「環境先進都市杉並を目指して」
1972「成長の限界」
100年以内で持続的ではいられない
SDGs
気候変動対策

科学 ↔ 政治
気候区民会議
気候変動対策

意見討論

高木先生
「杉並区でゼロカーボン
実現に向けて」
杉並区 VS 国産平均
55%削減
25%削減
9.4%削減

細田工務店 谷田さん
「環境配慮の観点から
住宅のあり方」
環境配慮
ZEH
環境配慮
住宅のあり方

鈴木さん
「高層ビルでの取組」
① 機器の使い方を工夫する
② 再生可能エネルギーを活用
③ 知る、関心をもち、行動する

有坂区長
「杉並区地球温暖化対策実行計画に
基づくエネルギー施策」
太陽光パネル導入
省エネ
再生可能エネルギー

2024年4月20日(土)
10:00-11:00
13:30-17:30
清掃工場見学 第2日会

※グラフィックレコーディングの詳細は、杉並区ホームページ「第1回 気候区民会議」よりご覧ください。
URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/s103/694.html>



(4) 情報提供に対する質問と回答の内容

会議の情報提供に対して参加者から会議中および会議後にあった質問とそれに対する回答の内容を以下に示します。これらの質問と回答は、参加者ポータルサイトを通じて参加者が常時確認できるようにしました。

*原則として回答された内容のまま掲載しているため、誤字脱字と思われるものもそのまま表記しています。

No.	質問（第1回会議）	回答
1	地球温暖化に対して、日本はどのような対策を計画・実施していますか？	<p>国は、地球温暖化対策推進法に基づく地球温暖化対策計画を2016年5月13日に閣議決定した後、2021年10月22日に改定し、2030年度において、温室効果ガス46%削減（2013年度比）を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。改定された地球温暖化対策計画は、この新たな削減目標も踏まえて策定したもので、二酸化炭素以外も含む温室効果ガスの全てを網羅し、新たな2030年度目標の裏付けとなる対策・施策を記載して新目標実現への道筋を描いています。</p> <p>地球温暖化対策計画 概要 https://www.env.go.jp/content/900440196.pdf</p> <p>地球温暖化対策計画 全体版（本文・別表） https://www.env.go.jp/content/900440195.pdf</p>
2	<p>以下の点について質問です（後ほど説明があるかもしれません）</p> <p>①区政単位で気候変動対策をすることの意義 ・国政、都政など各行政単位でとるべき対策があると思いますが、なぜ区レベルで気候変動対策に取り組むべきと考えるの</p>	<p>気候変動対策は喫緊の課題であり、国や都、区、住民、事業者等すべての組織や人において取り組むことが必要であり、地域に身近な区だからこそ、地域の特性に応じた対策を行えるものと考えます。</p> <p>また国や都との連携については、双方が発信している情報の共有、補助金の活用等を行い、国や都との適切な役割分担の下、気候変動対策を積極的に推進していきます。</p> <p>なお、第1回会議の区長講演では、以下の内容を紹介しました。</p>

No.	質問（第1回会議）	回答
	<p>か、また、区であるからこそどういう視点で対策に取り組むべきかの考えをお伺いさせていただきます</p> <p>・気候変動はその問題の大きさからして区だけの対策ではその効果は極めて限定的に思われ、国家レベル、国レベルの対策がより効果的なように思われます。そして実際に国政、都政レベルでの対策もとられていますが、その中でどのように国や都と連携するのかお伺いさせていただきます</p>	<p>杉並区内の企業、家庭、公的機関、交通機関や車の使っている化石燃料費・電気代などのエネルギー支出全体は年間1,000億円を超えるという試算もあります。石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料のほとんどは国外から買うので、このお金は海外に流出し、結果として地域でCO₂になります。来年度の区の一般会計予算は約2,229億円ですので化石燃料に使っているお金の大きさに驚きます。財政や家計の点からのみでも自治体が気候変動危機に取り組む意味が大きいとわかります。自治体は化石燃料を域内で生産できる再エネに置き換え、脱炭素の地域経済と社会を作っていく未来を選択することができるのです。</p>
3	<p>以下の点について質問です（後ほど説明があるかもしれません）</p> <p>②杉並区の位置付け、区レベルで対策することの効果</p> <p>・杉並区は住宅が多いので、家庭部門の比率が高いとのことでした。これは東京都や国レベルでみると比率は異なるのでしょうか</p> <p>・杉並区の排出量は都全体でみたときにどの程度の比率を占めるのでしょうか</p> <p>・その上で、杉並区においては家庭部門での対策がより効果的という判断になるのかもしれませんが、その家庭部門の対策によってどの程度全体の排出量に影響を与えるのか効果のイメージをお伺いさせていただきます</p>	<p>温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素排出量において家庭部門が占める割合は、杉並区では52.8%、東京都では29.3%、日本全体では15.5%（いずれも2019年度）です。</p> <p>また、東京都全体の二酸化炭素排出量に対して、杉並区の排出量は2.69%です（2020年）。</p> <p>この杉並区の排出量は、区域内に工場や産業などが少ない中で区域内の直接的な排出量のみがカウントされている数値であり、生活の中で使っている製品などを生産するうえでの排出量や、物流での排出量などは、杉並区の区域外でカウントされています。</p> <p>そのため、区域内の直接的な排出量として杉並区の割合は高くありませんが、家庭生活における一人ひとりの意識醸成や行動変容による実質的な排出量の削減効果は大きく、非常に重要です。</p> <p>なお、杉並区温暖化対策実行計画（区域施策編）のP70～76に民生部門における取組事例及び削減効果の試算</p>

No.	質問（第1回会議）	回答
		<p>を示しています。具体的には、国や都のデータ等を基に、「日々の省エネ行動」、「給湯器等をエネルギー消費効率が優れた製品に代替」、「新築・改築に伴う省エネ化」、「太陽光発電システムの設置」において区で独自試算を行い、温対計画の目標である2030年カーボンハーフを実現するイメージを示しています。</p> <p>（参考）</p> <p>私たちの消費が気候変動へもたらす影響を消費ベースで把握する「カーボンフットプリント」という考え方があります。カーボンフットプリントの考え方では、私たちが消費する製品やサービスのライフサイクル（資源の採取、素材の加工、製品の製造、流通、小売、使用、廃棄）において生じる温室効果ガスの排出を把握することで、地域内で生じる直接的な温室効果ガス排出量だけでなく、輸入品も含め、日本国内での消費がもたらす世界全体における気候変動へのインパクトを明らかにすることができます。</p> <p>カーボンフットプリントを用いた日本の温室効果ガス排出量の割合は、食が12%、住居が17%、移動が12%、消費財（生活用品など）が10%、レジャーが5%、サービスが5%で、全体の約6割が家計によるものという報告もあります。</p> <p>区の排出量：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」</p> <p>都の排出量：「東京都における最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量総合調査」</p> <p>国の排出量：国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター「温室効果ガスインベントリオフィス」</p> <p>カーボンフットプリントの定義と排出量：令和2年度環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書（環境省）</p>

No.	質問（第1回会議）	回答
4	「ゼロカーボン社会」という言葉は、市民目線の言葉なのでしょうか？ものすごく他人事かのように感じてしまいます。	今後の会議の中で、気候変動対策を具体的に考えていただくのに先立ち、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた杉並区の将来像について参加者の皆さまに考えていただく予定です。そのような中で、住民目線の「ゼロカーボン（脱炭素）社会」とはどのような姿なのか、また実現にはどのような取組が必要なのかなど、議論をしながら理解を深めていただきたいと思いますと考えています。
5	江守さんのお話で、対策をした将来と、していない将来の比較がありました。どのような対策をすると左側（対策後）の将来になるのでしょうか？	<p>対策がうまくいった場合というのは、世界全体で温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることに成功したような場合です。どのような対策をして実質ゼロにするかについての詳細（吸収をどうするか、CO₂以外の温室効果ガスをどうするか等）については様々な選択肢があり、国や地域の特性によっても異なるので、ゼロカーボンに至る道すじは一つではありません。しかし、基本的には、世界で化石燃料からの脱却が進むことが絶対条件であるといえます。逆に、対策を行わなかった場合というのは、今後も世界が化石燃料に依存し続けた場合です。（東京大学未来ビジョン研究センター／国立環境研究所 江守先生より）</p> <p>*事務局補足：各国の削減目標を積み上げても、対策をした将来に達するための削減が足りていないことが現状（江守先生発表資料：スライド9）ですので、あらゆる主体がゼロカーボンに向けて、より野心的な対策を実施する必要があります。</p>
6	杉並区の排出内訳がありましたが、そもそもの排出量はどのくらいなのでしょう？そして掲げている目標はどのくらいなのでしょう？一人一人に落とし込むとなんグラム？になるのでしょうか？	杉並区の二酸化炭素排出量は、2019年度で146万t-CO ₂ であり、区民1人当たり2.56t-CO ₂ （参考：国民平均9.75t-CO ₂ ）です。杉並区は温室効果ガス排出量を2000年度比で50%削減（カーボンハーフ）し、2050年100%削減（ゼロカーボン）を目指しています。

No.	質問（第1回会議）	回答
7	<p>岸本区長の話の中で。日本は4%の削減？に対して何をするとやっているのでしょうか？</p>	<p>※区長発言の「日本4%、EU6%、米国5%」は、「日本6%、EU8%、米国7%」に訂正します。</p> <p>1997年に京都で開催された国連気候変動枠組条約第三回締約国会議（COP3）において、先進国の温室効果ガス排出量について、法的拘束力のある数値目標が各国ごとに設定されました。先進国全体で、2008年から2012年までの約束期間に、削減基準年の排出量から5.2%削減することが約束されました。その中で、日本は6%の削減を約束しています。</p> <p>参考：環境省 HP https://www.env.go.jp/earth/ondanka/cop/column.html</p>
8	<p>本日の説明にもあったように気候問題・脱炭素は喫緊の最重要課題でありながら、何故米国前大統領は、パリ協定から離脱したのか？米国にも本問題に懐疑的な科学者が一定量いるのではないか？現状の世界で最大のリスクは『もしトラ』ではないのか？</p> <p>そう考えると『もしトラ』の実現をいかに防ぐことがもっともやるべき事では？</p>	<p>米国では保守（～共和党支持）とリベラル（～民主党支持）に社会が二極化してしまっており、その中で気候変動は（銃規制や妊娠中絶とならぶ）対立的なテーマの一つになっています。一般にリベラルは気候変動対策を重視し、保守は規制を嫌うなどの理由でそれに反発する傾向にあります。トランプ前大統領がパリ協定から離脱したのは、保守派の支持層へのアピール、自国優先主義的な政治姿勢などの理由が考えられます。気候変動問題への懐疑論については、米国の保守系の論客などが懐疑的な主張を発信しますが、学術的に有力な説はありません。気候変動問題の克服には国際的な協力が不可欠ですので、自国優先主義的な政治指導者の台頭はおっしゃるとおり大きなリスクだと思います。（東京大学未来ビジョン研究センター／国立環境研究所 江守先生より）</p>
9	<p>省エネ住宅を建てるには、そうでない場合と比べてどれくらい費用がかかりますか？</p>	<p>ハウスメーカーの試算では、杉並区内で準防火地域の注文住宅（2階建 33.5坪：区内の標準的大きさ）について以下のとおりでした。</p>

No.	質問（第1回会議）	回答
		<p>補助金を使用しない場合、差額は235万円ですが、補助金の適用により182万円が支給される可能性があり、その場合は差額が53万円に抑えられます。</p> <p>【補助金なしの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ZEH ではない住宅：2,680万円/戸 ・ ZEH 住宅：2,915万円/戸 <p>→差額：235万円</p> <p>【補助金適用の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ZEH ではない住宅：2,680万円/戸 ・ ZEH 住宅：2,733万円/戸（2,915万円/戸 - 182万円） <p>→差額：53万円</p> <p>【試算条件】</p> <p>（比較対象となる ZEH ではない住宅：H28 年省エネ基準）断熱等級4 一次エネ等級4</p> <p>（ZEH 住宅）断熱等級5 一次エネ等級6 太陽光発電パネル（5kW）搭載</p> <p>【建築費の試算結果】</p> <p>（比較対象となる ZEH ではない住宅：H28 年省エネ基準）2,680万円/戸（80万円/坪）</p> <p>（ZEH 住宅）2,915万円/戸（87万円/坪）</p> <p>※差額内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱材，サッシ，給湯器などの性能仕様の向上：約95万円 ・ 太陽光パネル5kW：約140万円 <p>※※なお、付帯工事、消費税、申請費は別途。</p> <p>【補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京ゼロエミ住宅：（水準 C：2024.10 以降基準）40万円 太陽光発電（10万円×5）50万円

No.	質問（第1回会議）	回答
		<p>・子育てエコホーム（対象者：子育て世代、若年夫婦世帯）：ZEH住宅 80万円 ※浸水想定区域などにかからない場合</p> <p>・杉並区補助金：12万円(5kWの場合)</p> <p>（補助金に関する参考情報） 「東京ゼロエミ住宅」とは？ 東京ゼロエミ住宅 東京都環境局 https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/home/tokyo_zeroemission_house/gaiyou/</p> <p>子育てエコホーム支援事業【公式】 https://kosodate-ecohome.mlit.go.jp/new-house/</p> <p>【エコ住宅促進助成】杉並区再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成（令和6年度） 杉並区公式ホームページ https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/gomi/syouene/1004921.html</p>
10	<p>環境問題の原因は多々あるが、80億人、90億人規模に人口が爆増えたこともその要因と考える。体重50～100kgの哺乳類80億匹が呼気で排出するCO₂排出量は無視できる程度の物なのだろうか？2050年ゼロカーボン実現時には、50万人の杉並区民が呼気で排出するCO₂は、区内の緑化で吸収できるのか？</p>	<p>人間や動物の呼気によるCO₂排出は地球温暖化の原因にはなりません。なぜなら、人間の吐くCO₂の元となる炭素(C)は、食べ物に含まれていた炭素であり、食べ物の元は動物か植物であり、動物の場合も元をたどっていくと植物に行きつきます。植物中の炭素の元は、光合成の際に大気から吸収したCO₂です。ですから、人間の吐くCO₂は、もともと大気にあったものが、ぐるっと回って出ていくだけなので、大気中のCO₂を増やしません。（東京大学未来ビジョン研究センター／国立環境研究所 江守先生より）</p>
11	<p>二酸化炭素排出量の測り方とは？</p>	<p>基本的には、「活動量」×「排出係数（＝単位活動量あたりの排出量）」を足し合わせていきます。たとえば、電気の使用量（活動量）×その電気を1kWh発電するときに排出されるCO₂の量（排出係数）で電気使用の</p>

No.	質問（第1回会議）	回答
		<p>排出量が求められます。同様に、自動車で走った距離（活動量）×その車で1km走るときに排出されるCO₂の量（排出係数）で車移動の排出量が求められます。このように、様々な活動について排出量を求めて、合計します。</p> <p>（東京大学未来ビジョン研究センター／国立環境研究所 江守先生より）</p>
12	<p>自治体単位での取り組み例について世界の事例を知りたい</p>	<p>例えば、「欧州自治体における ネットゼロの実現に向けた取組について」（2023年3月7日、（一財）自治体国際化協会 ロンドン事務所）には英国、北欧諸国の5つの地方自治体のネットゼロに関する先進事例が紹介されています。このうち特筆すべき取組として以下のような事例が紹介されています。</p> <p>市民や企業などに対し、ネットゼロの実現に向けて3つ程度の行動をとることを宣言するよう呼び掛ける （英国ニューカッスル・シティ・カウンシル）</p> <p>パッシブハウス（極めて高い断熱性能と高効率の換気システム等の特徴を持つ超省エネ住宅）の導入促進 （英国エクセター・シティ・カウンシル）</p> <p>都市全体の市民を対象とした個人間排出権取引スキームのデジタルアプリケーション（CitiCAP）の開発 （フィンランドラハティ市）</p> <p>出典：「欧州自治体における ネットゼロの実現に向けた取組について」 （2023年3月7日、（一財）自治体国際化協会ロンドン事務所） https://www.clair.or.jp/j/forum/pub/docs/532.pdf</p> <p>第2回会議のテーマ別情報提供で、世界の自治体・地域の事例の紹介も予定していますので、ご確認ください。</p>

No.	質問（第1回会議）	回答
13	最初の、世界地図で気温上昇のシミュレーションが出ておりましたが、北極付近から真っ赤になっていましたが、北極で気温が上昇していく原因はなぜでしょうか？	北極点のまわりは海（北極海）で、海氷が浮かんでいます。海氷は日射をよく反射しますが、海面は日射をよく吸収します。温暖化すると、海氷の面積が減り（融ける、もしくはできにくくなる）、海面が現れるので、日射の吸収量が増えます。すると、さらに水温・気温が上がり、さらに海氷が減り、さらに日射の吸収が増え、さらに温度が上がる、という悪循環が生じます。これによって、北極海の温度上昇は増幅されます。同様なことは、その周りの陸上での積雪の減少でも起こるため、北半球高緯度陸上でも温度上昇は大きくなります。詳しくいえば他にも理由がありますが、以上が一番わかりやすく、重要な理由です。一方、南極点のまわりは南極大陸で、数千メートルの厚さの氷に覆われているため、同じことは起きません。（東京大学未来ビジョン研究センター／国立環境研究所 江守先生より）
14	もっと緑についての効果が知りたかった	次回の第2回気候区民会議（4/20）では「循環型社会」、「交通」とともに「みどり」も扱います。「みどり」のテーマでは都市の緑地などの効果も扱う予定です。
15	自分がどれだけ地球環境に良い影響をしているかを定量的に知りたいです。どんなアクションが計測対象になるのでしょうか？	一人ひとりの自らの生活スタイルと、それに関わる直接・間接的に生じる温室効果ガス排出量との関係を知り、定量的な診断結果に基づいて具体的な脱炭素アクションを選ぶことができるプラットフォーム「じぶんごとプラネット」をご紹介します。 このWebサイトでは、移動・住居・食・モノとサービス
16	参考文献があれば教えて頂きたいです。	に関する約 10 個の簡単な質問に答えることで、自分に合った脱炭素アクションを知ることができます。 https://www.jibungoto-planet.jp/ (No.16 は No.15 に関連してのご質問と想定して回答しています。)
17	江守先生のスライド P8 によれば、杉並区において廃棄物部門	杉並清掃工場では、杉並区だけでなく近隣区からも一部の廃棄物を受け入れていることなどから、一般廃棄物の

No.	質問（第1回会議）	回答
	<p>が占める温暖化ガスの排出割合は4.6%（2019年度）。しかも、高木先生の資料 P2 によれば、その割合は年々増加しているように見える。廃棄物部門とは、杉並清掃工場が過半と考えて良いか？（廃棄物部門の内訳が知りたい）</p> <p>ゼロカーボン実現に向けて杉並清掃工場を知っておくことは意義深いと考えるが、4月20日午前は別件があり参加できません。別日に見学をすることは可能ですか？</p>	<p>焼却による二酸化炭素排出量がどの程度杉並に起因するものか算定することは困難です。そのため、廃棄物部門の二酸化炭素排出量は、オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」により、各市区町村における一般廃棄物の回収量を基本として算定された数値を利用しています。</p> <p>別日に杉並清掃工場の見学をすることは可能ですが、東京二十三区清掃一部事務組合のホームページから工場見学（個人見学会）についてご参照いただき、直接施設へお申し込みください。</p> <p>URL：https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kengaku/index.html</p>
18	<p>太陽光発電を増やす事が、本当に地球温暖化防止に寄与するのですか？</p>	<p>太陽光発電は、太陽電池を利用して、日光を直接的に電力に変換します。発電そのものには燃料が不要で、運転中は温室効果ガスを排出しません。原料採鉱・精製から廃棄に至るまでのライフサイクル中の排出量を含めても、非常に少ない排出量で電力を供給することが可能です。</p> <p>産総研： https://unit.aist.go.jp/rpd-envene/PV/ja/about_pv/feature/feature_1.html</p>
19	<p>河北総合病院の移転に伴い、安易に樹木を伐採していますが、杉並区は本気で温暖化防止に取り組む気があるのですか？</p>	<p>当該土地のみどりは私有地のみどりであり、これまで地権者の長年の努力と負担により維持されてきたものです。また、今回の病院の移転等は、地権者が、所有地への総合病院の移転を決断されたことを契機としたものです。</p> <p>病院の移転の話があったことをきっかけに、区、地権者及び病院が協力して阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを進めています。このなかで、けやき屋敷のみどりや景観をできる限り保全するとの共通認識のもと三者で協議しながら病院建設を進めるとともに、地区計画などの制度の</p>

第2章 各回の概要とグループワークの結果

No.	質問（第1回会議）	回答
		活用により、阿佐ヶ谷駅北東地区全体におけるみどりの保全・創出に取り組んでいます。こうした本地区における取組を通じて温暖化防止に貢献してまいります。
20	「ゼロカーボン」とはどのような状態か具体的に説明して下さい。	「ゼロカーボン」とは「カーボンニュートラル」のことを示し、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。
21	最終的に取りまとめる「提言」とはどのような物を想定しているのか例を挙げて説明して下さい。	全6回の会議で気候変動対策に関する「意見提案」を提出していただきますが、これは、他自治体の先行事例を参考に、個々の対策について、区民だけではなく杉並区などがその推進のためにどのような行動をとるべきかをまとめたものを想定しています。
22	温室効果ガスの排出量を他の区（地域）と比較しても意味がないとの話がありましたが、それならば何故比較できる指標を作らないのですか？	<p>第1回の気候区民会議では、温室効果ガスの排出量を他の区（地域）と比較しても意味がないという情報提供はしていませんが、ゼロカーボン（脱炭素）社会に向けては、各自治体の地域特性にあった道筋や取組方法があり、各地域の優良事例を共有することは重要だと考えます。</p> <p>なお、指標に関しては、環境情報を開示するプラットフォーム「Carbon Disclosure Project (CDP)」があり、より正確に世界の排出量を把握することを目的に、自治体の排出量を世界で標準化する取組が進んでいます。東京都や京都市など日本の自治体を含む世界の1,100以上の自治体が共通の項目について排出量の報告・情報開示を行っています。現状を把握するという観点では、各地域の状態を比較できるツールです。</p> <p>Carbon Disclosure Project (CDP) https://japan.cdp.net/</p>
23	温室効果ガス(CO ₂)の排出量を減らすなら、原子力発電の割合	原子力発電は確かにCO ₂ 排出量を減らすための選択肢の一つですが、新增設の原発は高コストになるため、

No.	質問（第1回会議）	回答
	<p>を増やせば良いと思いますが、温暖化のリスクと原子力発電によるリスクはどちらの方が高いかシミュレーションした結果はありますか？</p>	<p>（仮に事故等のリスクを受け入れたとしても）原発の割合をどんどん増やすことがよい選択ともいえません。温暖化か原発かという二者択一ではなく、再生可能エネルギー等の選択肢にもっと目を向けるのがよいでしょう。</p> <p>また、温暖化のリスクと原発のリスクは性質が異なるため、単純な比較は難しいです。たとえば、温暖化は世界規模で長期的に確実に進行するリスクである一方、原発の事故は低い確率で特定地域に大きな被害が生じるようなリスクです。さらに、どちらのリスクも複雑な構造を持ちます。たとえば温暖化はCO₂をほとんど排出していない脆弱な人々にリスクを負わせますし、原発は立地地域住民に事故リスクを負わせ、将来世代に放射性廃棄物の長期管理のリスクを負わせます。これらも考慮してリスクを考える必要があるでしょう。（東京大学未来ビジョン研究センター／国立環境研究所 江守先生より）</p>
24	<p>「杉並区気候区民会議」を実施した事を対外的にアピールしたいだけのようにしか感じられないのですが、本件の責任者からどれだけの熱意があるのか話を伺いたい。</p>	<p>気候区民会議の開催は、参加者の皆さまのみならず、区民の皆さまの気候変動対策に関する意識醸成や行動変容につなげていくことを目的に、広く周知を図っていきたいと考えています。</p> <p>また、区は気候変動による温暖化の脅威は、区民の皆さまの暮らしや命に関わる問題として捉えており、区的环境を将来世代に引き継いでいくため、気候区民会議の取組を含む気候変動対策に全力で取り組んでいく考えです。</p>
25	<p>気候変動対策を推進していく「きっかけ」にするとありますが、「待ったなし」と言いながら、随分のんびりしていますね。本気で取り組む覚悟が感じられません。</p>	<p>区の気候変動対策に対する取組姿勢は、上記（No.24）に記載のとおりです。</p>

No.	質問（第1回会議）	回答
26	区民からの提言を基に区が具体的な施策を講じるのか、区が区民に対して一人ひとりが当事者意識を持って行動して欲しいのか、どちらですか？	脱炭素社会に向けた行動は区民一人ひとりの行動の選択が必要になります。しかし、例えば自転車の利用促進のために自転車専用道の十分な整備が必要となるなど、現在の状態では、そのような行動の選択をするために十分な環境が整備されているとはいえません。今回の気候区民会議では、区民がどのような行動をとり、区がどのような施策を講じるべきなのかを議論しますが、双方とも重要であると考えています。

(5) 意見交換の結果

各テーマの情報提供を受けて、参加者が思ったことや考えたことを自由に意見交換しました。テーマごとに、1～12グループのワークシートを以下に示します。

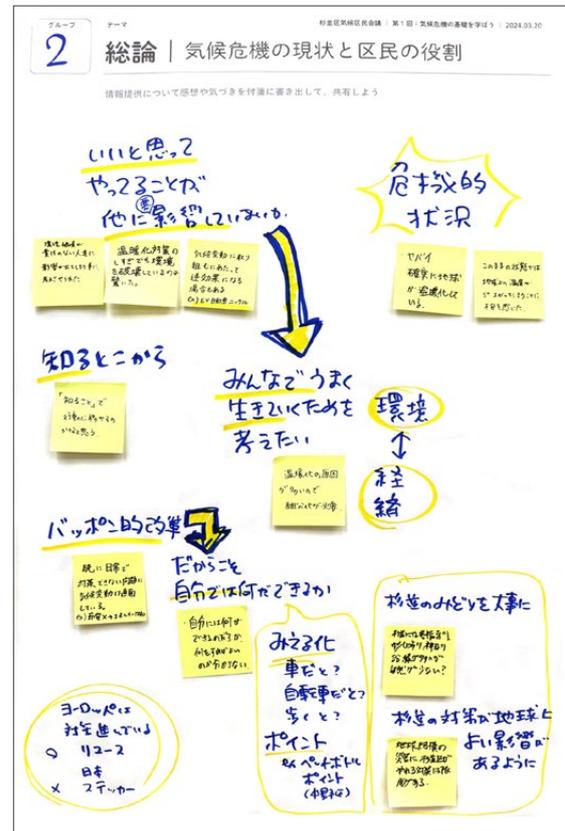
* 意見交換の記録の詳細は、「開催レポート」をご参照ください。

▽ 第1回会議 開催レポート

URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/694/reputo.pdf>



■ 総論：気候危機の現状と区民の役割



グループ 7 テーマ 総論 | 気候危機の現状と区民の役割

杉並区気候区民会議 | 第1回 | 気候危機の現状と区民の役割 | 2024.03.20

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

CO₂削減
削減目標は達成できるのか？

気候危機
気候危機の現状

自然環境
自然環境の現状

市民の役割
市民の役割

グループ 8 テーマ 総論 | 気候危機の現状と区民の役割

杉並区気候区民会議 | 第1回 | 気候危機の現状と区民の役割 | 2024.03.20

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

気候危機
気候危機の現状

市民の役割
市民の役割

環境対策
環境対策の現状

気候変動
気候変動の現状

グループ 9 テーマ 総論 | 気候危機の現状と区民の役割

杉並区気候区民会議 | 第1回 | 気候危機の現状と区民の役割 | 2024.03.20

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

自然環境
自然環境の現状

市民の役割
市民の役割

気候危機
気候危機の現状

自然の大切さ
自然の大切さ

グループ 10 テーマ 総論 | 気候危機の現状と区民の役割

杉並区気候区民会議 | 第1回 | 気候危機の現状と区民の役割 | 2024.03.20

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

2050年
2050年の気候危機

気候危機
気候危機の現状

市民の役割
市民の役割

気候変動
気候変動の現状

グループ 11 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第1回: 気候危機の基礎を学ぶ | 2024.03.20

総論 | 気候危機の現状と区民の役割

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

地球の現状
 気候変動が加速している
 地球温暖化が深刻化している
 自然災害が増えている

若い世代が中心
 気候変動に対する意識が若い世代に高い
 世代間の認識を合わせたい

EV普及は環境破壊がある
 EV自動車の普及は環境破壊がある
 EV自動車の普及は環境破壊がある

区民会議が重要
 区民会議が重要
 区民会議が重要

70代以降の世代は
 70代以降の世代は
 70代以降の世代は

思い入れが深い
 思い入れが深い
 思い入れが深い

グループ 12 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第1回: 気候危機の基礎を学ぶ | 2024.03.20

総論 | 気候危機の現状と区民の役割

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

全員に関わる問題
 全員に関わる問題
 全員に関わる問題

気候変動が深刻化している
 気候変動が深刻化している
 気候変動が深刻化している

個人
 個人
 個人

区民会議が重要
 区民会議が重要
 区民会議が重要

70代以降の世代は
 70代以降の世代は
 70代以降の世代は

思い入れが深い
 思い入れが深い
 思い入れが深い

第2章 各回の概要とグループワークの結果

グループ 5 エネルギー | 気候変動問題に対処するため、どんなエネルギーをどのように使えばいいの？

情報提供や意見討論について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

負担を重くない...
 ・子供たちの未来を守りたいだけではない
 ・実はお金がかかる
 ・どこまでかかれば五分
 ・人生全体的に五分プラスか五分マイナスか
 ・若い世代にどう説明するか

けどう
 ・太陽光のメリット
 ・デメリット
 ・数字が分るとイメージがわく
 ・分かってもらう

より意義
 ・住みやすさ
 ・安心感
 ・実感よく
 ・生活に役立つ

エネルギー
 ・エネルギー
 ・再生可能エネルギー

必要性
 ・コスト削減
 ・エネルギーの安定供給
 ・環境負荷の低減

木並区として何ができる？
 ・再生可能エネルギーの導入
 ・省エネ施策の推進

定住者の側面がある
 ・高齢者の対応
 ・子育て世代の対応

グループ 6 エネルギー | 気候変動問題に対処するため、どんなエネルギーをどのように使えばいいの？

情報提供や意見討論について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

ワークシート研修 ⇒ ワークショップ
 ・ワークシートの活用
 ・ワークショップの活用

多様な社会の視点
 ・多様な視点の活用
 ・多様な視点の活用

Instagram X "ゼロ" 週情報
 ・Instagram X "ゼロ" 週情報の活用
 ・Instagram X "ゼロ" 週情報の活用

WEB口
 ・WEB口の活用
 ・WEB口の活用

EV 体験
 ・EV 体験の活用
 ・EV 体験の活用

光熱費
 ・光熱費の削減
 ・光熱費の削減

個人に
 ・個人へのアプローチ
 ・個人へのアプローチ

多様な社会の視点
 ・多様な視点の活用
 ・多様な視点の活用

グループ 7 エネルギー | 気候変動問題に対処するため、どんなエネルギーをどのように使えばいいの？

情報提供や意見討論について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

物理に
 ・物理へのアプローチ
 ・物理へのアプローチ

電気と関係
 ・電気と関係
 ・電気と関係

電気料金
 ・電気料金の削減
 ・電気料金の削減

個人への
 ・個人へのアプローチ
 ・個人へのアプローチ

木並区
 ・木並区の取り組み
 ・木並区の取り組み

電気料金
 ・電気料金の削減
 ・電気料金の削減

個人への
 ・個人へのアプローチ
 ・個人へのアプローチ

木並区
 ・木並区の取り組み
 ・木並区の取り組み

グループ 8 エネルギー | 気候変動問題に対処するため、どんなエネルギーをどのように使えばいいの？

情報提供や意見討論について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

住宅物件で
 ・住宅物件での取り組み
 ・住宅物件での取り組み

ワークシート
 ・ワークシートの活用
 ・ワークシートの活用

電気料金
 ・電気料金の削減
 ・電気料金の削減

個人への
 ・個人へのアプローチ
 ・個人へのアプローチ

木並区
 ・木並区の取り組み
 ・木並区の取り組み

電気料金
 ・電気料金の削減
 ・電気料金の削減

個人への
 ・個人へのアプローチ
 ・個人へのアプローチ

木並区
 ・木並区の取り組み
 ・木並区の取り組み

(6) アンケートの概要と結果

■ 実施概要

回答方法：WEB フォームもしくは用紙

回答者数：65 件

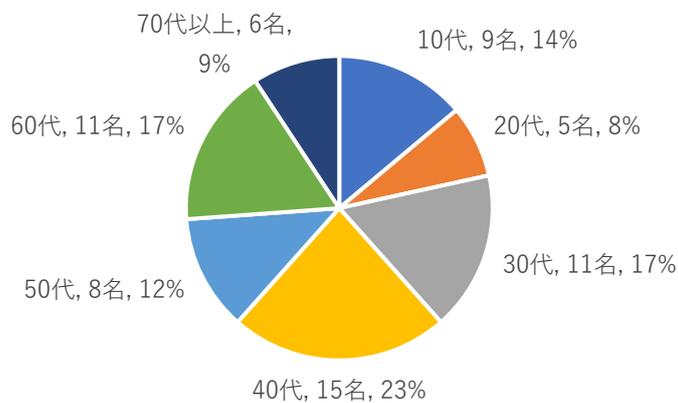
* 回答者が必ずしもすべての設問に答えていないため、回答数が上記件数に満たないものがあります。

* 自由記述は、原則として回答された内容のまま掲載しているため、誤字脱字と思われるものもそのまま表記しています。ただし、個人情報等を含むものは掲載していません。

■ 結果

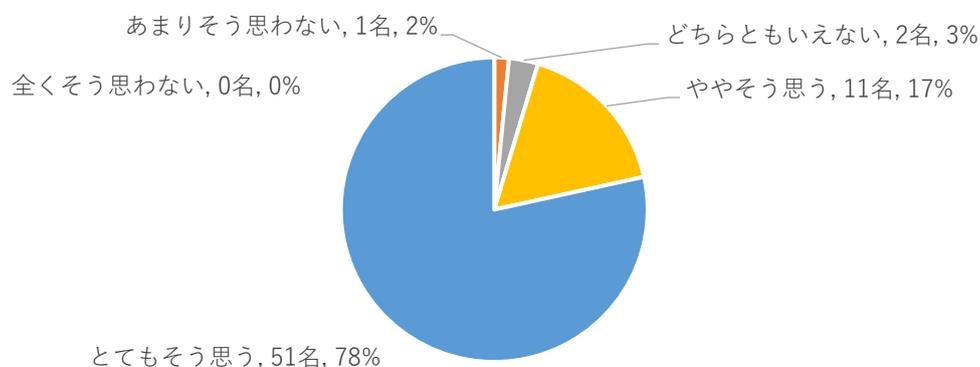
1. あなたのことについて、お聞きします。

1-1 年代を教えてください。

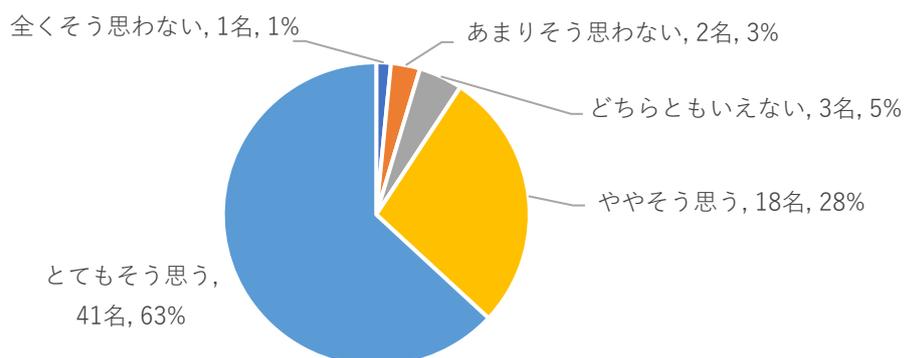


2. 気候区民会議への参加について、お聞きします。

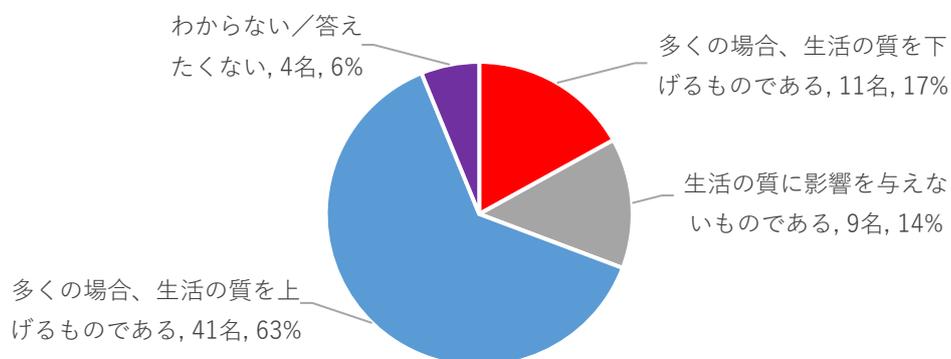
2-1 全体として、今日の気候区民会議に参加して満足していますか？



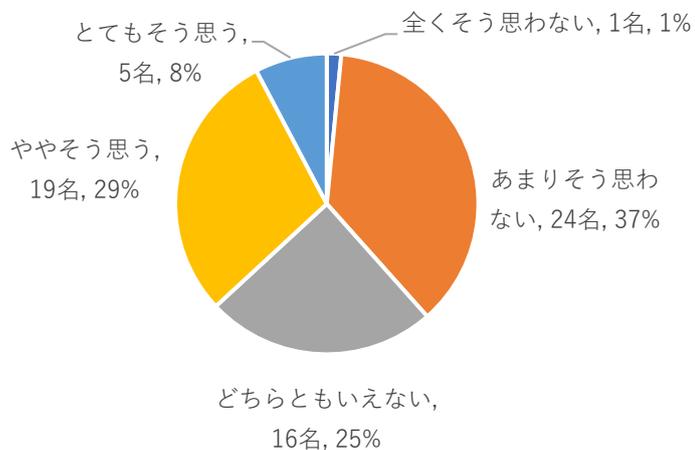
2-2 今日の気候区民会議のねらいや目的はよく分かりましたか？



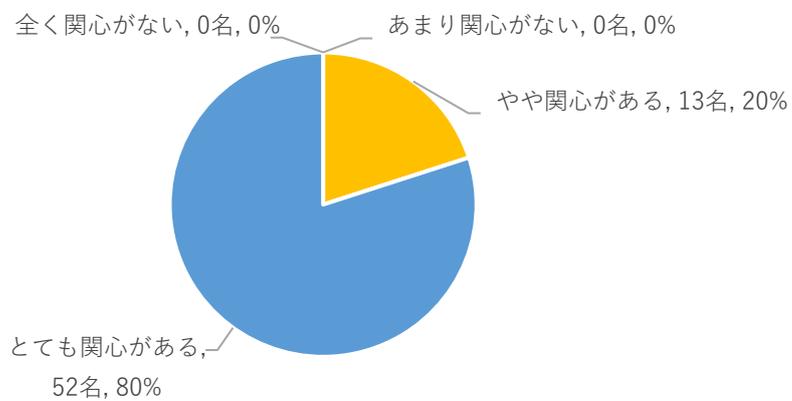
2-3 省エネルギーなどの気候変動対策は、あなたの生活にとってどのような影響を与えるでしょうか？



2-4 今日の気候区民会議を終えてみて、今日の会議で発言されたような対策を個人として実践する場合に、十分な知識があると思いますか？



2-5 今日の気候区民会議を終えてみて、気候変動問題に関心はありますか？

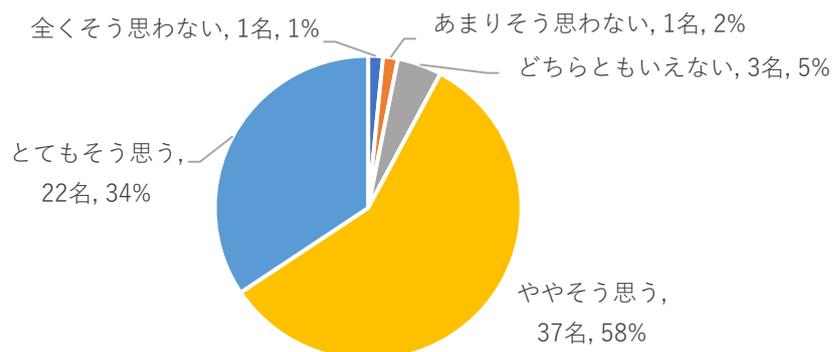


3. 今日の区民会議の運営・会議内容について、お聞きします。

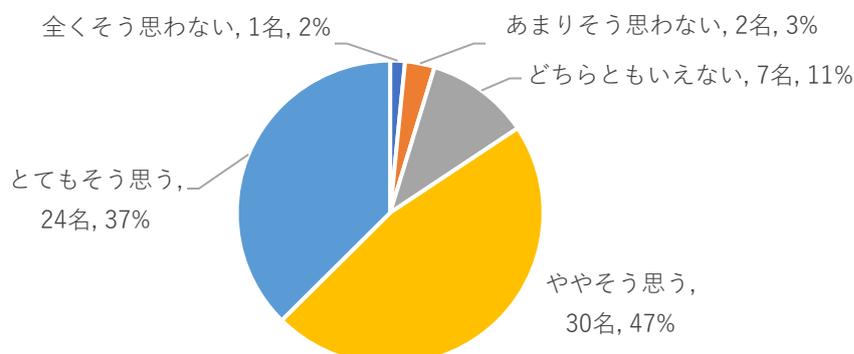
3-1 情報提供について

(1) 「総論：気候危機の現状と区民の役割」について

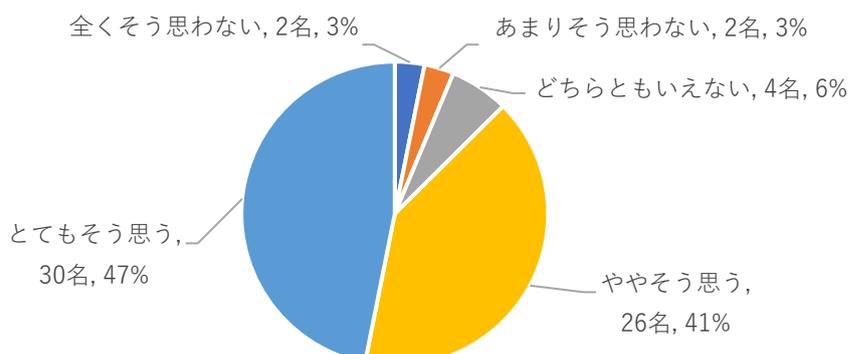
ア. 今日の会議に参加して、気候危機の現状について十分理解することができましたか？



イ. 今日の会議に参加して、区民の役割について十分理解することができましたか？

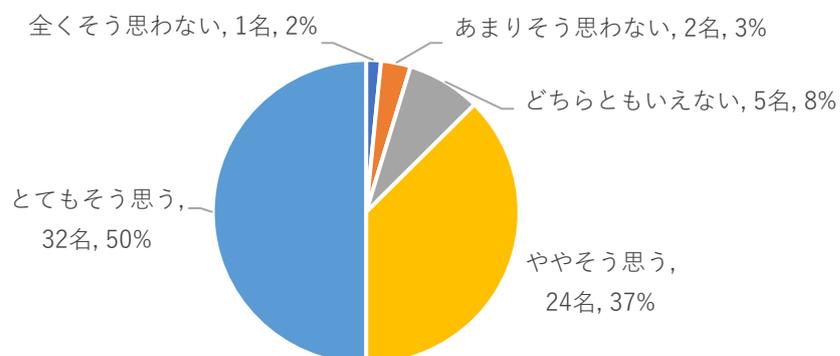


ウ. 「総論：気候危機の現状と区民の役割」の情報提供は、杉並区の気候変動対策を考える材料として、参考になるとお考えですか？



(2) 「テーマ：エネルギー」について

ア. 「テーマ：エネルギー」の情報提供は、杉並区の気候変動対策を考える材料として、参考になると感じますか？

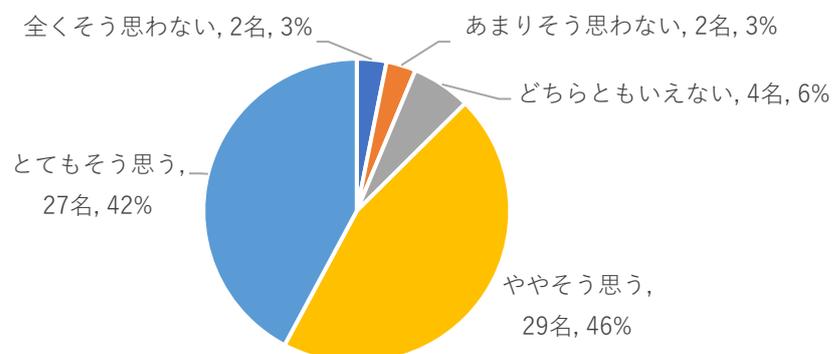


3-2 グループでの意見交換について

(1) グループでの意見交換が円滑にできたと思いますか？

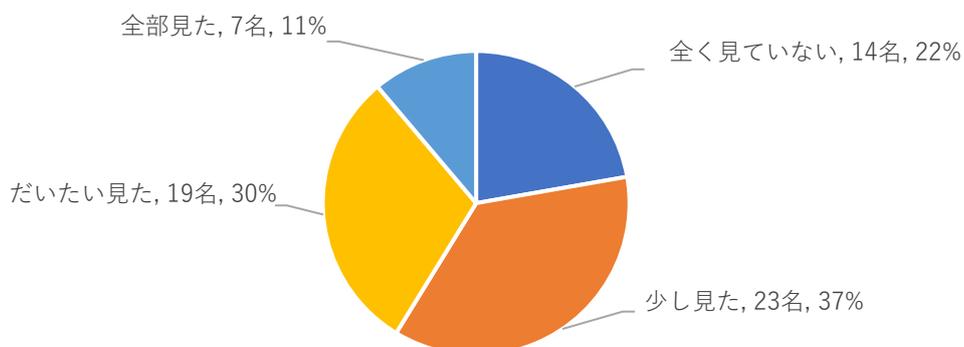


(2) 自分の考えを話す時間は十分にありましたか？

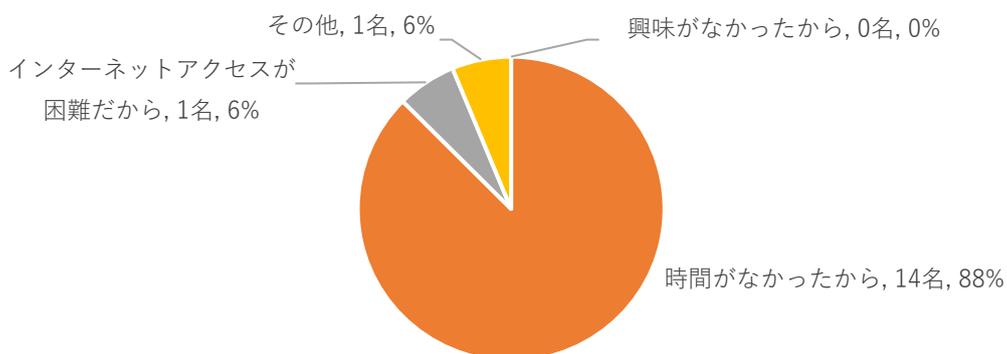


4. 事前の参考資料について、お聞きます

4-1 「参加のしおり」で紹介した参考動画や資料をご覧になりましたか？

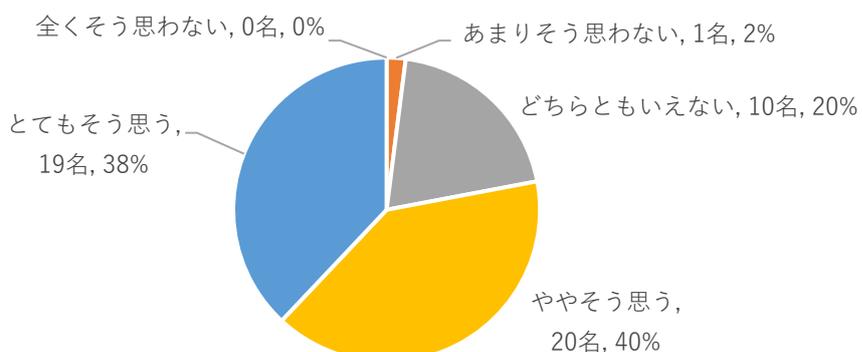


4-2 「全く見ていない」とお答えの方：その理由をお聞かせください。



その他：「動画があることに気付かなかった」

4-3 「少し見た」、「だいたい見た」、「全部見た」とお答えの方：事前の参考資料は、杉並区の気候変動対策を考える材料として参考になると感じますか？



5. 今後の杉並区気候区民会議に向けて

5-1 改善した方が良くと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

【時間が足りない】

- ・ 時間が足りない。(60代)
- ・ それぞれの話者が時間を守ることとは、次の話者の時間に影響します。環境問題と同じです。時間も大切な資源ですので大切に共有したいですね。(40代)

【情報提供】

- ・ パネラーに質問できる時間があれば嬉しかった。(30代)
- ・ 登壇者の持ち時間が短くて、深くまで知ることができなかったのが残念でした。質問に回答する時間は設けたほうが良いと思います。あとでシートで回答とありましたが、見るか？という印象と、皆さんの知識レベルに濃淡が付かないようにしてほしいなと思いました。(30代)
- ・ 発表スライドの枚数を調整して、タイムマネジメントを改善されたほうがよいとおもいました。(40代)
- ・ 全体的に詰め込みすぎて、話してる人が凄い時間を気にしたり、全部を話しきれなくなっているのが少し気になった。もう少し時間に余裕をもった時間設定にした方が良いと思う。(20代)
- ・ 時間を押ししても良いので登壇者の方々の意見を聞きたいです。時間に追われ過ぎかなと思います。(30代)

【グループディスカッション】

- ・ グループセッションの時間がもう少しあると良い。(50代)
- ・ 意見交換の時間。どなたかの発言に、他の参加者がさらに質問したりできる時間があるとよい。一人当たりの発表時間を絞ってもいいかもしれない。(長くなりがち)(40代)
- ・ 今後増えていくと思うが、皆さん記されていた感想発表しきれなかったもので、グループディスカッションの時間はもう少し長くてもよいと思いました。(40代)
- ・ 話し合いの時間をもう少し多くした方がよい。(50代)
- ・ 全体的な時間配分があまり良くできていなかったと思う。もっと話し合う時間が欲しい。(10代)

【会議全体の感想】

- ・ とてもわかりやすい進行でとても楽しかった。(10代)
- ・ 今日の話し合いで、満足。今後も同じように和やかに年代の違う方々と話し合いたい。(70代)

- ・ 自己啓発にもなり、大変有意義な時間を過ごすことができました。次回以降も楽しみにしています。(60代)
- ・ 特にありません。ありがとうございました。(50代)

【その他】

- ・ 資料のメールは、なるべく早くお願いします！(70代)
- ・ 今後の会議で、環境問題に取り組むベンチャー企業の方も招いてほしい。(30代)
- ・ 電力チェックメーターについて知りたい。(70代)
- ・ 時間の関係上難しいかもしれませんが、例えば再エネがいいとされる理由、背景などを情報提供してほしい。それにより他視点で見た時のデメリットはないのかなど。(30代)

2 | 第2回会議

(1) 開催概要

- 日時** 2024年4月20日(土) 13:30～17:30(4時間)
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第4会議室(杉並区阿佐谷南1-15-1)
- テーマ** テーマ別に詳しく学ぼう
- 内容** 「循環型社会」「みどり」「交通」のテーマについて、気候変動問題に対する取組を行う学識者、事業者、中間支援団体、行政が、それぞれの立場で情報提供し、杉並区の気候変動対策に何が必要か多角的な視点から理解を深めました。

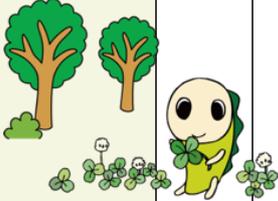
参加人数 57名

追加企画 循環型社会のテーマにつながる「ごみ」について実際に現場を見ることで理解を深めることを目的に、「杉並清掃工場オプション見学ツアー(任意参加)」を同日午前中に開催しました。(参加人数31名)



(2) 会議のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	13:30	10分	本日の目的と進め方
テーマ： 循環型社会 	13:40	48分	情報提供 <u>モデレーター</u> 山辺アリス 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 持続可能な消費と生産領域 研究員 <u>パネリスト</u> 渡部 厚志 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 持続可能な消費と生産プログラムディレクター 中上 冨之 株式会社セブン&アイ・フードシステムズ サステナビリティ推進総括マネージャー/環境部会長 金子 さやか 杉並区 環境部 ごみ減量対策課
	14:28	12分	グループで意見交換：感想の共有
	14:40	10分	休憩
	14:50	5分	質疑応答

プログラム	時間	概要	
テーマ： みどり 	14:55	50分	
			情報提供 <u>モデレーター</u> 山ノ下 麻木乃 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 生物多様性と森林領域 ジョイント・プログラム ディレクター <u>パネリスト</u> 島谷 幸宏 熊本県立大学 特別教授 佐藤 留美 特定非営利活動法人 NPO birth 事務局長/特定非営 利活動法人 Green Connection TOKYO 代表理事 大場 将国 杉並区 都市整備部 みどり公園課
	15:45	10分	グループで意見交換：感想の共有
	15:55	10分	休憩
	16:05	5分	質疑応答
テーマ： 交通 	16:10	50分	情報提供 <u>モデレーター</u> 片岡 八束 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 都市タスクフォース プログラムディレクター <u>パネリスト</u> 三重野 真代 東京大学公共政策大学院 交通・観光政策研究ユニット特任教授 古倉 宗治 特定非営利活動法人自転車政策・計画推進機構 理事長 尾田 謙二 杉並区 都市整備部 交通企画担当
	17:00	10分	グループで意見交換：感想の共有
	17:10	5分	質疑応答
	17:15	15分	まとめ・次回ご案内
	17:30		終了

(3) 情報提供の内容

* 詳細は、区ホームページに掲載している当日の資料や記録動画をご覧ください。

■ テーマ：循環型社会

～循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？～



金子 さやか
杉並区
環境部
ごみ減量対策課

中上 富之
株式会社セブン&ア
イ・フードシステムズ
サステナビリティ推進
総括マネジャー/環境
部会長

渡部 厚志
地球環境戦略
研究機関 (IGES)
持続可能な消費と生
産領域 プログラムデ
ィレクター

山辺 アリス
地球環境戦略
研究機関 (IGES)
持続可能な消費と
生産領域 研究員

■ テーマ：みどり

～区内のみどりの価値を最大限発揮させるために行政と区民はどのように連携できるか？～



大場 将国
杉並区
都市整備部
みどり公園課

佐藤 留美
NPO birth 事務局長
Green Connection
TOKYO 代表理事

島谷 幸宏
熊本県立大学
特別教授

山ノ下 麻木乃
地球環境戦略研究機関
(IGES)
生物多様性と森林領域
ジョイント・プログラ
ムディレクター

■テーマ：交通

～カーボンニュートラルの実現に向けて、車中心なまちづくりから、徒歩・自転車や新しいモビリティを活かしたまちづくりに、どのように移行していくか？～



<p>尾田 謙二 杉並区 都市整備部 交通企画担当</p>	<p>古倉 宗治 自転車政策・ 計画推進機構 理事長</p>	<p>三重野 真代 東京大学 公共政策大学院 交通・観光政策研究 ユニット 特任教授</p>	<p>片岡 八東 地球環境戦略研究機関 (IGES) 都市タスクフォース プログラム ディレクター</p>
--	---	---	--

■情報提供・意見討論のグラフィックレコーディング



※グラフィックレコーディングの詳細は、杉並区ホームページ「第2回 気候区民会議」よりご覧ください。

URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/s103/695.html>



(4) 情報提供に対する質問と回答の内容

凡例 | : 全般 : 循環型社会 : みどり : 交通

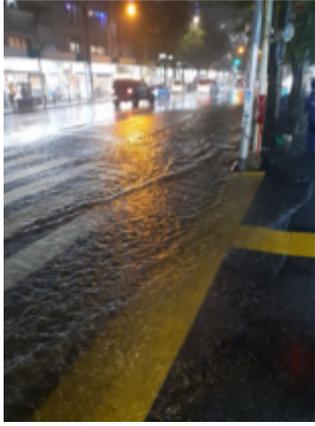
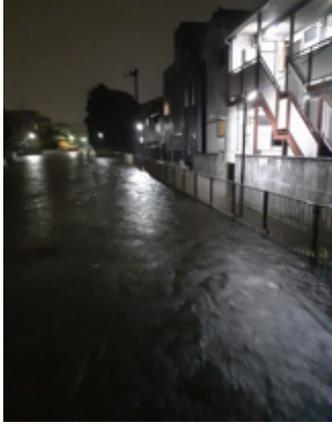
No.	質問 (第2回会議)	回答
1	<p>廃棄量についての説明がありましたが (一つ目のプレゼン資料のp.7, p.8)、データの基準時はいつになりますでしょうか？</p> <p>また、これらの数字は時系列でみるとどのように変化しているのでしょうか？ (変化がないのか、少し減少しているのか、また人口減少トレンドに比べて廃棄量の減少率が鈍いのかなど)</p> <p>また、仮に増加や減少しているのであれば、こういった要因によって増減しているのかなど多面的なファクトをお伺いできるとありがたいです</p>	<p>食は2021年、衣料品は2022年の数字を使いました。食品の傾向としては、日本では事業者さんや個人の努力により、廃棄される量が少しずつ減ってきています。</p> <p>他方、衣料品の廃棄される量は、世界的にどんどん増えています。とくに日本以外で、だんだん豊かになり、また人口が増えている国で増える傾向にあります。(地球環境戦略研究機関 渡部氏より)</p>
2	<p>前回の質問条項に、政治問題に絡めた質問がありました。今回の勉強会はマクロであると認識していましたが、政治的絡みで言うのであれば、アメリカはもとより、脱中国は世界におけるCO₂削減の同義であることが多いように感じます。世界一二酸化炭素排出が多く、エネルギーの多くを石炭に頼る国から、太陽光パネルをはじめとする輸入を規制しない限り問題は横に渡すだけであり、また、そもそも輸入という行為自体が余計な二酸化炭素排出の要因であるとも</p>	<p>ご指摘のとおり、地産地消はどの分野においても温室効果ガスの排出削減に効果のある取組です。第1回会議では、区長から「自治体は化石燃料を域内で生産できる再エネに置き換え、脱炭素の地域経済と社会を作っていく未来を選択することができるのです。」と情報提供があったとおり、エネルギーの分野においては再エネを推進すること自体が化石燃料の輸入を減らす「地産地消」に取り組んでいくことにつながります。</p> <p>もっとも、第1回目の情報提供にあったとおり、ニッケルを使用している電気自動車 (EV) など、どうしても海外からの輸入に頼らなければいけない部品を使用している製品を利用していかないと温室効果ガスの排出削減が難しいこともあります。現在もそのような部品を国内のリサイクル過程において回収して再利用したり、その</p>

No.	質問（第2回会議）	回答
	<p>言えます。地産地消の意識を一人一人が持つことで国産のパネルの利用、食物の消費を意識づける。何故、先日の先生たちは一人も地産地消（国内生産国内消費）をおっしゃられないのでしょうか？</p>	<p>ような部品を使用しなくてもよい製品の開発が進んだりするなどして、地産地消できる割合が高まっていくことが重要と考えています。</p>
3	<p>mottECOの持ち帰り容器代は無料？有料？有料の場合浜田いくらですか？</p>	<p>デニーズでは、容器は有料です（30円＋税の合計33円）。有料としたのには理由があって、チェーン店をかかえる大企業が容器を無料で始めてしまうと、今後個人事業主がこのスキームに参加したときに有料化できず、容器代が追加的な負担となってしまう、参加することが難しくなることを避けようとしたためです。</p> <p>もっとも、mottECOであっても、参加企業の諸事情により無料としているところもありますが、上記のような趣旨で有料としているところが多いと思います。（セブン&アイ・フードシステムズ中上氏より）</p> <p>なお、昨年10月～12月、区においてもモデル事業を行いました。その際は、区で容器を用意し、協力飲食店はお客様へ無料で提供いたしました。今年度も同時期にモデル事業を実施します。</p>
4	<p>杉並区のごみの量が少ないとのことですが、にわかには信じがたいです。その量とは何の量を計算しているのでしょうか？処理まえのごみの量なのか、処理後の量なのか。処理後の量であれば、杉並区の処理能力が高いことになるので一人一人の取り組みのおかげ、ではないのかなと思ってます。</p>	<p>お示した数値は、全国・杉並区ともに処理前の重量です。そのため、杉並区にお住まいの皆さんがごみを減量し分別する取り組みを続けてきた成果が大きな要因だと考えます。（地球環境戦略研究機関 渡部氏より）</p>

No.	質問（第2回会議）	回答
5	<p>セブンイレブンさん資料P6サステナブルメニューのハンバーグは本当にエコなのか？</p> <p>値段が高いと言うことは、それだけエネルギーを使っているのではないか。</p>	<p>紹介させていただいたグラタンハンバーグは、排出されたコーヒーかすを焼却せず資源化して循環させている点を以て「サステナブルメニュー」と呼称させていただいております。ご指摘のとおり、「もの」「商品」の環境影響はLCA（ライフサイクルアセスメント）で判断されるべきで、ご質問の視点は大変勉強になります。例に挙げました和風ハンバーグと当該商品の価格差は、主に使用している素材によるところが大きく、一概にエネルギー使用量が大きいから、というものではございませんが、新しい取り組みには常にひと手間がかかる可能性があり、今後とも目に見える部分最適ではなく、本来の目的と、LCA視点による全体最適を意識した取り組みを心がけて参ります。（セブン&アイ・フードシステムズ 中上氏より）</p> <p>LCA（ライフサイクルアセスメント）：温室効果ガス排出量の削減については、温室効果ガスを排出しない使用時のみに着目するのではなく、ライフサイクル全体を考慮した排出量及び削減量を評価するというもの。</p> <p>参考：環境省ホームページ https://www.env.go.jp/earth/ondanka/lca/index.html</p>
6	<p>杉並区の1人たりごみ排出量が少ないということについて、CO₂排出量のように企業が少ないから、例えば事業ごみ／家庭ごみの比率の他の自治体との違いが関係していたりしないか</p>	<p>家庭ごみとして算出していますが、ご指摘のとおり、区の収集には事業系ごみの一部が含まれており、事業所が多く立地する自治体においては、一人1日当たりのごみ排出量は高くなる傾向がある点も違いとして考えられます。</p>
7	<p>杉並区のごみ排出量が他区よりも少ないが、その理由は不明とのことでしたが、少ない理由が不明だとすると、どうしたら更</p>	<p>杉並区のごみ排出量が他区よりも少ない点については、区民の皆さまの環境保全に関する意識が高いことに加え、国に先駆けて実施したレジ袋の有料化や、プラスチック容器包装の分別を他区よりも早く取り組んだことなどにより分別が徹底されていることが、結果に現れてい</p>

No.	質問（第2回会議）	回答
	<p>に減らせるかの検討も不十分になるのではないかと？</p> <p>では、逆に多い区の多い理由はわからないのだろうか？</p>	<p>るものと考えています。なお、ごみ排出量のデータには、家庭ごみの他に一部事業者から排出されたごみも含まれていることや、自治体によっては、プラスチック容器包装を可燃ごみで処理しているところもあることなども差が生じている要因と考えられます。</p>
8	<p>資源リサイクル率が低い理由について知りたいです。</p> <p>分別がちゃんとしていればいいのか？</p> <p>たとえばプラスチック資源と言ってもバリエーションがありすぎて品質が安定しないから利用が難しいのか？など…</p>	<p>杉並区の資源リサイクル率については、23区内で比較すると高いですが、多摩地域と比較すると低くなっています。多摩地域では、ごみ収集の有料化が行われていることから、リサイクルできるものはごみにしないという意識がさらに高くなっていると思われます。なお、リサイクル率の向上も大事ですが、資源を含め、ごみ排出量の抑制を目指すことが何よりも大切だと考えています。</p>
9	<p>都市でアスファルトの上を緑化しても意味がありますか？</p>	<p>アスファルトの上にプランターを置くだけでも、アスファルトをみどりで覆うということになり、洪水を減らす、暑熱を緩和する、景観としても良い意味があります。こうしたちょっとした取組も大切です。（熊本県立大学 島谷先生より）</p> <p>アスファルトの上にプランターを置くなど道にみどりが増えると、人が通りたくなる道になって、みどりを介して会話も生まれるようになります。こうして人が繋がるだけではなく、連続して生き物が通る道つくっていくことにもなります。（NPO birth/Green Connection TOKYO 佐藤氏より）</p>
10	<p>グリーンインフラが大事だというのに、なぜ阿佐ヶ谷の駅前の屋敷林を壊して再開発するのでしょうか。</p>	<p>第1回会議の質問への回答（No.19）でも述べましたが、当該土地のみどりは私有地のみどりであり、これまで地権者の長年の努力と負担により維持されてきたもので、現在行われている病院の移転改築工事は、地権者が、所有地への総合病院の移転を決断されたことを契機としたものです。</p>

No.	質問（第2回会議）	回答
		<p>病院の移転の話があったことをきっかけに、区、地権者及び病院が協力して阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを進めています。このなかで、けやき屋敷のみどりや景観をできる限り保全するとの共通認識のもと三者で協議しながら病院の移転改築工事を含む一連の事業を進めるとともに、地区計画などの制度の活用により、阿佐ヶ谷駅北東地区全体におけるみどりの保全・創出に取り組んでいます。</p>
11	<p>年月が蓄積して出来上がる豊かな土を、どうしたら短期間で作ることができますか？</p>	<p>旧石器時代からの土がまだ残っていたりすると、当時の植物の種なども含まれていて発芽したり、土の力はすごいです。土づくりについては、有機農法のやり方が参考になるかもしれません。その地域の土、例えば同じ流域の土や在来種の土を混ぜながら土をつくるといいでしょう。土には在来種の種が含まれているので、杉並区の場合、関西や海外の土を混ぜてしまうと区内の生態系を壊してしまう恐れがあります。区内の屋敷林の土をわけてもらうことも有効だと思います。（NPO birth/Green Connection TOKYO 佐藤氏より）</p>
12	<p>年月が蓄積して出来上がる豊かな土を、どうしたら短期間で作ることができますか？</p>	<p>う。土には在来種の種が含まれているので、杉並区の場合、関西や海外の土を混ぜてしまうと区内の生態系を壊してしまう恐れがあります。区内の屋敷林の土をわけてもらうことも有効だと思います。（NPO birth/Green Connection TOKYO 佐藤氏より）</p>
13	<p>屋敷林を守るためなど、民有地への補助金などはありますか？</p>	<p>区内に残された貴重なみどりを区民共有の財産として保全することを目的として、保護指定制度を実施しています。保護指定した樹木や樹林等に対して、維持管理費用の一部として補助金を交付するとともに、樹木等による第三者への事故に備え、賠償責任保険に加入しています。</p> <p>対象となる屋敷林は、樹木が集団となっている土地で面積が300㎡以上あり、自然的景観を有し、高木が30本以上ある樹林です。補助額（年額）は所有者が個人である場合、100㎡当たり8000円、10000㎡を超える部分は100㎡当たり4000円となります。所有者が法人の場合は100㎡当たり2000円、10000㎡を超える部分は100㎡当たり1000円です。</p>

No.	質問（第2回会議）	回答
14	<p>洪水を強く注目していますが、杉並区での洪水歴から対策もしているし、そもそもリスクが低いエリアです。視点をどこにおけば良いのかいまいちわからないのですが、杉並区で具体的な被害が想定されている水害はありますか？</p> 	<p>近年の水害では、令和5年6月2日の台風においては50mm/hの降雨を記録しました。善福寺川上流域では、河川の整備レベルが30mm/hまでの降雨にしか対応できておらず、善福寺1丁目の寺分橋や荻窪3丁目の松見橋付近などでは、道路冠水が発生し、道路を通行止めなどして、区職員による排水活動なども行っており、川沿いの低地などでは、度々浸水被害が発生している状況です。</p>  
15	<p>緑被率の定義が不明だったので、帰宅後ネットで調べてみました。結果「緑地の定義によって、緑被率は場合によって異なるので注意が必要」との記載がある一方で、金沢市のHPに丁寧に記載してありました。</p> <p>https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/keikansenisakuka/gyomuannai/1_1/1/2/8529.html</p> <p>今回ご紹介頂いた杉並区の緑被率21.99%は金沢市の計算方法と同一と考えて良いですか？</p>	<p>情報提供いただいた金沢市の緑被率については、金沢市で行っている斜面緑地の保全に関するもので、斜面地で建築行為などをする際に金沢市に届け出る当該地の緑被率を計算するためのもののようです。そのため、杉並区で採用している緑被率調査とは異なります。</p> <p>杉並区では、空から見たときにみどりで覆われている面積の杉並区全域に対する割合のことを緑被率としています。実際には、航空写真からみどりで覆われている面積を判読しています。緑被率の調査は5年毎に行っており、直近の調査は令和4年度に行いました。その調査結果が下記に掲載されています。緑被率の調査方法も詳しく紹介をしていますので、ご一読ください。</p> <p>https://www.city.suginami.tokyo.jp/s100/6172.html</p>

No.	質問（第2回会議）	回答
16	<p>三重野先生に質問です。パリが時速30キロに制限できたことを、都内でやるには何が必要ですか。</p>	<p>まずは道路利用者に道路の規制速度を知ってもらうことが重要です。基本的にパリでは通学路に車は通りませんし、都心部の道路速度が60km/時から30km/時に引き下げられました。これはパリ市長が規制したのではなく、地区の住民のイニシアティブによるもので、いっぺんにできたわけではなく、1990年頃から徐々に広がってきました。他方日本では、平成21年に、道路速度を自動車走りやすいように30km/時以上にするよう改定されました。このように日本の都心部の道路速度はむかしと異なると考えなければいけません。パリだけに限らず世界の潮流からすると日本では真逆なことがおこなわれていることを考えると、杉並から変えていければよいのではないのでしょうか。（東京大学 三重野先生より）</p>
17	<p>車道に車が停車されているため、車道寄りの徐行がしづらいです。他の国ではどうなっていますか。</p>	<p>他の国では、自転車専用道路の建設が進められており、自転車専用道路は停車できません。それ以外の道路では、日本と同じく停車できることにはなりますが、停車できそうなスペースに植林やカフェを置くなど、停車しづらい環境を作っている場合も多かったです。なお、海外では、物流車両は駐車スペースや駐車時間が決められている場合が多いです。（東京大学 三重野先生より）</p>
18	<p>自転車での事故（車道9%、歩道14%）とあったが事故が起きた際の死亡率または重大な障害率はどうか？事故の内容のデータはありますか？</p>	<p>プレゼンでは短時間でわかりやすく説明するため、自転車事故総件数のうち車道と歩道の事故割合のみをご説明しましたが、本来は単純に車道又は歩道の事故のみならず、歩車道区分ありの交差点に進入した事故を考慮する必要があります。死亡率が高い自転車乗用中の自動車との事故のデータについて歩車道区分ありの全区間の死者数（188名）を100%として、車道のみにおける事故の割合は40%ありますが、車道から進入した交差点の事故の割合は5%しかありません。同様に、歩道のみにおける事故の割合は2%しかありませんが、歩道から交差点に進入した事故は53%もあります。</p>

No.	質問（第2回会議）	回答
		<p>このため、車道と歩道の単独の割合とそれぞれから進入した交差点の割合を各合計すると、車道関係の割合が45%、歩道関係の割合が55%になり、自転車乗用中の自動車との事故による死者数は歩道関係の割合の方が10%大きいこととなります。（歩道から交差点に進入する方が、自転車・自動車双方にミス等が多いことが原因だと考えられます）。（自転車政策・計画推進機構 古倉氏より）</p> <p>（出所：公財交通事故総合分析センターへの依頼により入手したデータ2022年分および松本幸司.(2009).自転車走行環境整備の現状と課題-自転車事故発生状況と交差点対策に着目して.土木計画学研究 ワンディセミナー, 徳島大学, 2009.) に基づく古倉氏による推計）</p>
19	<p>「都市計画道路補助132号線」計画による開発は、環境観点で、具体的にどのような効果がありますか？またネイチャーポジティブな開発計画になってますでしょうか。</p>	<p>都市計画道路の整備効果には、渋滞緩和、走行性向上による交通排熱や二酸化炭素排出量の減少など、環境分野での効果も期待されます。また、グリーンインフラの概念のもと、人々が集う公共空間としてのインフラ整備では、広い歩道に新たに植樹帯を設けるなど積極的に緑化を行うことで、みどりのネットワークの充実や大気浄化などによる景観・環境保全機能の向上を図る取組も行われている他、透水性舗装や遮熱舗装、低炭素アスファルトなど、整備に利用する材料も日々進化しています。</p> <p>ご指摘の補助132号線は、令和2年4月に事業着手しましたが、現在は関係権利者との用地折衝を進めている段階です。今後、沿道のまちをどのようにしていくのか、そのためにどのような道路整備をしていくべきかなど、今年度、新たな対話の場として設置する「(仮称)デザイン会議」において、地域住民と共に学び、考えていきます。</p>

第2章 各回の概要とグループワークの結果

No.	質問（第2回会議）	回答
20	<p>交通に関してです。道路に商品をはみ出して陳列しているお店をよく見かけます。近隣のドラッグストアでは毎日、目玉商品を道路上にラックを置き、販売しています。先日、白杖の方がそれにつまずき、ケガをされました。</p> <p>質問は、行政や警察はこれらを取り締まれないのでしょうか。</p>	<p>店舗路上の商品のはみ出しについては、駅周辺においては定期的に区職員と所轄警察署員が合同で取り締まりや指導を行っております。その他の場所においても区のパトロールでの発見や要望を受け、警察が取り締まりなどを行っております。</p> <p>取り締まり後、一時的に改善されるものの元に戻ってしまうことが多い現状ですが、区としては今後も引き続き警察と連携しながら粘り強く指導等を行うことで、区道の適正な利用に努めてまいります。</p>
21	<p>現在の都市は車を中心に設計されていたと思います。今後、ウォークアブルナ都市に生まれ変わるのに何年ぐらいかかるとおもいますか？</p>	<p>「ウォークアブル」のレベル感やイメージと「都市」の範囲をどこまで設定するかでゴールが異なると思いますが、1本の道や1つの地区をウォークアブルに転換するのは、大きな反対がない場所であれば、早ければ2～3年でできると思います。あとは、それを同時多発的にどの程度の規模でできるか、によります。</p> <p>例えばパリは市長の任期中に可能な限りウォークアブルに進める（次にウォークアブル反対派市長が就任したとしても戻せない程度まで進める）ために、2～3年で実現する比較的小さなプロジェクトを数多く同時に実施しています。大規模プロジェクトも5～6年で複数実現しています。それらを数多く間を開けることなく積み重ねることで、街の形が加速度的に変わっています。（東京大学三重野先生より）</p>

第2章 各回の概要とグループワークの結果

グループ 3 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回: テーマ別討議(学ばう) | 2024.04.20

3 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか?

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して共有しよう

グループ 4 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回: テーマ別討議(学ばう) | 2024.04.20

4 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか?

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

グループ 5 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回: テーマ別討議(学ばう) | 2024.04.20

5 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか?

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

グループ 6 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回: テーマ別討議(学ばう) | 2024.04.20

6 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか?

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

グループ7 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別話し手会 | 2024.04.20

7 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

- モノを扱う際の意識**
 - モノを扱う際の意識
 - モノを扱う際の意識
 - モノを扱う際の意識
- 日本人の美徳や道徳に目を向ける**
 - 日本人の美徳や道徳に目を向ける
 - 日本人の美徳や道徳に目を向ける
- ゴミ削減以外で何かできること**
 - 個人でできること
 - 個人でできること
 - 個人でできること
- 分別以外でできること**
 - 分別以外でできること
 - 分別以外でできること
- 企業が多量包装を減らす**
 - 企業が多量包装を減らす
 - 企業が多量包装を減らす
- DIY道具が借りられる**
 - DIY道具が借りられる
 - DIY道具が借りられる
- 図書館**
 - 図書館
 - 図書館
- モノを大切に使う**
 - モノを大切に使う
 - モノを大切に使う

グループ8 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別話し手会 | 2024.04.20

8 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

- 環境にやさしい商品の購入**
 - 環境にやさしい商品の購入
 - 環境にやさしい商品の購入
- 洗剤の再利用**
 - 洗剤の再利用
 - 洗剤の再利用
- リユース品の購入**
 - リユース品の購入
 - リユース品の購入
- 個人でのリユース品の活用**
 - 個人でのリユース品の活用
 - 個人でのリユース品の活用
- 飲食時のリユース品の活用**
 - 飲食時のリユース品の活用
 - 飲食時のリユース品の活用
- 自分の生活に還元できること**
 - 自分の生活に還元できること
 - 自分の生活に還元できること
- 日本のリユース品の活用**
 - 日本のリユース品の活用
 - 日本のリユース品の活用

グループ9 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別話し手会 | 2024.04.20

9 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

- 個人での取り組み以外では何かあるか**
 - 個人での取り組み以外では何かあるか
 - 個人での取り組み以外では何かあるか
- リサイクルから見る具体的な数値**
 - リサイクルから見る具体的な数値
 - リサイクルから見る具体的な数値
- 個人での取り組みとは？**
 - 個人での取り組みとは？
 - 個人での取り組みとは？
- 教育の重要性**
 - 教育の重要性
 - 教育の重要性

グループ10 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別話し手会 | 2024.04.20

10 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

- 天然素材の活用**
 - 天然素材の活用
 - 天然素材の活用
- 見直し可能な商品の活用**
 - 見直し可能な商品の活用
 - 見直し可能な商品の活用
- 店や施設でのリユース品の活用**
 - 店や施設でのリユース品の活用
 - 店や施設でのリユース品の活用
- 近頃ないお洒落な店**
 - 近頃ないお洒落な店
 - 近頃ないお洒落な店
- モノの国産品**
 - モノの国産品
 - モノの国産品
- 23区最少消費量**
 - 23区最少消費量
 - 23区最少消費量
- 本当の理由？事業者の取り組み**
 - 本当の理由？事業者の取り組み
 - 本当の理由？事業者の取り組み
- どうすればいいの？**
 - どうすればいいの？
 - どうすればいいの？

グループ 11 テーマ 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？

杉並区気候区民会議 | 第2回 | テーマ別しく字ばう | 2024.04.20

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

海外良い取り組みはどんなものか？

- 食品ロス削減の取り組み
- 学校給食の乳製品は減らした？
- リサイクル
- 服は同じ色を着たいから体型が合わなくていい
- 個人の意識改革と事業者の取り組みの両輪で回すこと!

食品ロスを減らしたものの、廃棄物の削減はどの程度？

学校給食の乳製品は減らした？

リサイクル

服は同じ色を着たいから体型が合わなくていい

個人の意識改革と事業者の取り組みの両輪で回すこと!

グループ 12 テーマ 循環型社会 | 循環型社会を行政、区民そして事業者の連携によりどのように実現できるか？

杉並区気候区民会議 | 第2回 | テーマ別しく字ばう | 2024.04.20

情報提供について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

Recycle

- 資源リサイクルの取り組み
- リユース
- 回収方法の改善
- 商品の回収

Reuse

- 物の修理
- 修理できないものはリユース
- 修理できないものは回収

Reduce

- 食品ロス削減
- 手紙のPOP
- 物の交換
- モノづくり

海外の良い取り組み

リユース

回収方法の改善

商品の回収

物の修理

修理できないものはリユース

修理できないものは回収

食品ロス削減

手紙のPOP

物の交換

モノづくり

グループ 9 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別討議(宇野) | 2024.04.20

交通 | カーボンニュートラルの実現に向けて、車中心なまちづくりから、徒歩・自転車や新しいモビリティを活かしたまちづくり、どのように移行していくか？

情報提供や意見討議について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

グループ 10 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別討議(宇野) | 2024.04.20

交通 | カーボンニュートラルの実現に向けて、車中心なまちづくりから、徒歩・自転車や新しいモビリティを活かしたまちづくり、どのように移行していくか？

情報提供や意見討議について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

グループ 11 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別討議(宇野) | 2024.04.20

交通 | カーボンニュートラルの実現に向けて、車中心なまちづくりから、徒歩・自転車や新しいモビリティを活かしたまちづくり、どのように移行していくか？

情報提供や意見討議について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

グループ 12 テーマ 杉並区気候区民会議 | 第2回：テーマ別討議(宇野) | 2024.04.20

交通 | カーボンニュートラルの実現に向けて、車中心なまちづくりから、徒歩・自転車や新しいモビリティを活かしたまちづくり、どのように移行していくか？

情報提供や意見討議について感想や気づきを付箋に書き出して、共有しよう

(6) アンケートの概要と結果

■ 実施概要

回答方法：WEB フォームもしくは用紙

回答者数：55 件

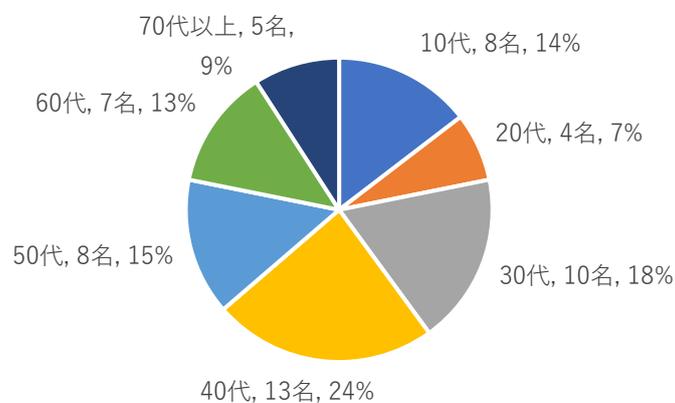
* 回答者が必ずしもすべての設問に答えていないため、回答数が上記件数に満たないものがあります。

* 自由記述は、原則として回答された内容のまま掲載しているため、誤字脱字と思われるものもそのまま表記しています。ただし、個人情報等を含むものは掲載していません。

■ 結果

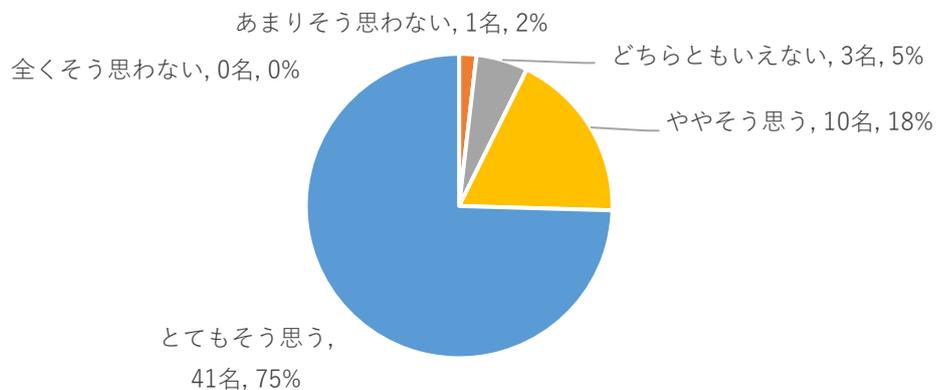
1. あなたのことについて、お聞きします。

1-1 年代を教えてください。

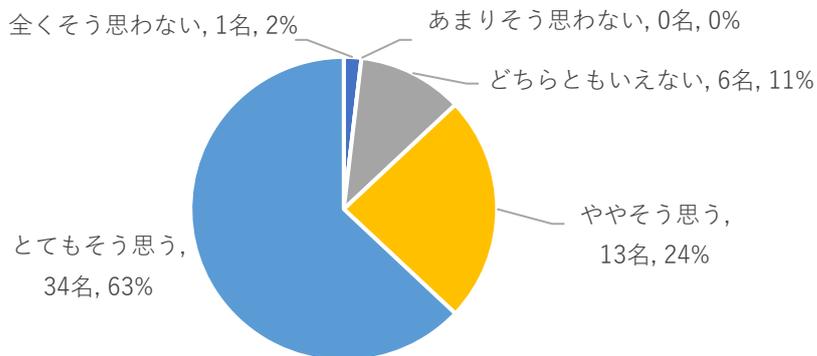


2. 気候区民会議への参加について、お聞きします。

2-1 全体として、今日の気候区民会議に参加して満足していますか？

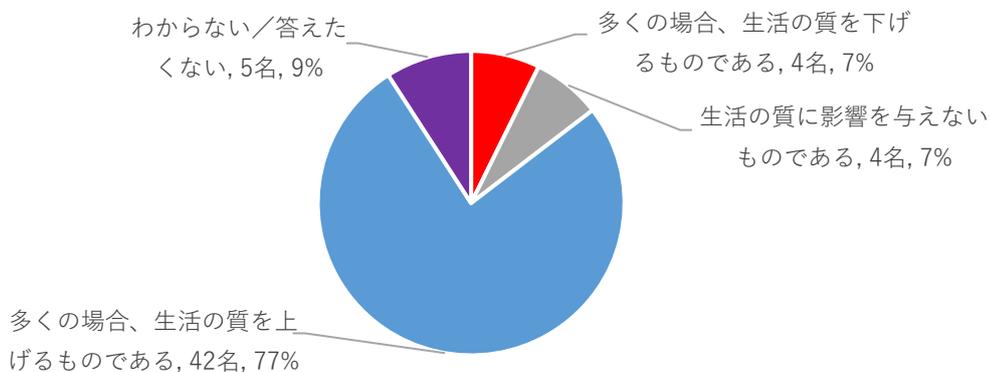


2-2 今日の気候区民会議のねらいや目的はよく分かりましたか？

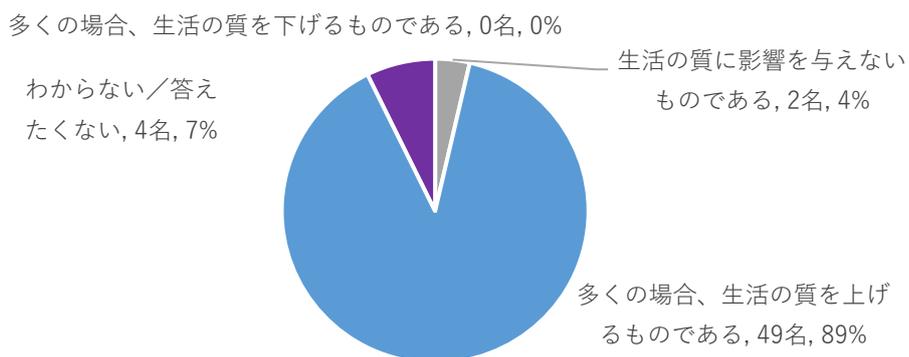


2-3 今日、以下のテーマで紹介された気候変動対策は、あなたの生活にとってどのような影響を与えるでしょうか？

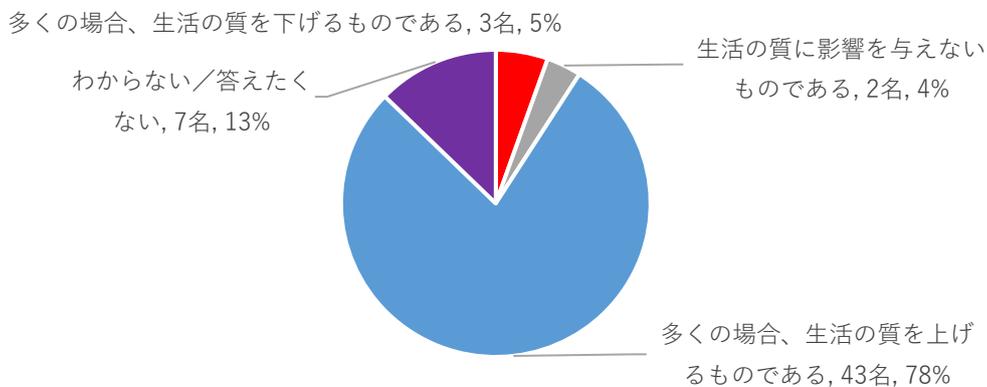
「循環型社会」



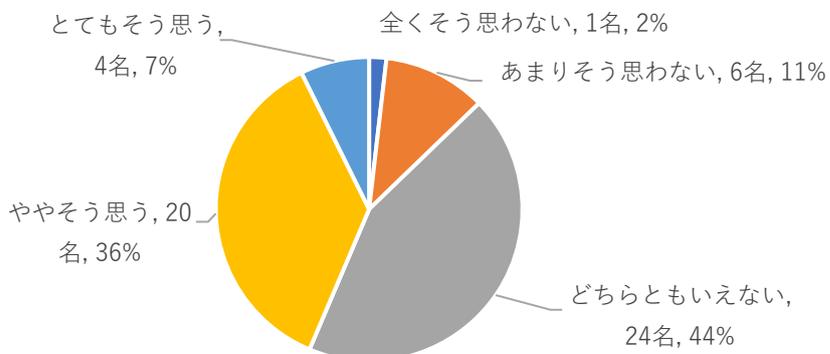
「みどり」



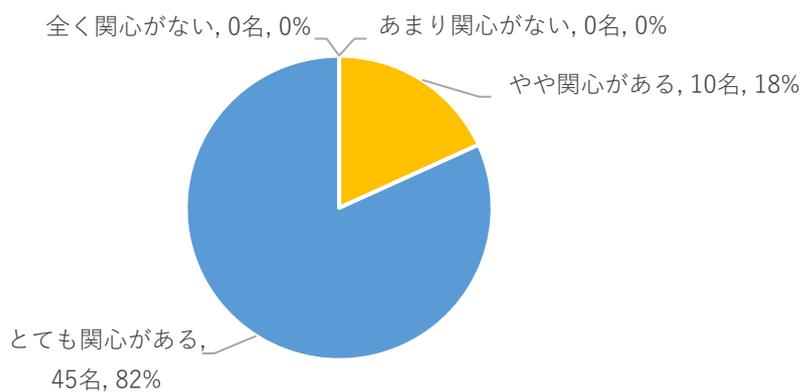
「交通」



2-4 今日の気候区民会議を終えてみて、今日の会議で発言されたような対策を個人として実践する場合に、十分な知識があると思いますか？



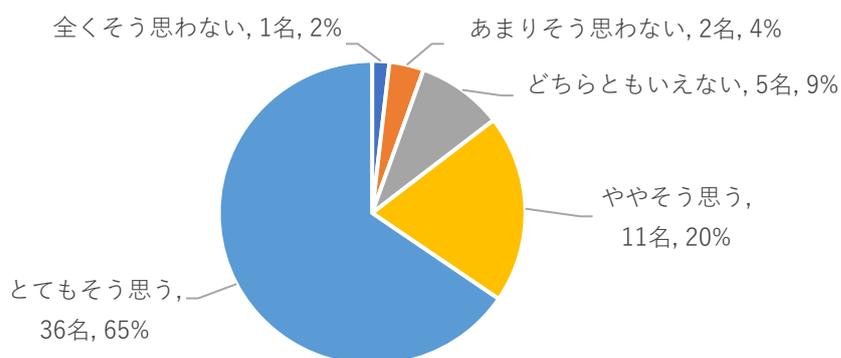
2-5 今日の気候区民会議を終えてみて、気候変動問題に関心はありますか？



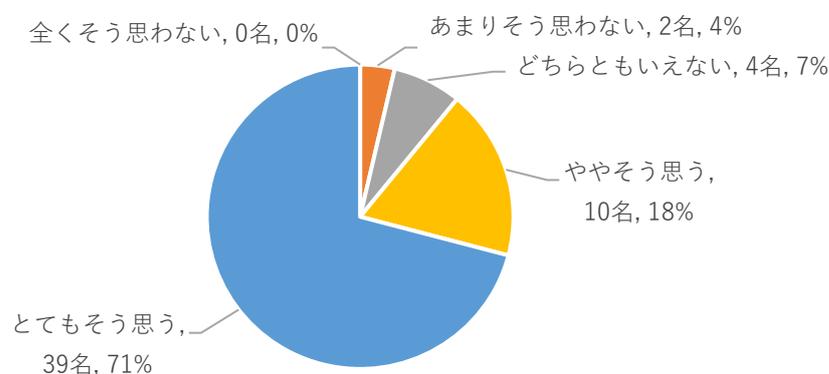
3. 今日の区民会議の運営・会議内容について、お聞きします。

3-1 情報提供について

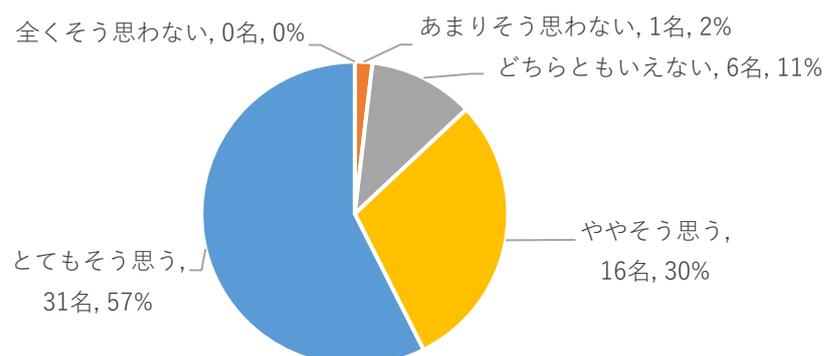
(1) 「循環型社会」の情報提供は、杉並区の気候変動対策を考える材料として、
参考になるとお考えですか？



(2) 「みどり」の情報提供は、杉並区の気候変動対策を考える材料として、
参考になるとお考えですか？

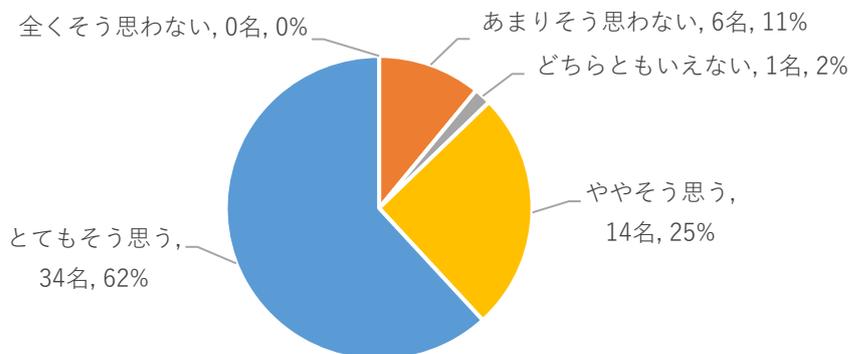


(3) 「交通」の情報提供は、杉並区の気候変動対策を考える材料として、
参考になるとお考えですか？

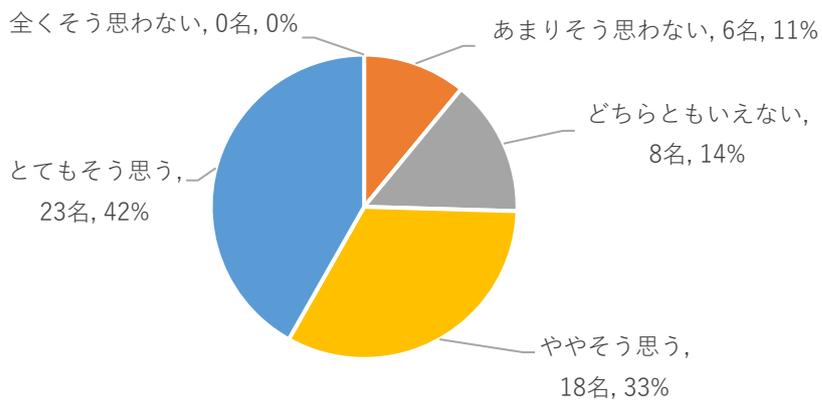


3-2 グループでの意見交換について

(1) グループでの意見交換が円滑にできたと思いますか？

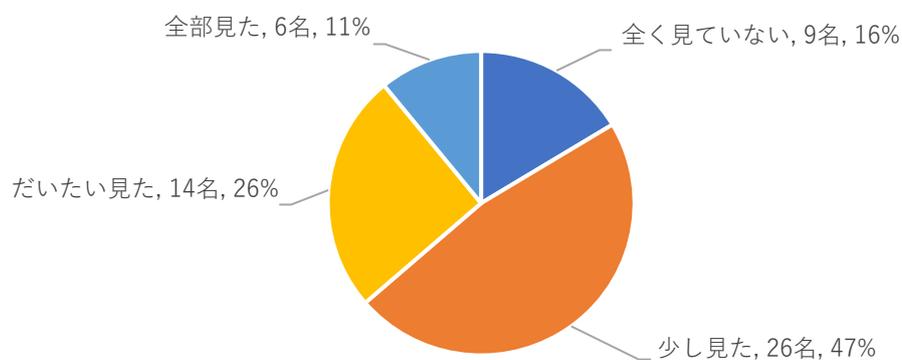


(2) 自分の考えを話す時間は十分にありましたか？

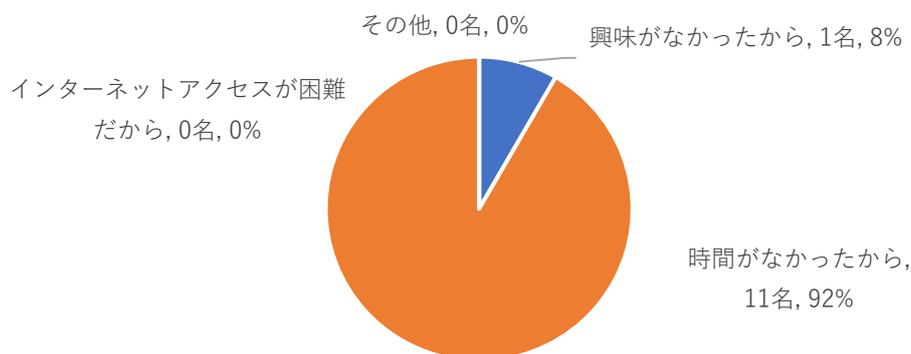


4. 事前の参考資料について、お聞きます

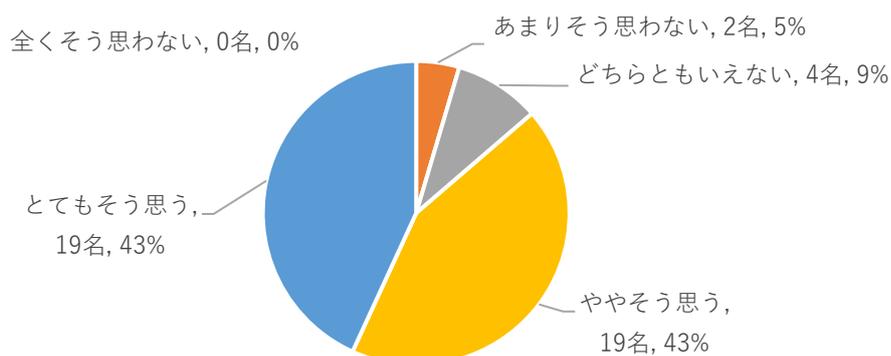
4-1 「参加者ポータルサイト」で紹介した参考動画や資料をご覧になりましたか？



4-2 「全く見ていない」とお答えの方：その理由をお聞かせください。



4-3 「少し見た」、「だいたい見た」、「全部見た」とお答えの方：事前の参考資料は、杉並区の気候変動対策を考える材料として参考になるとお思いますか？



5. 施策のアイデアについて

5-1 今日の情報提供で挙げられた施策以外で、杉並区内で行う気候変動対策について、ご意見やアイデアがありましたら、お書きください。

【循環型社会】

- ・ 杉並区内のコンビニではマイボトルでコーヒーが買えると嬉しい。ボトル対応型の給水機をもっと増やす・存在を周知してほしい。気候変動対策について、なみすけがわかりやすく情報発信してくれるインスタアカウントがあるとうれしい。(30代)
- ・ 国家レベルで議論するテーマと地域レベルで議論する話題を混在させると議論の争点がわかりにくくなるので、これは焦点をもう少し絞った方が良いのでは。また、例えば今日の講師のように、無駄なものは買わないようにしようと語るのは如何なものか。何が無駄で何を買うかは個人の判断に帰属するものであるし、消費をするとなれば経済がシュリンクするだけで、アンチ資本主義と受け止められはしないでしょうか。(50代)

【みどり】

- ・ 子ども中心に市民による植林活動。(50代)
- ・ 環境問題への取り組みが根性論や精神論に聞こえてしまう場面が多々あったので、green techの事例があっても良いと思った。(30代)
- ・ みどりのカーテン：皆さん興味あったので。実際に育ててハッシュタグ杉並区みどりのカーテンでSNSに投稿した人から抽選で〇名に特典プレゼント。希望者に育成グッズ配布。(40代)
- ・ 屋敷林を区民が整備するシステムづくり→高齢化した屋敷林を、保育園・小中学校の生徒が課外活動で整備する、など。生徒側にもいい機会（自然とのふれあい、課題認識など）と教育（環境保護など）の場になるはず。(30代)

【交通】

- ・ 中央線を高架にすると、様々な施策が抜本的に進み、杉並区が世界に誇れる環境都市になれると思います。(50代)
- ・ 杉並区が取り組む運輸について聞きたかった(事業者がCO₂の排出を削減している例など)。(30代)
- ・ 自転車で移動しやすい環境、電気自動車を所有、運用しやすい環境を整えるべきだと思った。(40代)
- ・ レンタサイクルの更なる拡充、特に近隣区(郊外、三鷹市などとの連携)、三鷹市はレンタサイクルポートが少ない。(30代)
- ・ 公園などでのストライダーレンタル(子どもに自転車を身近に)→ストライダーは市民からの買取再整備や寄付。(30代)

【その他】

- ・ 認知度をあげたい。(30代)
- ・ 参加者すれば何かメリットがあるようにしたい。(50代)
- ・ まだよくわからないので、理解が深まればアイデア出しに協力したいです。(60代)
- ・ こうした学ぶ機会を何かしらの形で、続けていただくことで、区民が考えることができると思うのでお願いしたい。(40代)

6. 今後の杉並区気候区民会議に向けて**6-1 改善した方が良くと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。****【時間が足りない】**

- ・ 10分は短く15分は欲しかったです。(40代)
- ・ 1,2回目のディスカッションの時間は、もっと長いと良かったです。(40代)
- ・ ディスカッションの時間を増やしてほしい。(20代)
- ・ もう少し時間に余裕をもったスケジュールにさせていただけるとありがたいです。(50代)
- ・ 説明者の方の待ち時間を増やして、もう少しゆっくり話していただきたいです。(50代)

【運営について】**(情報提供)**

- ・ 先生同士の会話ではあまり参考になる会話は感じられなかった。恐らく、属性上回答に用意も必要で気軽に答えたくないのでは無いでしょうか。10分ほど時間を割いているようでしたが、それであれば、各テーブルのディスカッションの時間を増やす方が有意義に感じます。(40代)
- ・ 海外の事例については、どここの程度の情報なのか具体的に記して欲しかったです。その情報が全てではないと思うので、数字や情報源等エビデンスが欲しいです。(30代)
- ・ スライドの文字が小さすぎます！(40代)

(その他)

- ・ アンケートのQRコード机の上に置いておいてほしい。(20代)
- ・ 室内が暑かった。プログラムがとても長くてあまり頭に入って無かったです。すみません。(30代)

【会議全体の感想】

- ・ グループの男女の比率はしっかり確保して欲しい。違う意見や異なる目線の話聞くことは大事だと思う為。今回の5グループは、5人全員男子でインストラクターも男性だった。これは改善していただきたい。(50代)
- ・ 話やすい雰囲気を作ってください非常に良い討議ができました。(20代)
- ・ ファシリテーターがよくまとめてくれて助かります。(50代)
- ・ 充分だと思います。(70代以上)
- ・ 特にありません。素晴らしい運営ありがとうございます。(60代)
- ・ 特にありません。(60代)

3 | 第3回会議

(1) 開催概要

- 日時** 2024年5月18日(土) 13:30～16:30(3時間)
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第4会議室(杉並区阿佐谷南1-15-1)
- テーマ** 実現したい杉並区のめざす姿と取組を考えよう
- 内容** 気候変動対策が進んだ杉並区のめざす姿を考え、まためざす姿を実現するために必要な取組を「エネルギー」「循環型社会」「みどり」「交通」の4テーマに関連して出しました。
- 参加人数** 58名(11グループ)

(2) 会議のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	13:30	5分	本日の目的と進め方
	13:35	15分	これまでの振り返りと、意見提案の作成までの道筋イメージの共有
グループワーク①	13:50	60分	「2050年、気候変動対策を実施した杉並区がこうなったらいいな」めざす姿を出し合おう 2050年、気候変動対策を実施した杉並区がどんな姿であってほしいか、意見を出しました。
	14:50	10分	休憩
全体共有	15:00	15分	全体で各グループの成果を確認・全体でシール投票
グループワーク②	15:15	65分	杉並区で実施したいテーマ別の取組アイデアを出し合おう 前半と同じグループで、後半はテーマ別にどんな取組を実施していくべきか、幅広くアイデアを出しました。
全体共有	16:20	5分	全体で感想を共有する(一部のみ)
まとめ	16:25	5分	まとめ・次回ご案内
	16:30		終了

(3) 参加者からの質問と回答の内容

No.	質問 (第3回会議)	回答
1	<p>23 区のゴミ袋有料化、2009 年の廃止理由と杉並区を主導とした再導入の可能性について、ご回答をお願いします。</p> <p>有料ゴミ袋化による、ゴミ量削減効果（見込みや別都市、国での成功/失敗例も交えて教えて頂けると助かります。</p>	<p>東京 23 区では、可燃ごみを入れる袋として、共通の規格を定めた東京 23 区推奨ごみ袋認定制度を実施していましたが、平成 21 年 (2009 年) 3 月 31 日をもって廃止しています。これは、東京 23 区推奨ごみ袋の規格 (透明・半透明で簡単に破れないもの) と同程度の袋が流通していることによるものです。そのため、再導入の考えはありません。</p> <p>また、当時の 23 区推奨ごみ袋は、他自治体が実施しているごみの有料化施策に伴い、手数料を上乗せして販売するごみ袋とは異なります。</p> <p>続いてごみ処理の有料化についてですが、ごみの排出抑制や排出量に応じた負担の公平性及び排出者の意識改革などにより、既に有料化を実施している自治体では、1 割から 2 割程度ごみ量を減らす効果があるようです。</p> <p>なお、外国については、ごみ処理の方法は様々であり、有料化を実施している国もあります。</p>
2	<p>第 1 回会議質問 10 の関連質問です。</p> <p>江守先生のご回答は、理解しました。バイオエネルギーと同様の考え方ですね。</p> <p>一方で、循環型社会の実現の中では、3R への取り組みがテーマとなっています。</p> <p>例えば、食物廃棄ロス削減が脱炭素につながると説明を受けていますが、江守先生の説明「人間の呼気は食物由来なので CO₂ 排出増加と見なさない」と</p>	<p>たしかに、生産された食料を食べるか捨てるかの違いの部分では、排出される温室効果ガスの量はあまり差がありません。</p> <p>しかし、フードロスを抑え、人間が食べる量だけ生産することによって、生産量を縮小することができれば、生産・流通段階における排出量が減少します。そのため、我々消費者は食品ロスが出ないように適度に食べ物を購入し、それによってお店も適度に仕入れる、国全体としても適度に生産し、輸入する、という形で、より上流側が変化していけば、これまで捨てられていた余分な食料が生産されなくなるばかりか、食料が足りなくて困ってい</p>

No.	質問（第3回会議）	回答
	<p>考えるのであれば、食物廃棄削減を脱炭素のテーマとして捉えるのはバランスを欠いているのではないか。</p> <p>人間が食べれば、CO₂増加にならずに、廃棄すればCO₂が増える？人間が食べても食べなくてもCO₂の量は一緒ではないか？</p> <p>（不躰な質問で恐縮です。真に合理的な考え方に基づく効率的な取り組みをすべしとの視点での質問ですのでご容赦ください）</p>	<p>る人たちにも食料が行きわたりやすくなるかもしれません。</p> <p>（東京大学未来ビジョン研究センター／国立環境研究所 江守先生より）</p>

(4) グループワークの結果

* 記録は、参加者の意見一つひとつを文字に起こして作成しています。ファシリテーターが記録した箇所については、意見の意図をわかりやすくするために一部表現を修正しています。

* 意見交換の記録の詳細は、「開催レポート」をご参照ください。

▽ 第3回会議 開催レポート

URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/696/3-report.pdf>



■ グループワーク①「2050年、気候変動対策を実施した杉並区がこうなったらいいな」めざす姿を出し合おう

各グループで、2050年に気候変動対策を実施した杉並区がどんな区になっていて欲しいか、めざす姿についてそれぞれが思い描くイメージなどを出し合いました。そして各グループで「大事だな」と思っためざす姿に対して、シール投票を行い、一人3枚のシールのうち1枚(◎)は、とくに大事だと感じたものとして投票しました。

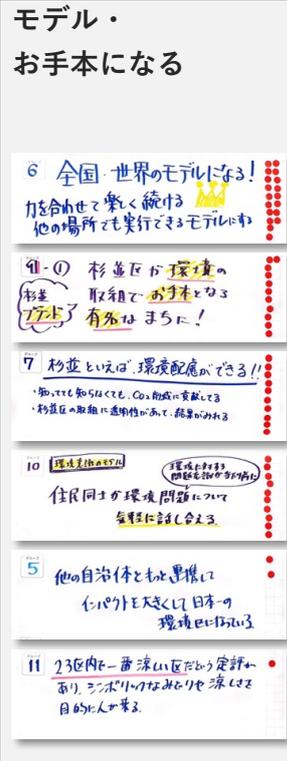
[グループワークの模造紙のイメージ]

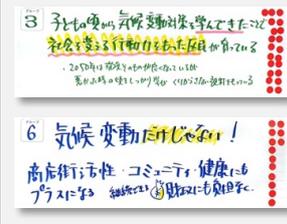


各グループで、めざす姿について議論した後、大事だと思っためざす姿（3つ程度）を「短冊シート」にまとめました。各グループからの発表後、全11グループ分の短冊シートを会場に貼り出し、似たような内容を「大テーマ」として束ねました。

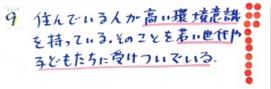
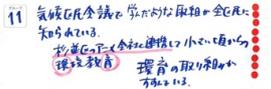
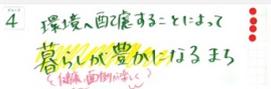
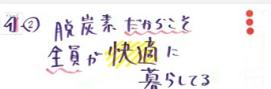
発表内容をもとに全体シール投票を行い、他のグループの短冊シートで「いいな」と思っためざす姿に一人6枚まで投票しました。全グループ分の結果をテーマ別に整理した内容を、以下に示します。

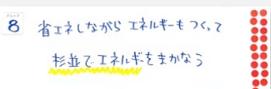
[1～11グループが大事だと思った「めざす姿」(短冊)]

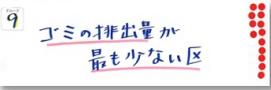
大テーマ	グループ	めざす姿(短冊)	投票
モデル・お手本になる 	6	全国・世界のモデルになる 力を合わせて楽しく続ける他の場所でも実行できるモデルにする	18
	1	杉並区が環境の取組でお手本となる有名なまちとなり、環境の取組が杉並区のブランドになっている	11
	7	杉並区といえば、環境配慮の暮らしが実現できているまち 知っていても知らなくてもCO ₂ 削減に貢献している。杉並区の取組に透明性があって、良いことも悪いことも結果がみられる	10
	10	住民同士が環境問題について気軽に話し合え、都市のモデルになっている 「環境意識」のモデルになる。環境に対する問題意識を持つことが当たり前	10
	5	他都市とも連携して日本一の環境区として成功しお手本になっている 脱炭素のインパクトを大きくする	2
	11	23区内で一番涼しい区だという定評がある シンボリックなみどりや涼しさを目的に人が来る	1

大テーマ	グループ	めざす姿(短冊)	投票
環境教育・交流・暮らし 	3	社会を変える行動力をもった区民が育っている 子どもの頃から気候変動対策を学んできたことで、社会を変える行動力をもった区民が育っている。2050年は環境そのものが良くなっているが、悪かった時の頃をしっかりと学び、繰り返さない視野を持っている	21
	6	気候変動だけでなく、商店街活性・コミュニティ・健康にもプラスになり、財政にも負担なく継続できる取組を実施している	13

第2章 各回の概要とグループワークの結果

	9	住んでいる人が高い環境意識を持っており、若い世代や子どもたちに受け継いでいる	13
	11	気候区民会議で学んだような取組が全区民に知られている 杉並区のアニメ会社と連携して小さい頃からの環境教育（環育）の取組が進んでいる	9
	3	自然体（ストレスフリー）で無理なく誰もが気候対策の暮らしを楽しんでいる 自分の暮らしにあわせて最適な対策ができるしくみがある	8
	4	環境へ配慮することによって区民の暮らしが豊かになる 環境の分野に限らず、区民の暮らしに関わる面倒ごともある	4
	1	脱炭素だからこそ全員が快適に暮らしている 我慢ではなく、脱炭素と快適な暮らしが両立できている	3

大テーマ	グループ	めざす姿（短冊）	投票
	8	省エネを進めながら杉並区でエネルギーをつくり、区内でエネルギーをまかなっている	19
	6	エネルギーをつくることと、今までのものを守ることの両立をしている	2

大テーマ	グループ	めざす姿（短冊）	投票
	9	ごみの排出量が最も少ない区	13
	4	暮らしに関わる全てのもの・こと（ごみ、衣料品、介護用品、エネルギー等）が杉並区内で完結できる循環システムのあるまち	7
	5	ゼロウェイストのまちになっている 区民があたりまえにリサイクルに取り組めるリサイクルステーションなど社会インフラ、システムが整っている	4
	8	ひとり当たりのごみの量を減らしてリサイクル率 NO.1 となっている	2
	2	ごみの排出量が少ないまち みんながごみを出すことが減る。カラスがいなくなる（里に帰ってもらう）。リサイクル、リユースが進む	1
			

大テーマ	グループ	めざす姿（短冊）	投票
みどり	3	<p>杉並区は他区もうらやむ質の高いみどりを守り育てているまち</p> <p>緑被率等の数値だけではなく、徒歩圏で森林浴ができるような質の高いみどりを守り育てている</p> <p>川やみどりが今まで以上につながって歩いて楽しいまちになっている</p> <p>区外の人がうらやむようなみどりの資源が充実している</p>	21
	5	<p>豊かな自然と四季を感じることができ、人々が憩い、交流しているまちになっている</p>	10
	7	<p>暮らしもみどりも豊かで、人と自然に隔たりのないまち</p> <p>自然と人の暮らしが一体になっている</p> <p>みどりのにぎわいがある（道路活用、公園に露店がある、楽しむ）</p> <p>昔の暮らしに少しもどる（利便性と自然のバランス）</p>	10
	9	<p>今よりもっともっとみどり豊かになり、住みたいと思う人が増えている</p> <p>みどりが多いから住んでみたい！と思えるまち</p>	9
	10	<p>動物にとっても人にとってもコンフォータブルなまちになっている</p> <p>「みどり」のモデルになる。みどりが増えて人が外で過ごす時間が増えている。庭に植わっている果樹を食べに来たり、動物が家に遊びにくるなど動物と共生できる環境が整っている</p>	8
	2	<p>四季が感じられるみどり豊かなまち</p> <p>花壇 川で遊べる 木かげがある 落葉でたき火</p>	3
	8	<p>都市の暮らしの中に、歩いて楽しく愛着の持てるみどりがたくさんある</p>	3
	1	<p>多様な植物で彩りが豊かで、虫や蝶などの生物も多様なまち</p>	2
	4	<p>みどりのある場（公園、畑、緑地等）を残し、目に見えて増えていくまち</p>	1
	7	<p>五感で感じられる気持ち良いみどりが豊かなまち</p> <p>みどりが豊かなまち。建物が少なく開放感がある。生命のにぎわいや生物多様性の実現。芝生のある公園</p>	0

第2章 各回の概要とグループワークの結果

大テーマ	グループ	めざす姿（短冊）	投票
交通	9	歩きたくなる、自転車に乗りたくなるまち 車以外の移動手段がいろいろあり、選ぶことができる	24
	3	歩行者も自転車も車もお互いを意識しなくても安心して通行できている環境が整っているまち みどりがネットワークされていて歩きやすい。自転車もより走りやすくなるように道路や法の整備ができています。エコ自動車が増えてグリーンスローモビリティが充実している	22
	2	だれもが安心できる道しかないまち 今の自転車道はキケン。ベビーカー、シニアカーも段差なく移動。路地で遊べたり、カフェが道沿いにある	12
	4	車や自転車等のモビリティと人が共存できるやさしいまち	3
	5	人・自転車・車がストレスなく移動できている 歩行者専用エリアが広がり歩いて楽しいまちになっている。自転車や公共交通でコンパクトに移動できるまちになっている	3
	1	歩いて楽しいまち ゆっくりもイイ！時間はかかるけど、それ以上のメリットがある。花が摘めるなど、楽しさやわくわくがある。みどりがたくさんある。	2
	10	安全に移動できる「手段」と「環境」が整っている 「移動」のモデルになる。安全に移動ができる新しいモビリティがある。道路が整備されている	1

大テーマ	グループ	めざす姿（短冊）	投票
しくみ	11	Kポイント（環境対策ポイント）を貯めており、環境対策に取り組むことがお得につながっている たまったら住民税の軽減につながる グリーンスローモビリティの乗車券がもらえる 地域通貨に交換してもらえる	35

■ グループワーク②：杉並区で実施したいテーマ別の取組アイデアを出し合おう

各グループで「エネルギー」、「循環型社会」、「みどり」、「交通」の4つのテーマについて、めざす姿を実現するために杉並区で実施したい取組のアイデアについて、第1回・第2回の情報提供や気づきをヒントにしながら出し合いました。

[グループワークの模造紙のイメージ]



(5) アンケートの概要と結果

■ 実施概要

回答方法：WEB フォームもしくは用紙

回答者数：54 件

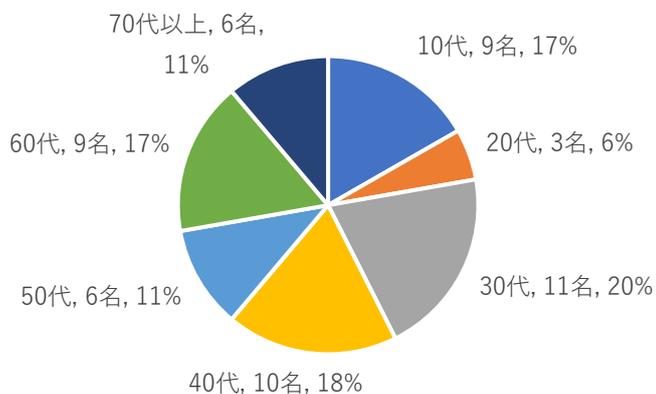
* 回答者が必ずしもすべての設問に答えていないため、回答数が上記件数に満たないものがあります。

* 自由記述は、原則として回答された内容のまま掲載しているため、誤字脱字と思われるものもそのまま表記しています。ただし、個人情報等を含むものは掲載していません。

■ 結果

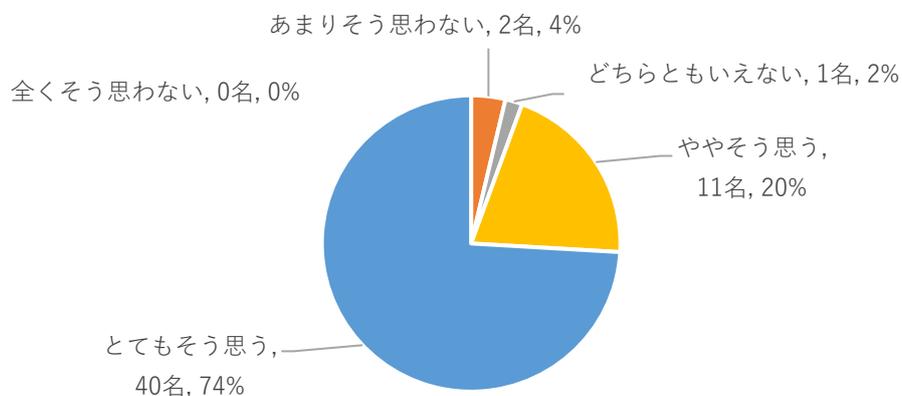
1. あなたのことについて、お聞きします。

1-1 年代を教えてください。

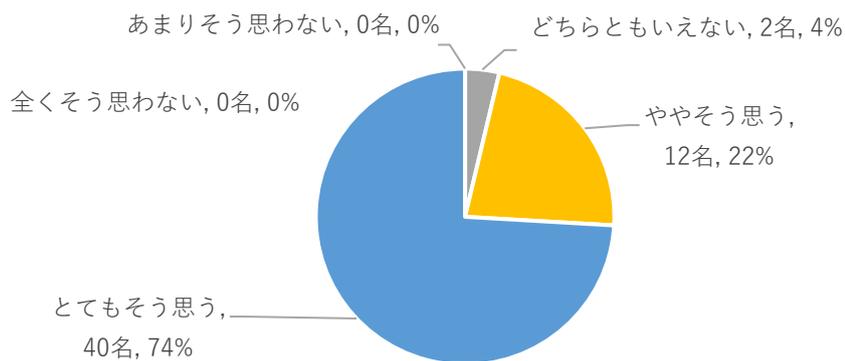


2. 本日の気候区民会議への参加について、お聞きします。

2-1 全体として、今日の気候区民会議に参加して満足していますか？

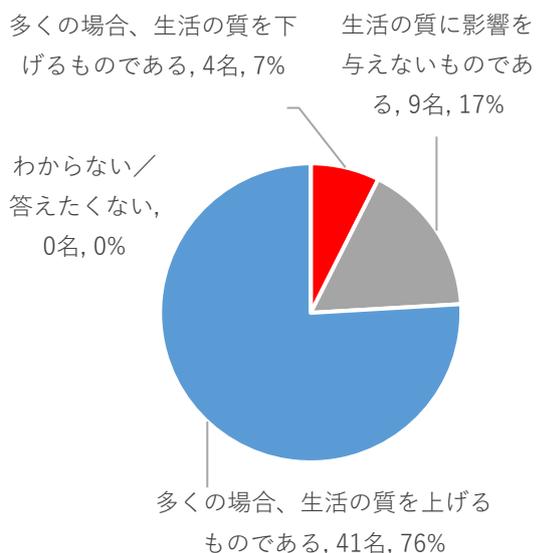


2-2 今日の気候区民会議のねらいや目的はよく分かりましたか？

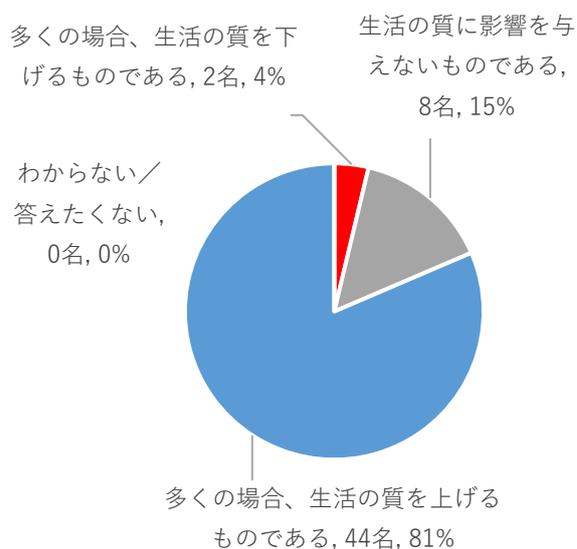


2-3 今日、グループワークで議論された気候変動対策は、あなたの生活にとってどのような影響を与えるでしょうか？

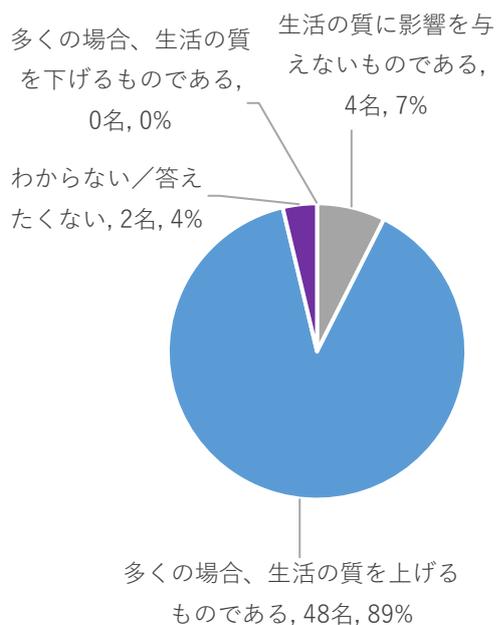
「エネルギー」



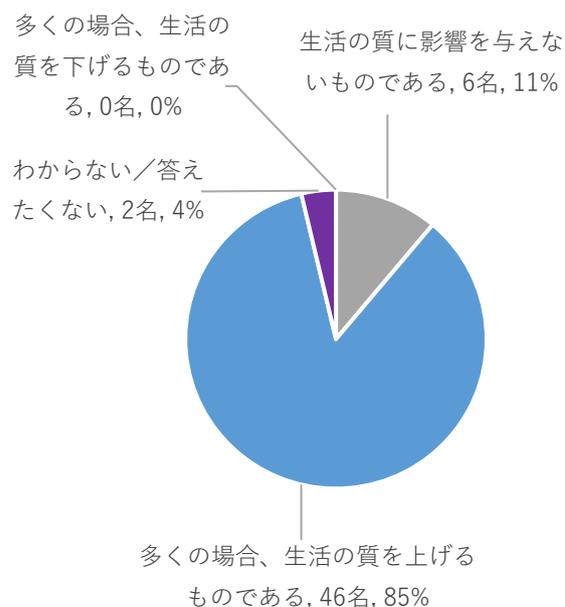
「循環型社会」



「みどり」

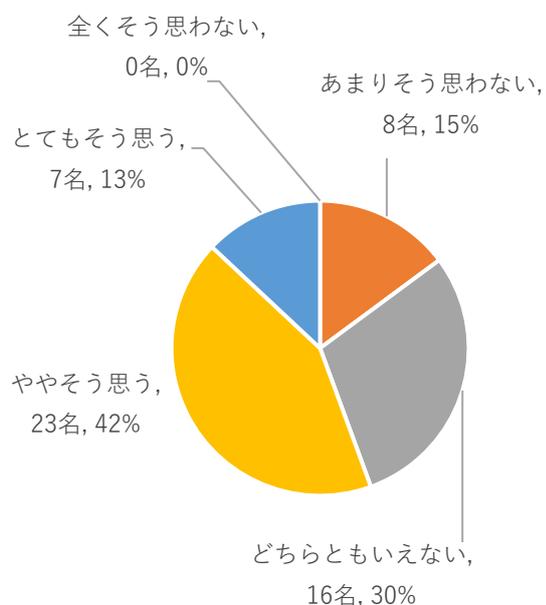


「交通」

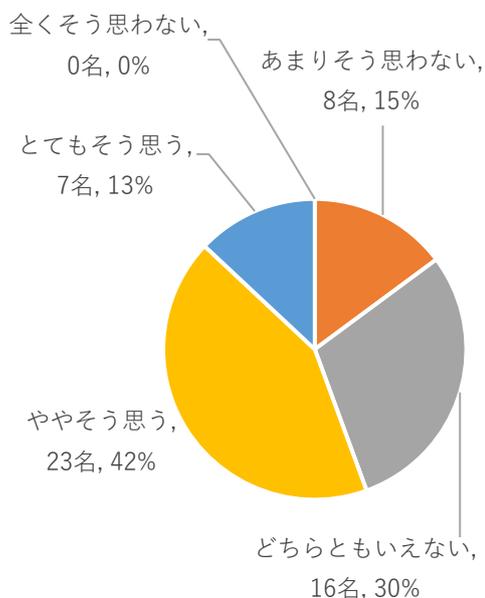


2-4 今日の気候区民会議を終えてみて、今日の会議で発言されたような対策を個人として実践する場合に、十分な知識があると思いますか？

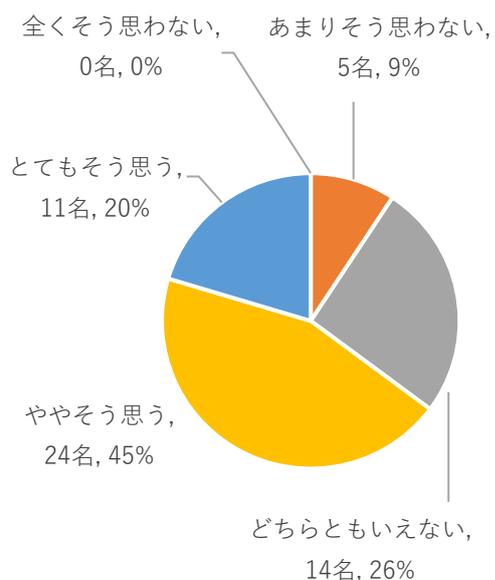
「エネルギー」



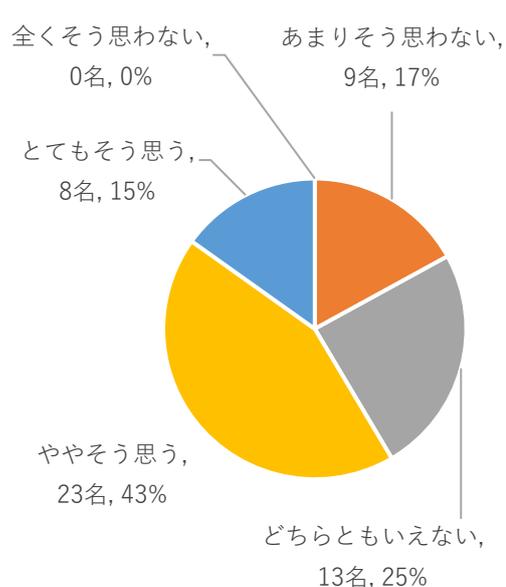
「循環型社会」



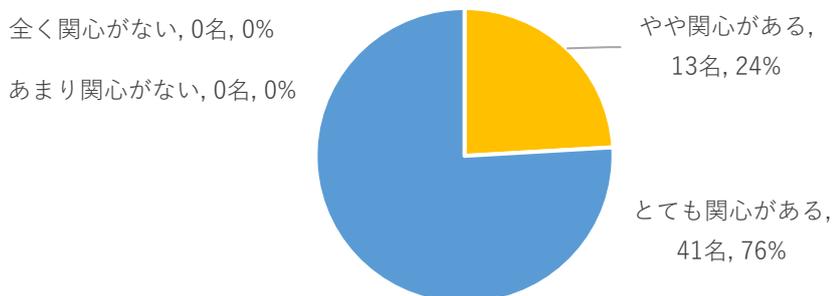
「みどり」



「交通」

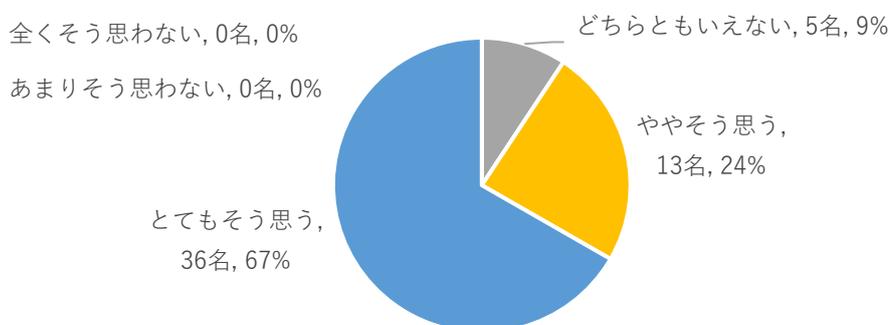


2-5 今日の気候区民会議を終えてみて、気候変動問題に関心はありますか？

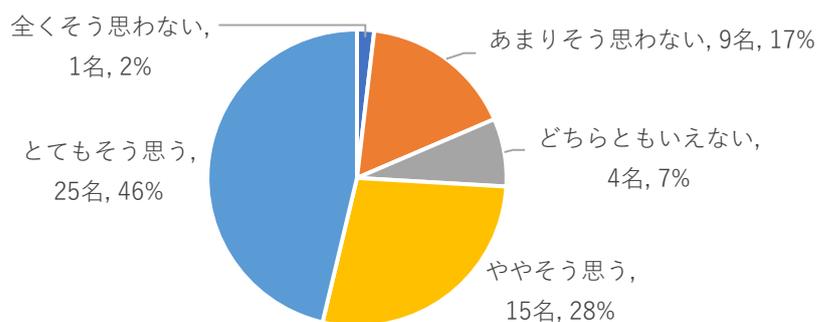


3. 今日の区民会議のグループワークについて、お聞きします。

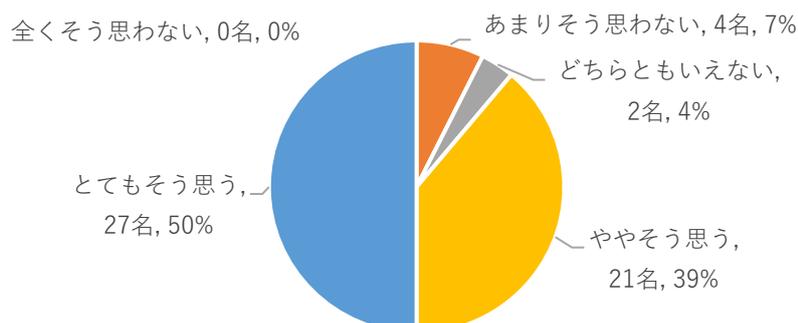
(1) 意見交換は円滑にできたと思いますか？



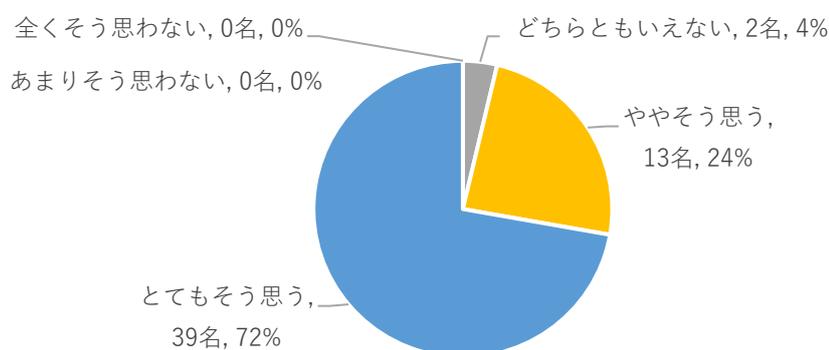
(2) グループワークの時間は十分でしたか？



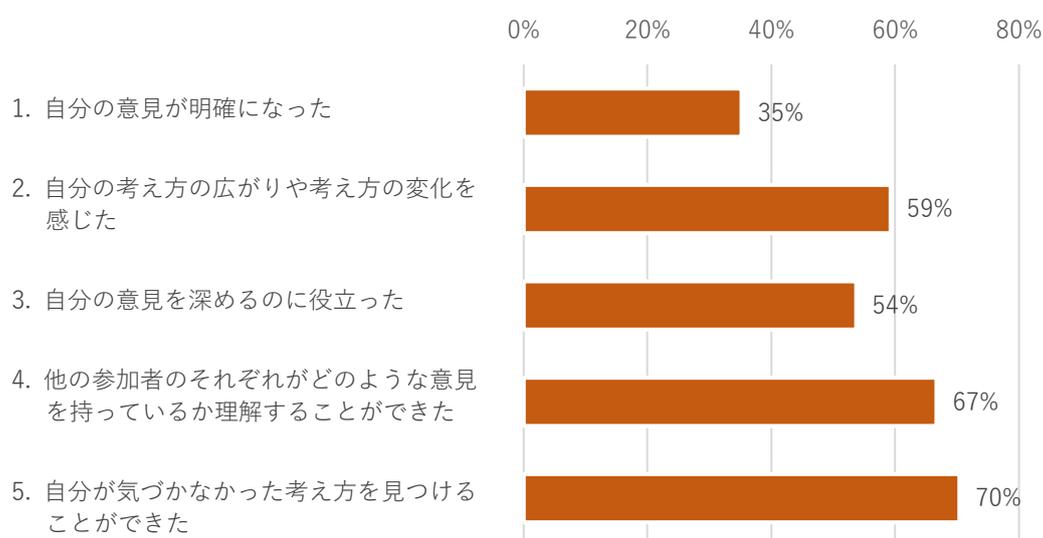
(3) 自分の考えを話す時間は十分にありましたか？



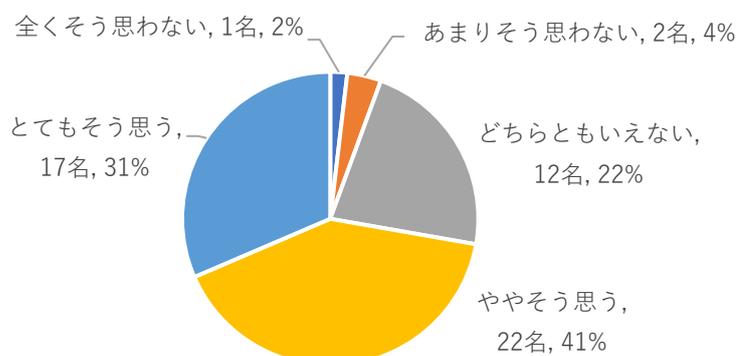
(4) 自分の意見は尊重されていると感じましたか？



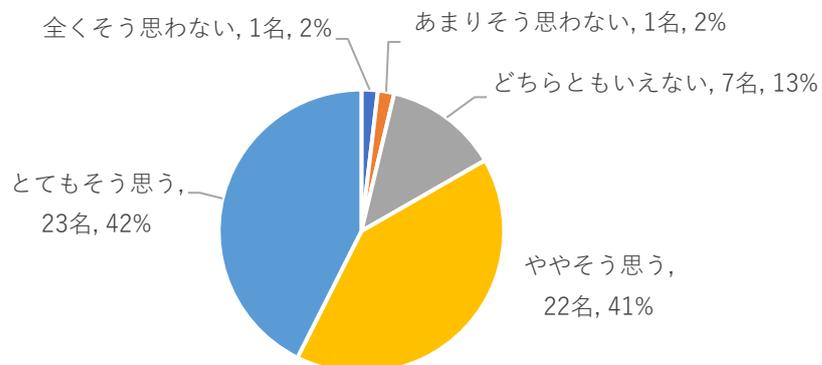
(5) グループワークで話し合った内容について以下にあてはまるものがありますか？
(複数回答可)



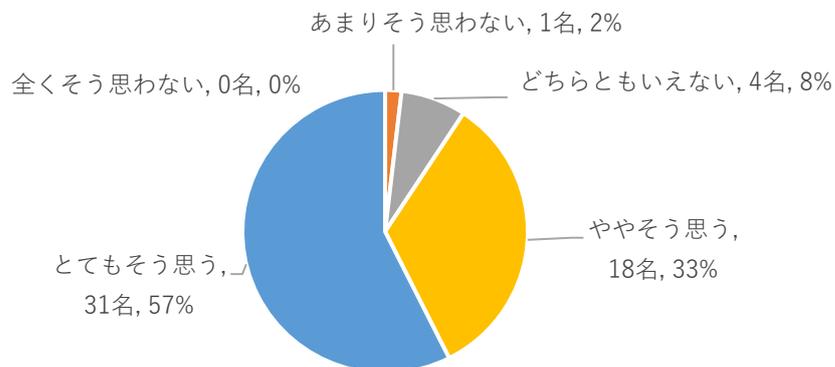
(6) グループワークのなかで疑問に思ったことは十分に解決されましたか？



(7) グループワークのなかで納得のいく成果を得ることができましたか？



(8) グループワークのなかで話したり聞いたりしたことを身近な人に話したいと思いませんか？



(9) 今後のグループワークの進め方について改善した方が良いと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

- ・ どうしたら良いのか分からないのですが、誰かの意見に対して他の参加者はどう思うかという、参加者同士の会話をもっとあり、気負わずに和気あいあいと話せると更に良いなと思いました。
- ・ 前半はじっくり話し合えました。後半は少し慌ただしかったこと、前半で描いたイメージとのつながりが弱かったことが、少しもったいない印象でした。
- ・ 前に出てシールを貼るのは、写真を撮ったものをポータルサイトに上げて後日でも投票できるようにするなど、オンライン化できると会議時間の時短になるかなと思いました。
- ・ 難しいですが、グループワークの話し合いの時間が足りないように思いました。あと 15 分くらいあれば良かったと思います。
- ・ 時間がもう少しあってもいいかもしれません。
- ・ 10代の方が比較的議論に入りづらい（慣れていない）ことがあると思うが、これからの世代という意味では貴重な意見となるため、あえて意見を聞くことがあってもよいと思う。

4. 今後の杉並区気候区民会議に向けて

4-1 改善した方が良いと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

- ・ 時間通りに終わるのはマストにさせていただけるとそのあとの予定があったりするので嬉しいです。
- ・ 今後、意見を深める時間がたくさん取れたらよいと思います。
- ・ 時間に追い詰められる感は少しある。

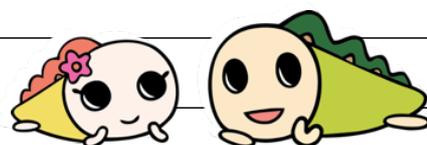
4 | 第4回会議

(1) 開催概要

- 日時** 2024年6月8日(土) 13:30～16:30(3時間)
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第4会議室(杉並区阿佐谷南1-15-1、西棟6階)
- テーマ** 取組の内容と実現方法を考えよう
- 内容** 第3回で出し合った2050年の気候変動対策が進んだ杉並区の「めざす姿」やその実現に向けた「取組アイデア」を踏まえ、テーマ別のグループに分かれて、気候変動に対する具体的な「目標」と「取組」を考えました。
- 参加人数** 52名(12グループ)

(2) 会議のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	13:30	5分	本日の目的と進め方
	13:35	5分	第3回会議の振り返り 「めざす姿」と「取組アイデア」のまとめを紹介しました。
	13:40	5分	グループワークの進め方
グループワーク	13:45	30分	「めざす姿」や「取組アイデアのまとめ」を確認し、サブテーマに関する「目標」を考えよう グループのサブテーマに関連する「めざす姿」と「取組アイデアのまとめ」の内容を振り返り、具体的に達成すべき「目標」を考えました。
		95分	目標を達成するための「取組」を深めよう グループで設定した「目標」を達成するために必要な「取組」を出し合い、なぜそのような取組が必要なのかを深めました。
	10分	休憩	
全体共有	16:00	25分	グループワークの成果を全体に共有しよう 各グループ2分程度で共有
まとめ	16:25	5分	まとめ・次回ご案内
	16:30		終了



(3) グループワークの結果

* 意見交換の記録の詳細は、「開催レポート」をご参照ください。

▽ 第4回会議 開催レポート

URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/697/report-4.pdf>



■ グループワークの進め方

第4回会議では、第3回会議で出し合った2050年の気候変動対策が進んだ杉並区の「めざす姿」やその実現に向けた「取組アイデア」を踏まえ、テーマ別のグループに分かれて、気候変動に対する具体的な「目標」と「取組」を考えました。そして、4つテーマをそれぞれ3つのサブテーマに分け、12のグループに分かれて議論を進めました。(サブテーマは、第3回に参加者の皆さまが出し合った全11グループ分の「取組アイデア」を統合し、整理したものです。)

[グループ分けとサブテーマ]

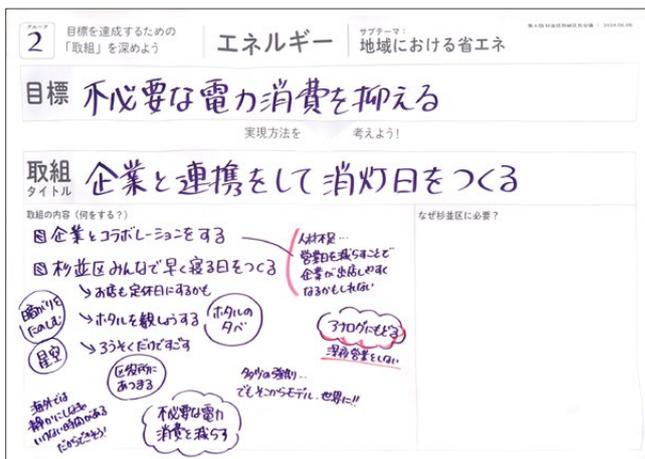


第2章 各回の概要とグループワークの結果

グループワークでは、サブテーマに関連する「めざす姿」と「取組アイデアのまとめ」の内容を振り返り、具体的に達成すべき「目標」を考えました。その後、「目標」を達成するために必要な「取組」を出し合い、なぜそのような取組が必要なのかを深めました。



「目標」を検討したワークシート



「取組」を検討したワークシート

各グループ、2つから3つ程度の取組を検討しました。

■ 区職員や専門家による議論のサポート

グループでの検討を補助するため、各グループに「呼び出しカード」を設置した上で区職員やテーマに関する専門家が会場を回遊して、グループからの質問に回答しました。テーマごとに的確に対応できるよう、各テーマに関連する所管課の区職員と分野ごとの専門家を配置しました。

議論や検討を深めていく中で浮かび上がった疑問点をリアルタイムで解消していくことで、議論のスムーズな展開や発想の転換などにつながりました。



■「目標」と「取組」の一覧

テーマごとに、グループで検討した目標と取組の一覧を以下に示します。

グループ/サブテーマ	目標	取組タイトル
■ エネルギー		
1 家庭における 省エネ・ 再エネ	家庭でのエネルギーに関するお 得になる情報を区民全員が知っ ている状態を目指す	取組1 お得に省エネ・再エネ チャレンジ
	区内の家庭での太陽光発電の普 及率を倍または 30%アップす る	取組2 近所の人たちとみんなで 導入すれば怖くない発電
	新築・改修ともに戸建住宅・集 合住宅の省エネ・再エネにつな がる仕組みを充実させる	取組3 省エネ・再エネ住宅量産 パッケージ
2 地域における 省エネ	不必要な電力消費を抑える	取組4 企業と連携をして消灯日を 設ける
	日常生活の中に省エネを組み込 む	取組5 床発電システムを駅や 公共施設に導入する
	“エコ杉並”のブランディングを つくる	取組6 杉並区主催で自家発電運動会 を開催する
3 地域における 再エネ	エネルギーの地産地消の割合を 上げる	取組7 自分たちで小さくてもコツコ ツと積み上げて発電し、まちも つくり変えて、電力の地産地消 を区全体で進める
	化石燃料由来の電力を再エネ由 来の電力に切り替える	取組8 (仮) (化石燃料由来の電力を) 再エネ由来の電力に切り替え る
	区内でまかなえきれない電力 は、信頼できる地域・都市から 調達する	取組9 交流自治体や地方と連携協力 して再エネ電力を供給しても らう

グループ/サブテーマ	目標	取組タイトル	
■ 循環型社会			
4	リデュース： ごみ・ 食品ロス を減らす	行政・企業・飲食店が連携し、 ごみ削減に効果的な取組を多数 実施する	取組10 商店街でフードロスを テーマにしたハレの日の 催しをつくる
		ごみに関する意識の改革につな がるような、楽しく学び、体験 する機会をたくさん創出する	取組11 杉並循環ラボをつくる
		世界一ごみの排出量が少ないま ちを実現する	取組12 杉並式生ごみ循環システムを つくる
5	リユース： 繰り返し 使う	アップサイクルや修理を促進 し、粗大ごみを半減させる	取組13 RE プレイスの場をつくる
		リユース容器の利用を促進し、 区民が日常的にリユース容器を 利用している状態を実現する	取組14 杉並区量り売りストリート
		一度使ったモノのシェアを実現 し、区民同士のコミュニティ形 成も図る	取組15 杉並区0円均一 DAY を年に 2回実施する
6	リサイクル： 再資源化を 進める	(生ごみを再資源化すること で) 可燃ごみの削減につなげる ため、生ごみを堆肥化する区民・ 事業者を 90%に増やす	取組16 杉並区内の生ごみからできた 土をつくり、杉並ブランドとし て商品化する
		まちの身近なところにリサイク ルできる回収拠点や場がたくさ んある状態を実現する	取組17 リサイクルの細分化を体験し、 学べる場や機会を杉並区内に つくる
		資源回収率 60%を実現するた めに、リサイクルのしくみやプ ロセスに関する区民の認知度や 理解を 80%以上にする	取組18 リサイクルについて目に触れ る機会をまちの中に増やす

グループ/サブテーマ	目標	取組タイトル	
■ みどり			
7	区内の身近なみどりを 守る	区民一人ひとりが「推しの樹林」を持つ	取組19 推し樹林48：選挙でみどりを 選び、私有地を区民がつながって 守る
		資本力がある企業が杉並のみどりを 守り、先導的にみどりを創り、 増やす	取組20 一定規模以上の企業が良い みどりをつくる制度をつくる/ 商店街のみどりを地域の力で サポートする
		地域のみどりのことに詳しい区 民を増やし、みどりのことで詳 しい人と地域の人がつながる機 会を増やす	取組21 みどり先輩マッチングサー ビス&みどりめぐりツアー
8	みどりを 増やす	質の高いみどりを区民が享受で きるようにする	取組22 歩いて10分森林浴できる 杉並区
		自らみどりを増やしたいと思う 人を増やす	取組23 各個人のみどりを増やすた めのサポート充実
		誰も客観的なみどりの目標数値 の存在を知らない人が多い状態 から、緑被率目標と現状を知っ ている人を増やす	取組24 (仮) 緑被率の達成状況を PR し、みどりを増やすことを自分 ごと化する
9	自然 (みどり)の 力を生かす	暮らしを豊かにするための公共 のみどりに愛着をもって関わる 人を増やす	取組25 公共のみどりをフィールドと した区民の活動に対して、場・ 金銭・コミュニティの側面から 支援する
		住みやすさのシンボルとして (目に見えるみどりを図る) 緑 視率を30%にする	取組26 みんなで考え、つくり、関われ るみどりを増やす、官民協働の 仕組みをつくる

グループ/サブテーマ	目標	取組タイトル	
■ 交通			
10	自動車利用の低減	(配達や業務で使う) 商用車の移動を効率的にする	取組27 (仕事で使う自動車の移動を減らして) 商用「車」から商用「X」にする
		乗用車以外の交通手段で、杉並区内を南北に移動しやすくする	取組28 区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす
		自動車を使わないことによるメリットを増やし、自動車を使いづらくする	取組29 車を使わないメリットを増やす
11	徒歩・自転車の利用促進	1日に7,000歩以上歩く区民の割合を59%から70%に増やす	取組30 歩いて楽しく快適な環境を整える
		1日の区民の自転車利用時間を9.8分から15分に増やす	取組31 自転車で楽しく快適に走れる環境を整える
12	人と多様なモビリティの共生	南北も移動しやすい交通ネットワークをつくる	取組32 東西の移動だけでなく南北移動も省エネで
		モビリティの結節点としての駅を活用し、駅を単なる結節点から買う・憩う・遊ぶ・集う・学ぶ場にする	取組33 駅を人にやさしく付加価値の高い場にする
		歩きたくなるまちをつくる	取組34 推したくなるような四季折々で歩いて楽しい安全安心な緑をつくる

(4) アンケートの概要と結果

■ 実施概要

回答方法：WEB フォームもしくは用紙

回答者数：49 件

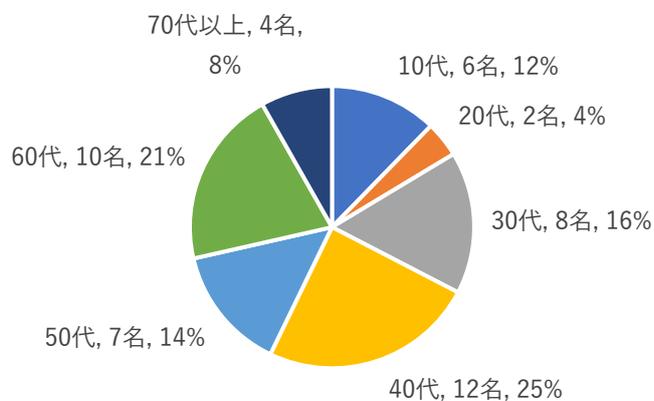
* 回答者が必ずしもすべての設問に答えていないため、回答数が上記件数に満たないものがあります。

* 自由記述は、原則として回答された内容のまま掲載しているため、誤字脱字と思われるものもそのまま表記しています。ただし、個人情報等を含むものは掲載していません。

■ 結果

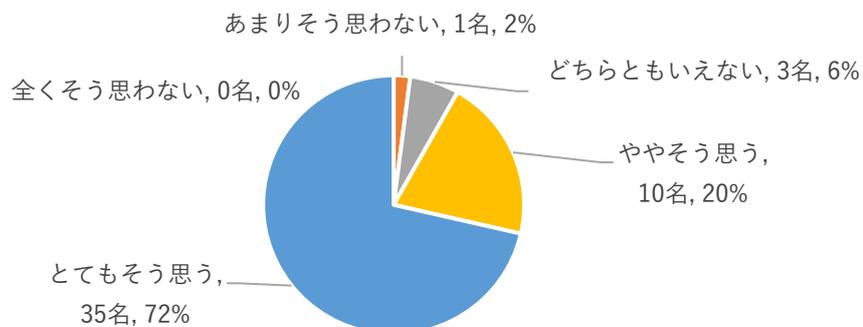
1. あなたのことについて、お聞きします。

1-1 年代を教えてください。

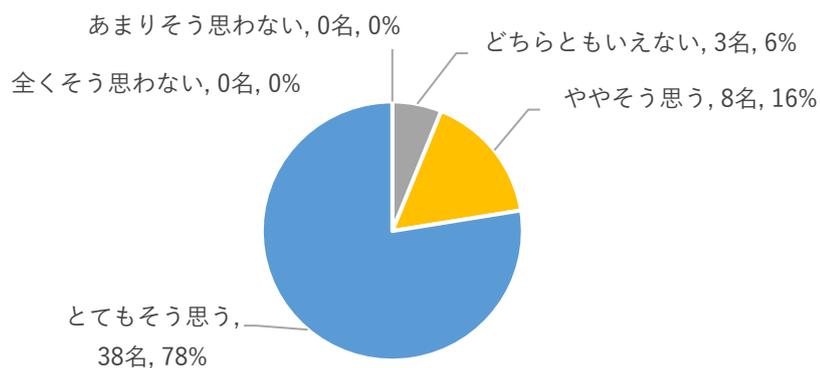


2. 本日の気候区民会議への参加について、お聞きします。

2-1 全体として、今日の気候区民会議に参加して満足していますか？

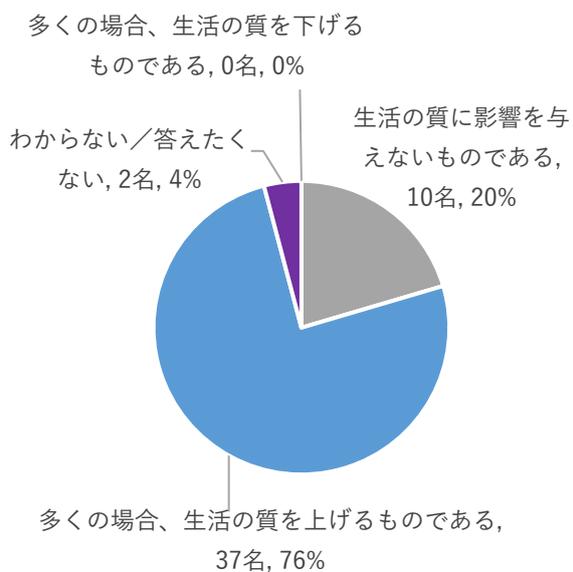


2-2 今日の気候区民会議のねらいや目的はよく分かりましたか？

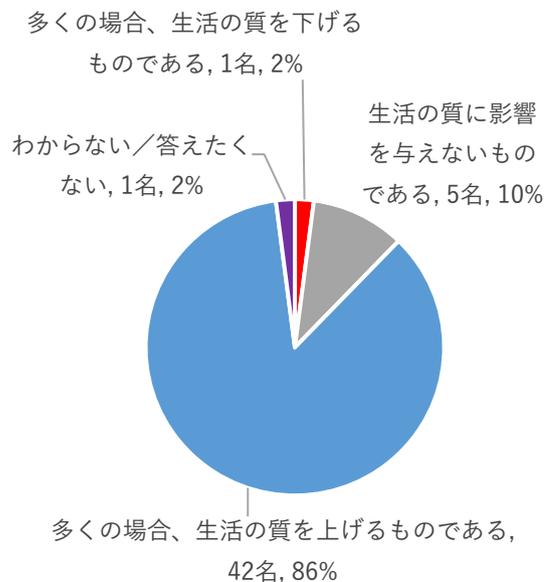


2-3 今日、グループワークで議論された気候変動対策は、あなたの生活にとってどのような影響を与えるでしょうか？

「エネルギー」



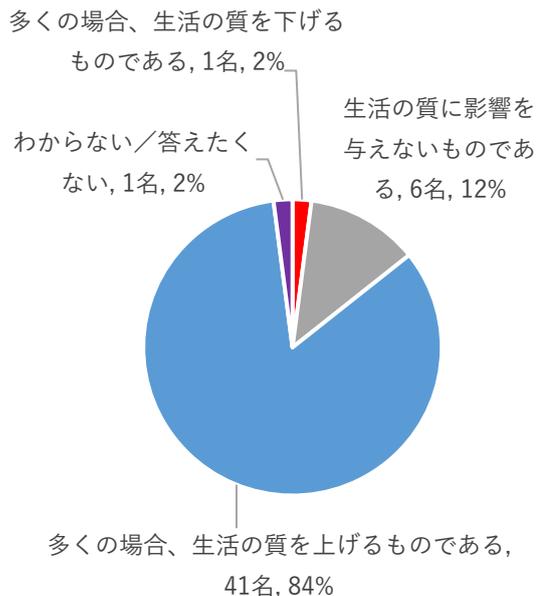
「循環型社会」



「みどり」

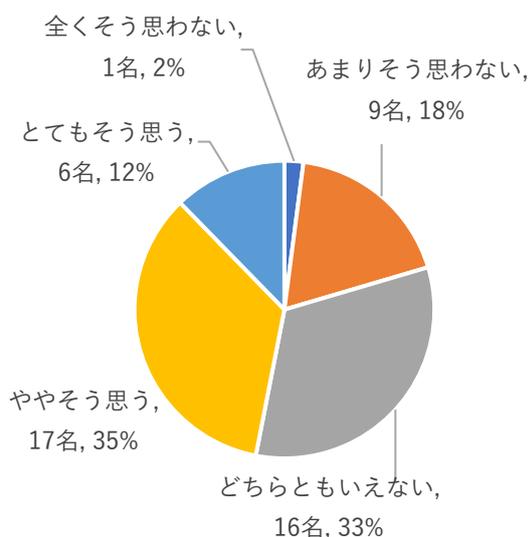


「交通」

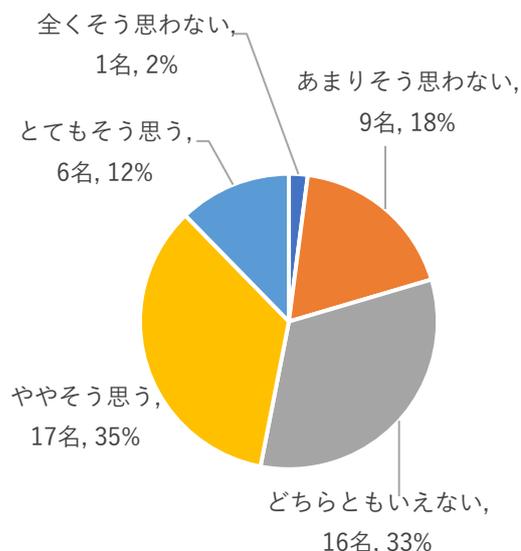


2-4 今日の気候区民会議を終えてみて、今日の会議で発言されたような対策を個人として実践する場合に、十分な知識があると思いますか？

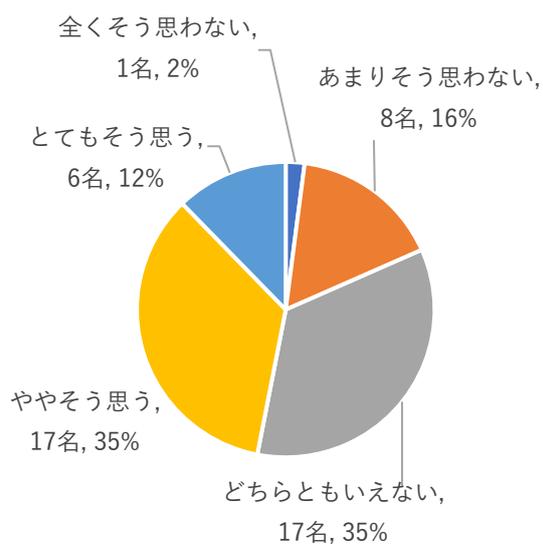
「エネルギー」



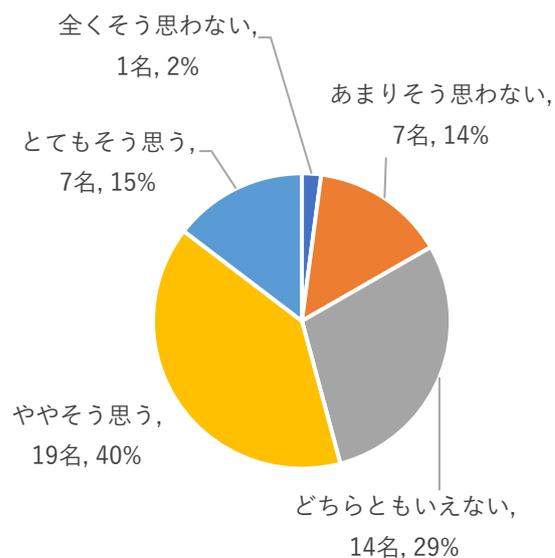
「循環型社会」



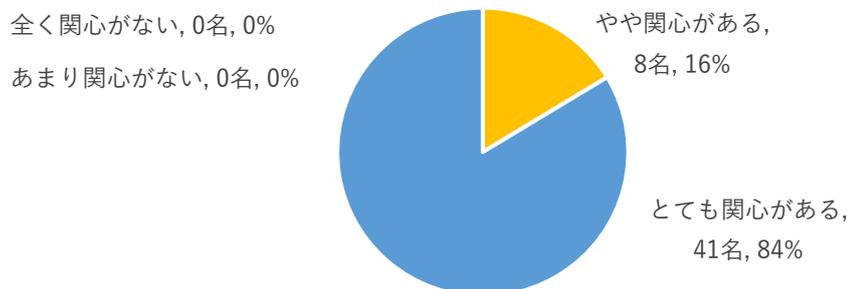
「みどり」



「交通」

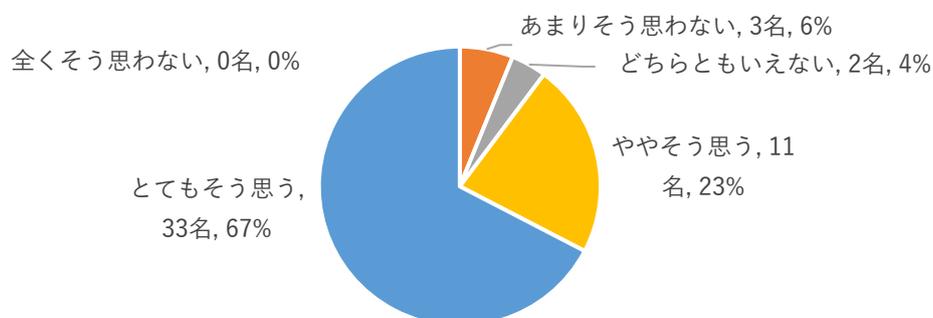


2-5 今日の気候区民会議を終えてみて、気候変動問題に関心はありますか？

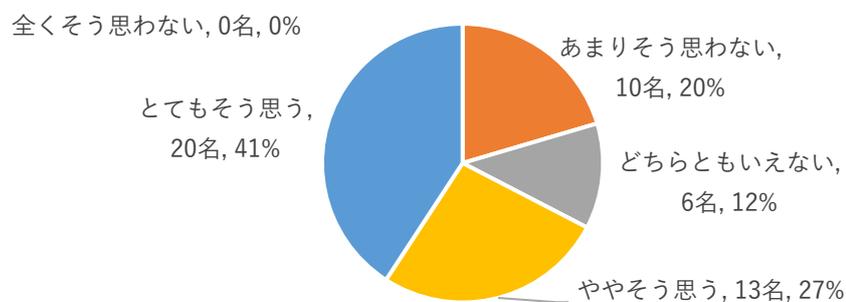


3. 今日の区民会議のグループワークについて、お聞きします。

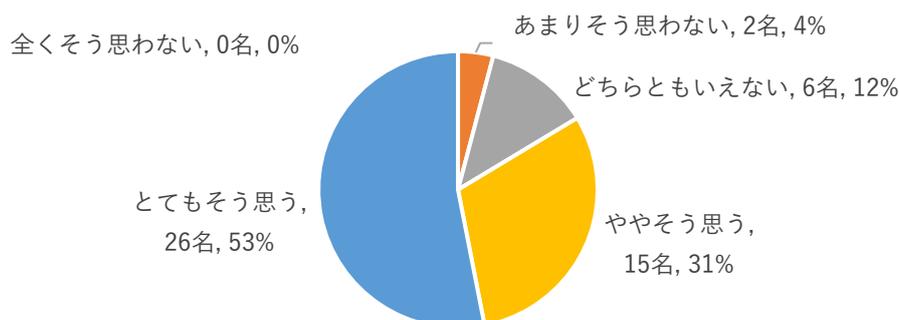
(1) 意見交換は円滑にできたと思いますか？



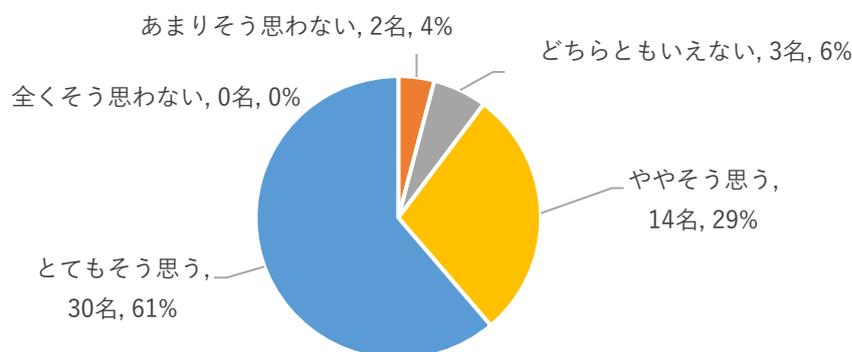
(2) グループワークの時間は十分でしたか？



(3) 自分の考えを話す時間は十分にありましたか？



(4) 自分の意見は尊重されていると感じましたか？



(5) (4) のご回答を選ばれた理由を教えてくださいませんか？ (以下班ごとに記載)

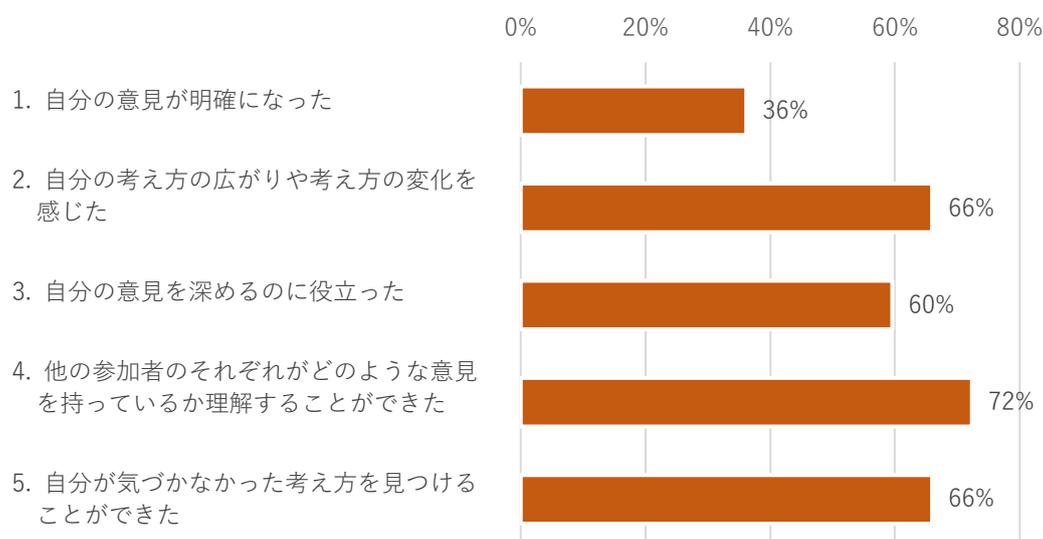
- 〔1班〕 ファシリテーターの采配がよかったため／モデレーターの方がバランスよくやってくれた／前向きに受け取ってくれた／和気藹々出来た／発言の内容について、他の方からも関連する意見をいただいた。
- 〔2班〕 みなさんお話を聞いてくれたので／お互いに聞こうとする雰囲気があり、話しやすい／意見を取り込んでくれた。
- 〔3班〕 提案を受け入れてもらえたから／取りまとめに自分の意見が反映された／皆さんが丁寧に話を聞いてくださいました。ありがたかったです。
- 〔4班〕 みんな意見を出し合い、みんなの意見を掘り下げていた／否定されなかった／ファシリテーターの方が参加者の意見をメモしていただいてまとめて頂けたから／皆よく聞いてくれました。
- 〔5班〕 自分の意見が取り上げられていたから／個人個人の意見に全員が反応しあっていたから／意見を順番に聞いていただけだったので、発言しやすかった／自由闊達な話し合いができました／皆さん、話しをしっかりと聞いてくださったから。
- 〔6班〕 順番で発言機会があった／グループのメンバーにも同意見があったから／しっかり意見交換できたと感じた／自分の意見をきっかけに他の参加者から類似するアイデアが出されたり、肯定的に受け止めてもらえたりするなど、人が集まって意見を出し合う醍醐味が感じられたため／皆さん積極的、つられました。
- 〔7班〕 ディスカッション運営が良い／それぞれの意見が理解でき、自分も意見が言えた／取り上げて頂き、大いに盛り上がりました／自分の意見がうまくまとまらず、伝えることが十分でなかったように思う。
- 〔8班〕 少人数だった事もあり、かなり各自の考えを反映したまとめとなった／自分の意見をもとに、他の方と高めることもできたため。
- 〔9班〕 話し合う時間が十分にあったから／ディスカッションの時間が長く、ファシリテ

ーターさんがうまく皆の意見を引き出してくださったから／それぞれの場面で意見を述べる機会があったから／抽象的なことが結論になることが多い。

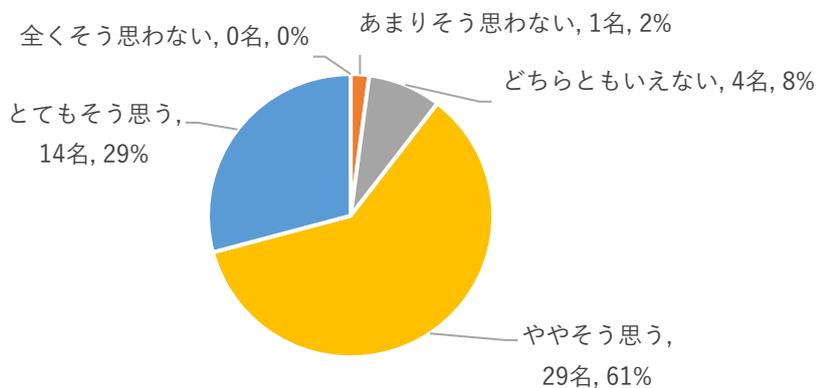
- ・〔10班〕 回りの方々に受け入れていただけたと思うので／テーマが捉えづらく、チーム内に戸惑いがあった気がした／様々な意見を言わせていただき模造紙にも書いていただいたから／皆さんが受け止めてくれたから／参加者の方やファシリテーターの方、同じテーブルの皆さんが必ず他者の意見をうなずきながら受け止めてくださった姿勢が発言しやすい雰囲気でありがたかったです。
- ・〔11班〕 みんな同調したり、もっといいアイデアも出してくれたから／ファシリテーターの方の取りまとめが上手く毎回助かっています／よく分からない／メンバーが寄り添って意見交換していたから。
- ・〔12班〕 自分の意見について様々な提案をしてもらえるから／他の参加者と比べて発言量が多く、また否定的な発言の多い方が1名いらっしゃいました／色んな方の意見を聞いて良かったです！／グループの方々が私の意見を頷きながら聞いてくださったから。

(6) グループワークで話し合った内容について以下にあてはまるものがありますか？

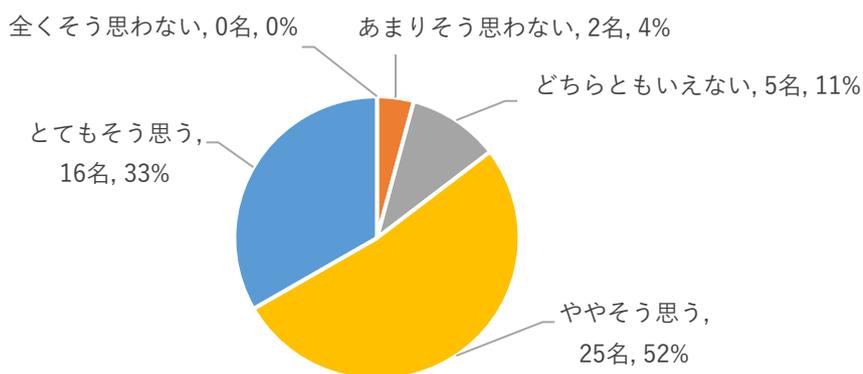
(複数回答可)



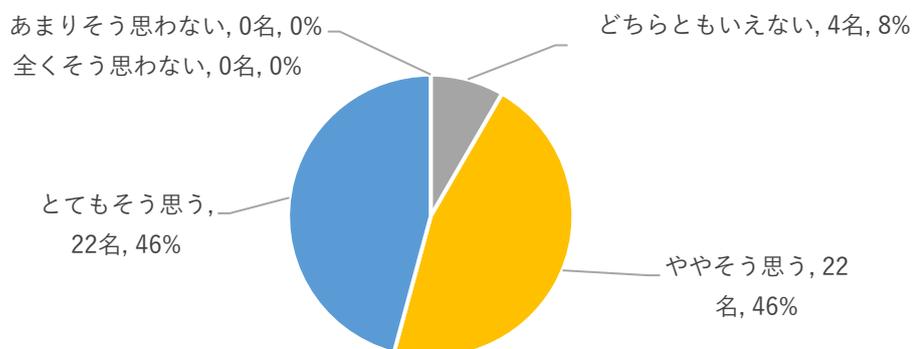
(7) グループワークのなかで疑問に思ったことは十分に解決されましたか？



(8) グループワークのなかで納得のいく成果を得ることができましたか？



(9) グループワークのなかで話したり聞いたりしたことを身近な人に話したいと思いますか？



(9) 今後のグループワークの進め方について改善した方が良いと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

- ・ 特にありません。ファシリテーターの方のスキルや丁寧さで楽しく進めることができました。
- ・ 発表時間が短い。
- ・ まとめ役のファシリテーターが素晴らしい進行でした。
- ・ 自分の班と、他のいくつかの班にとっては、与えられた時間に対して、3つの目標というのが多かったように感じました。2つないし3つ、という形でもよかったかもしれません。
- ・ 参加者のワークショップスキルがさらに高まると良いかもしれません。まとめ方、発表の仕方など。ファシリテーションが素晴らしいのですでに成立していますが。
- ・ 今回特に山場だったということもあるかと思いますが、予定時間オーバーしていました。今後はアンケート回答完了までを予定時間におさめていただけると嬉しいです。
- ・ 「グループワークの約束」の周知徹底。

4. 今後の杉並区気候区民会議に向けて

4-1 改善した方が良いと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

- ・ 特にありません。議論や発表のタイムスケジュールの案内が的確で時間がない！など不完全燃焼になることなく参加できました。
- ・ 担当の方、的確で非常にやりやすかったです。
- ・ もう少し時間があるといいかなと思います。
- ・ 進行の中で水飲んでくださいねーとか声掛けがあると嬉しいかも…。

(5) 評価アンケートの実施

■ 実施概要

実施目的：第4回にグループで検討した「取組」について投票を行い、投票結果を参考にしながら、第5回でさらに内容をブラッシュアップしました。

回答期間：2024年6月24日（月）～30日（日）（7日間）

回答方法：「回答用WEBフォーム」

回答者数：46件

対象： 区民会議参加者全員

内容： 各グループから出された「取組」のタイトルと概要文をもとに、「ワクワクして期待感が持てて、みんなも共感してくれそうなものは？」という視点で、テーマごとに3つ大切だと思ったものを選択してもらいました。

意図： 第1回の情報提供では、気候変動には個々の我慢ではなく、社会的なしくみを大転換していく必要があり、また、様々な立場・レベルの人や組織が連携して、みんなで取り組むことが大切であるという視点を学びました。こうした視点で改めて取組を見ることで、改善点を考えるきっかけとしました。

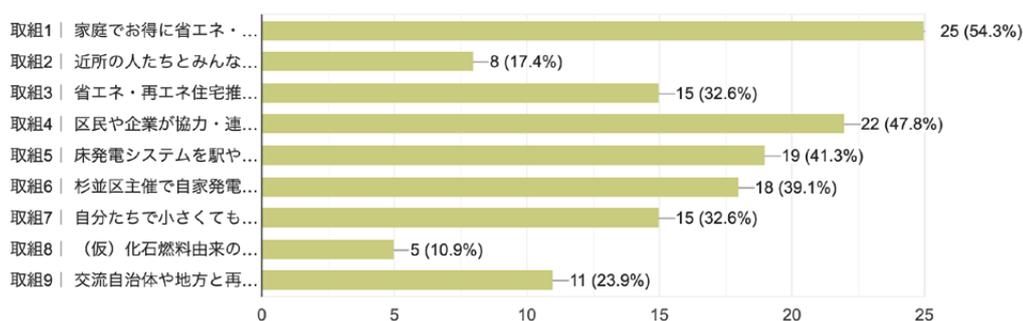
■ 結果概要

* 取組のタイトルは、第4回会議終了時点のものです。意見提案に掲載されている取組のタイトルや掲載順とは異なる場合があります。

【エネルギーの取組について】

エネルギーの取組について、「ワクワクして期待感が持てて、みんなも共感してくれそうなものは？」という視点で、3つ、いいね！と思ったものを選んでください。

46件の回答



[取組一覧]

取組1 | 家庭でお得に省エネ・再エネチャレンジ

取組2 | 近所の人たちとみんな導入すれば怖くない再エネ

取組3 | 省エネ・再エネ住宅推進パッケージ

取組4 | 区民や企業が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける

取組5 | 床発電システムを駅や公共施設に導入する

取組6 | 杉並区主催で自家発電運動会を開催し、気候変動対策の取組を発信する

取組7 | 自分たちで小さくてもコツコツと積み上げて発電し、まちもつくり変えて、電力の地産地消を区全体で進める

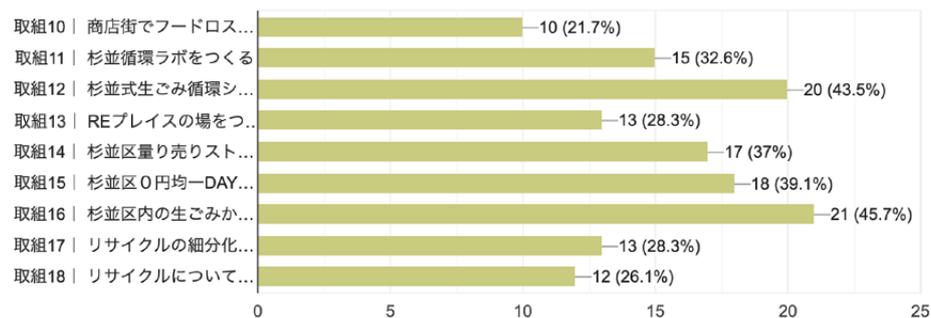
取組8 | (仮)化石燃料由来の電力を再エネ由来の電力に切り替える

取組9 | 交流自治体や地方と再エネを起点にした相互的な協力体制をつくる

【循環型社会の取組について】

循環型社会の取組について、「ワクワクして期待感が持て、みんなも共感してくれそうなものは？」という視点で、3つ、いいね！と思ったものを選んでください。

46件の回答



[取組一覧]

取組 10 | 商店街でフードロスをテーマにしたハレの日の催しをつくる

取組 11 | 杉並循環ラボをつくる

取組 12 | 杉並式生ごみ循環システムをつくる

取組 13 | REプレイスの場をつくる

取組 14 | 杉並区量り売りストリート

取組 15 | 杉並区0円均一 DAY の開催

取組 16 | 杉並区内の生ごみからできた土をつくり、杉並ブランドとして商品化する

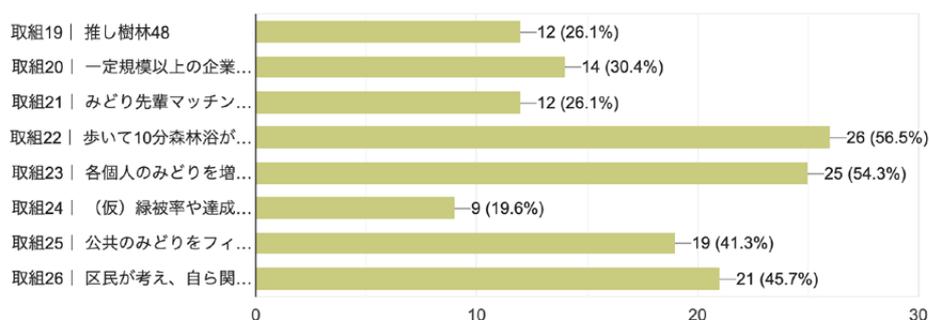
取組 17 | リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会を杉並区内につくる

取組 18 | リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やす

【みどりの取組について】

みどりの取組について、「ワクワクして期待感が持てて、みんなも共感してくれそうなものは？」という視点で、3つ、いいね！と思ったものを選んでください。

46件の回答



[取組一覧]

取組 19 | 押し樹林 48

取組 20 | 一定規模以上の企業が良いみどりをつくる制度をつくる

取組 21 | みどり先輩マッチングサービス&みどりめぐりツアー

取組 22 | 歩いて 10 分森林浴ができる杉並区

取組 23 | 各個人のみどりを増やすためのサポート充実

取組 24 | (仮) 緑被率や達成状況を PR し、自分ごと化する

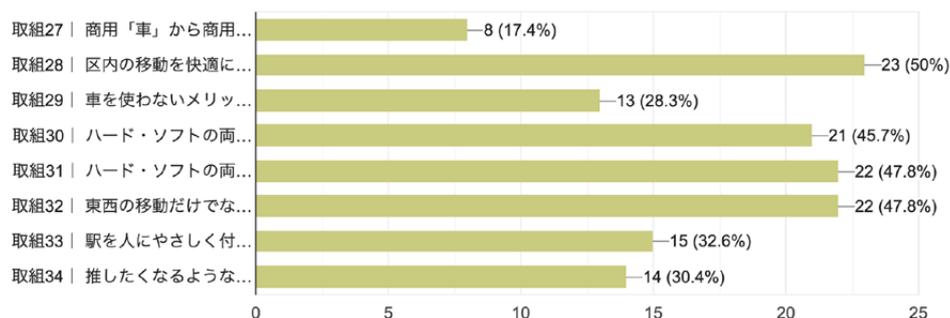
取組 25 | 公共のみどりをフィールドとした区民の活動を促進する

取組 26 | 区民が考え、自ら関わられるみどりを増やすための、官民協働の仕組みをつくる

【交通の取組について】

交通の取組について、「ワクワクして期待感が持てて、みんなも共感してくれそうなものは？」という視点で、3つ、いいね！と思ったものを選んでください。

46件の回答



[取組一覧]

取組 27 | 商用「車」から商用「X」に！

取組 28 | 区内の移動を快適に！交通手段を増やして車を減らす

取組 29 | 車を使わないメリットを増やす

取組 30 | ハード・ソフトの両面から、歩いて楽しく快適な環境を整える

取組 31 | ハード・ソフトの両面から、自転車で楽しく快適に走れる環境を整える

取組 32 | 東西の移動だけでなく南北移動も省エネで

取組 33 | 駅を人にやさしく付加価値の高い場にする

取組 34 | 推したくなるような四季折々で歩いて楽しい安全安心な緑をつくる

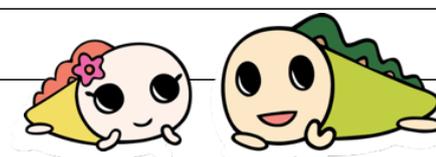
5 | 第5回会議

(1) 開催概要

- 日時** 2024年7月6日(土) 13:30～16:30(3時間)
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第3・4委員会室(杉並区阿佐谷南1-15-1、中棟5階)
- テーマ** 意見提案をブラッシュアップしよう
- 内容** 第1回の情報提供者である江守先生(東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所)に、第4回で考えた目標や取組についてコメントをいただきました。その後、他のグループの取組などに意見するポスターセッションやワークを通じ、意見提案をさらにブラッシュアップしました。
- 参加人数** 52名(12グループ)

(2) 会議のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	13:30	5分	本日の目的と進め方
	13:35	10分	評価アンケート結果と意見提案(素案)の説明
	13:45	15分	意見提案へのフィードバック 第1回の情報提供者である東京大学未来ビジョン研究センター/国立環境研究所 江守正多先生より、意見提案についてのコメントやヒントをいただきました。
ポスターセッション(全体)	14:00	35分	意見提案(素案)をよりよくしていこう 第3回で出し合った「めざす姿」や第4回で議論した「取組」のまとめをポスター形式で会場に掲示し、感想やアドバイスを書き込んでいきました。
全体	14:35	5分	「全体方針」「めざす姿」への感想の確認、グループワークの進め方
	14:40	10分	休憩
グループワーク	14:50	90分	意見提案(素案)をブラッシュアップしよう 第4回で議論したグループで集まり、ポスターセッションでの意見を確認し、取組の内容をブラッシュアップしていきました。
まとめ	16:20	10分	まとめ・次回ご案内・アンケート記入
	16:30		終了



(3) グループワークの結果

* 意見交換の記録の詳細は、「開催レポート」をご参照ください。

▽ 第5回会議 開催レポート

URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/698/report5.pdf>



■ ポスターセッション

第5回では、江守先生（東京大学未来ビジョン研究センター / 国立環境研究所）に、第4回で考えた「目標」や「取組」に対してコメントをいただきました。

その後、他のグループの取組などに意見するポスターセッションを行い、テーマごとの取組に加えて、全テーマを共通して大切にしたい視点として「全体方針」と、2050年までの杉並区の姿である「めざす姿」について、より良くするための感想やアドバイスを出し合いました。



■ グループワーク

グループワークでは、第4回で議論した12のグループに分かれて、江守先生や他の参加者からのヒントや感想を踏まえながら、取組ごとに以下の項目を検討しました。

取組ごとに検討した項目：

- ・達成したいこと
- ・取組の内容
- ・なぜ杉並区にこの取組が必要か
- ・実現に関わるべき主体
- ・実現に向けたステップ



[ポスターセッションで寄せられた意見とグループでの議論の成果 (ワークシートイメージ)]

7グループ | みどり

区内の身近なみどりを守る

いつかのコースにあり

駅周辺 (メーンロード沿い) 取組

高層ビル 商業施設

みどり

実現したいことは?

駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりをつくり区民と守り育てる

取組の内容

駅周辺 (駅ビルや広場・駅前商店街) や、一定規模以上の民間企業の敷地などにおいては、杉並区の顔となるような良質な景観となるよう高緑化を義務付ける制度をつくり、買収した企業には「みどり割」や企業 PR といったインセンティブを提供する。また、創出されたみどりの保全にはアドプト制度など区民が参加できるしくみをつくり、区民の意識や行動で杉並のみどりの質を高めていく。

なぜ杉並区にこの取組が必要なの?

駅や、企業の大きな敷地など杉並区の顔になる場所に、豊かで質の高いみどりがあることで、訪れた人にとっても、区民にとってもみどりを大切にしていく杉並のイメージが共有されるため。こうした顔となるみどりが、現状十分とは言えないと考えるため

取組をカタチにするために関わるべき主体と進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

区民の協賛 区議会 区民 企業 小売店 商店街 学校

実現に向けたステップ

- 1 区民の協賛
- 2 シミュレーション
- 3 実施

実際の開発に付随して 優先的に協力してくれる企業を探ります

タイトル : タイトルだけでも伝わるものにする

取組の内容 : 取組の基礎になる内容はしっかり議論

なぜ杉並区に必要か? : 杉並区に必要な理由を議論

関わるべき主体 : どんな人や組織が取組の実現に関わるべきか?

実現のためのステップ : はじめの一步、持続させるための仕組みは?

取組 20 | 一定規模以上の企業が良のみどりをつくる制度をつくり、区に義務付ける

取組の民間地産 (駅ビルや駅前商店街) 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設)

企業のインセンティブは? 企業にPR 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設)

CSR? 企業にPR 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設)

小学校区民に 企業にPR 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設) 誘致 (高層ビルや商業施設)

第4回の取組内容

- 1,000㎡以上の土地保有企業は0㎡につき質の高い良緑化を義務付ける制度をつくる
- 緑化貢献企業に「みどり割」や企業 PR などのインセンティブを提供する

(4) アンケートの概要と結果

■ 実施概要

回答方法：WEB フォームもしくは用紙

回答者数：52 件

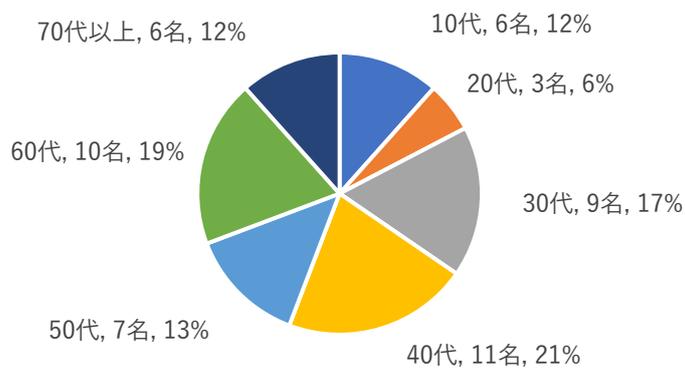
* 回答者が必ずしもすべての設問に答えていないため、回答数が上記件数に満たないものがあります。

* 自由記述は、原則として回答された内容のまま掲載しているため、誤字脱字と思われるものもそのまま表記しています。ただし、個人情報等を含むものは掲載していません。

■ 結果

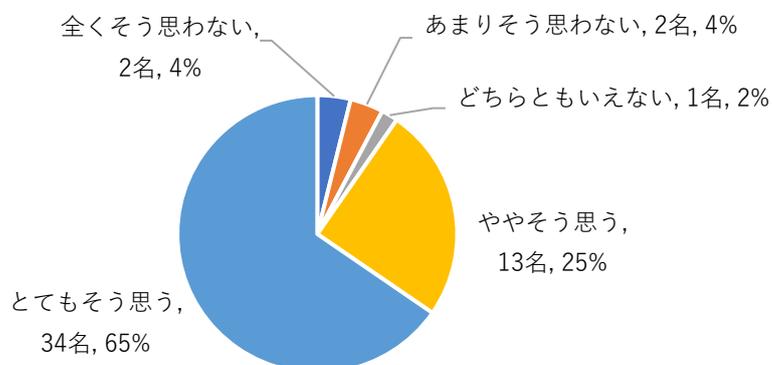
1. あなたのことについて、お聞きします。

1-1 年代を教えてください。

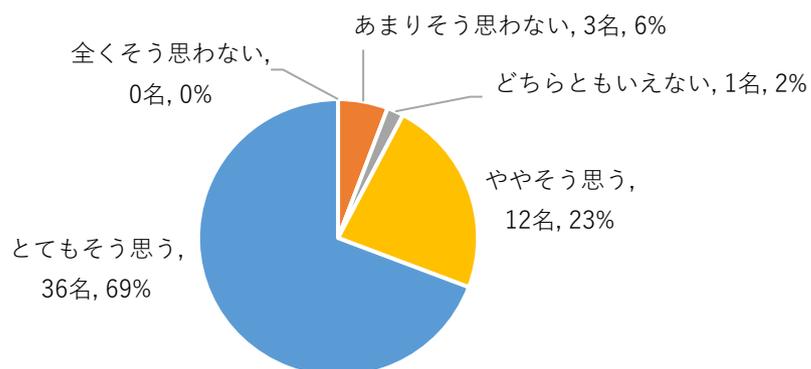


2. 本日の気候区民会議への参加について、お聞きします。

2-1 全体として、今日の気候区民会議に参加して満足していますか？

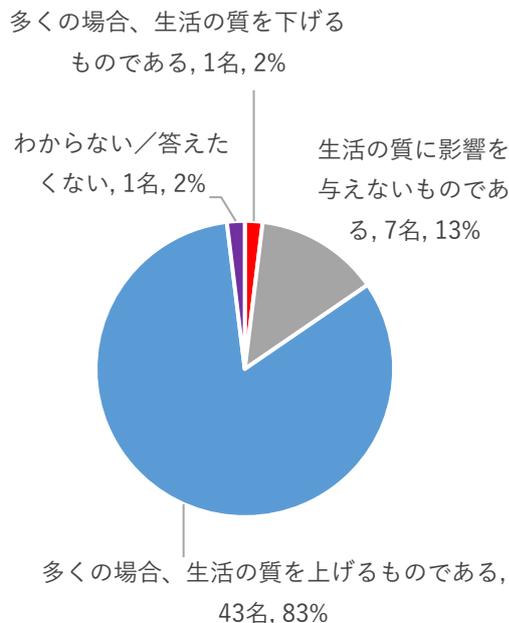


2-2 今日の気候区民会議のねらいや目的はよく分かりましたか？

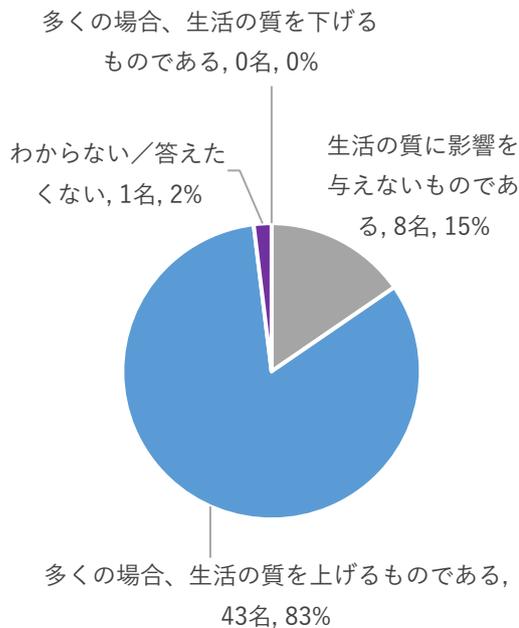


2-3 今日、グループワークで議論された気候変動対策は、あなたの生活にとってどのような影響を与えるでしょうか？

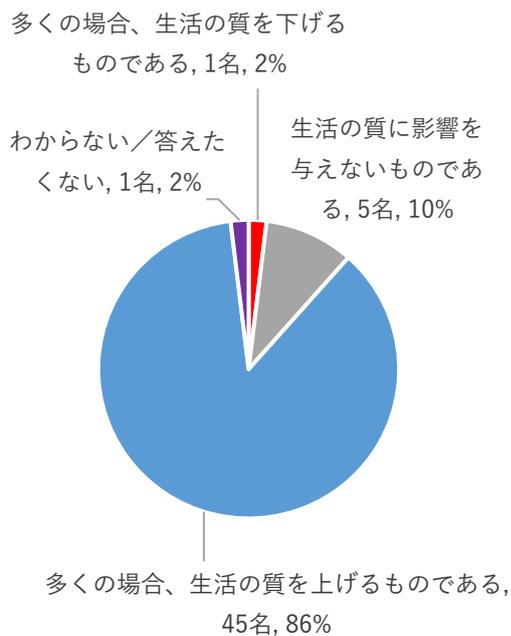
「エネルギー」



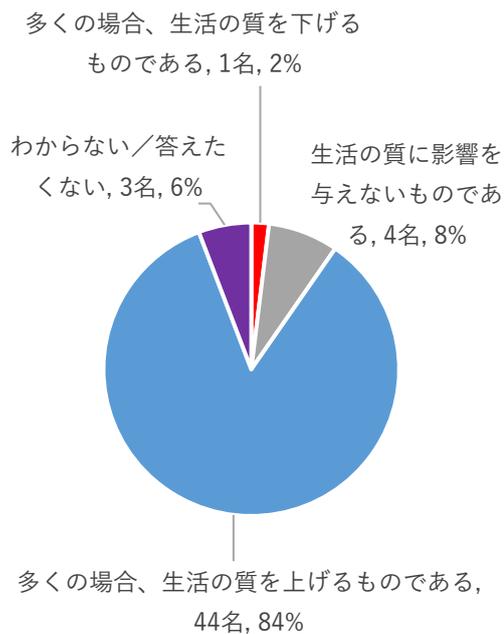
「循環型社会」



「みどり」

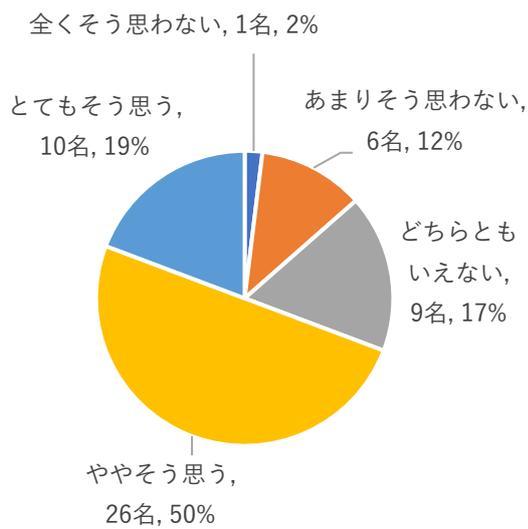


「交通」

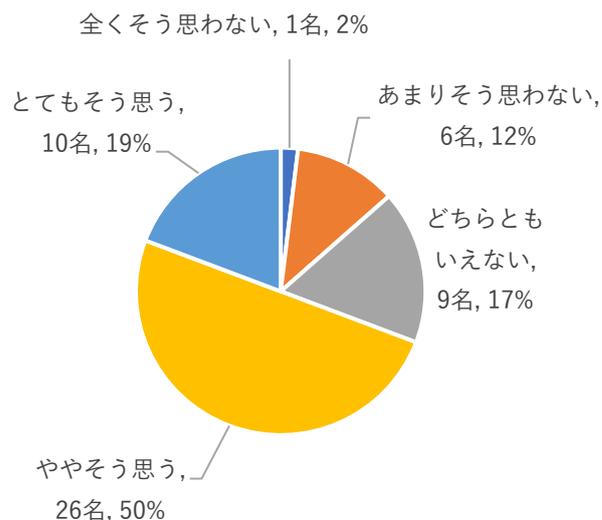


2-4 今日の気候区民会議を終えてみて、今日の会議で発言されたような対策を個人として実践する場合に、十分な知識があると思いますか？ グループで議論したテーマについてご回答ください。

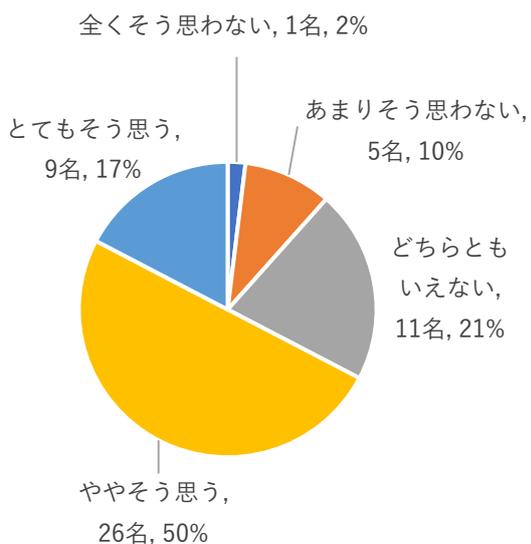
「エネルギー」



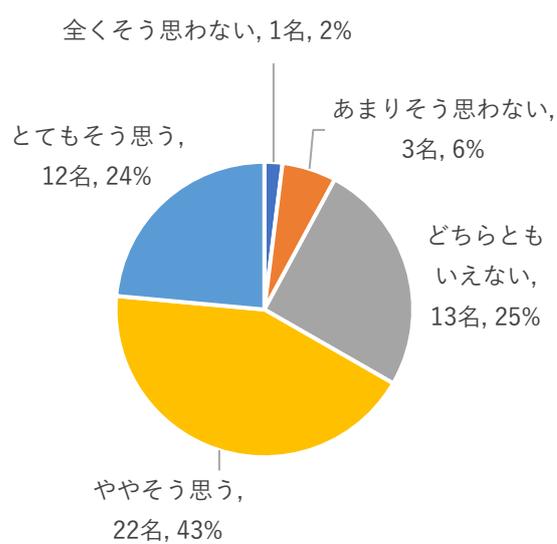
「循環型社会」



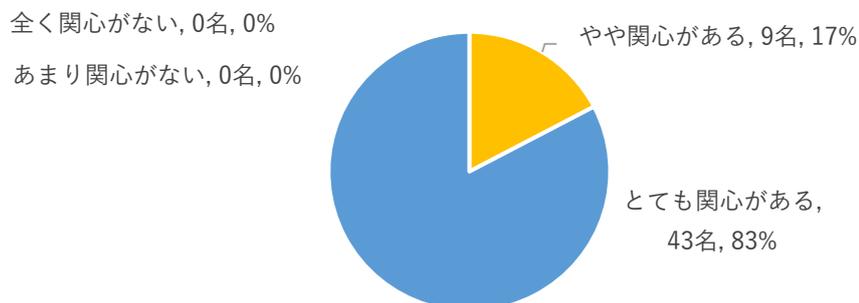
「みどり」



「交通」

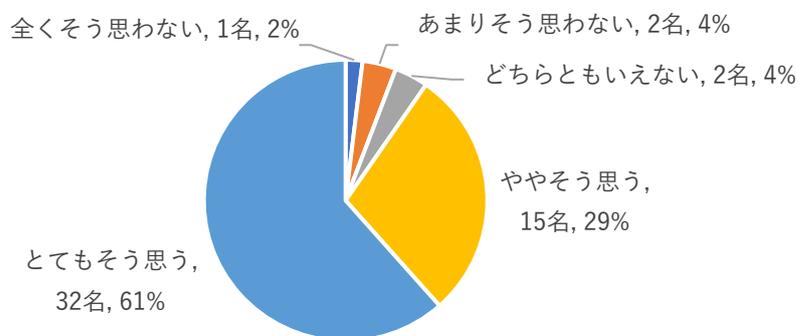


2-5 今日の気候区民会議を終えてみて、気候変動問題に関心はありますか？

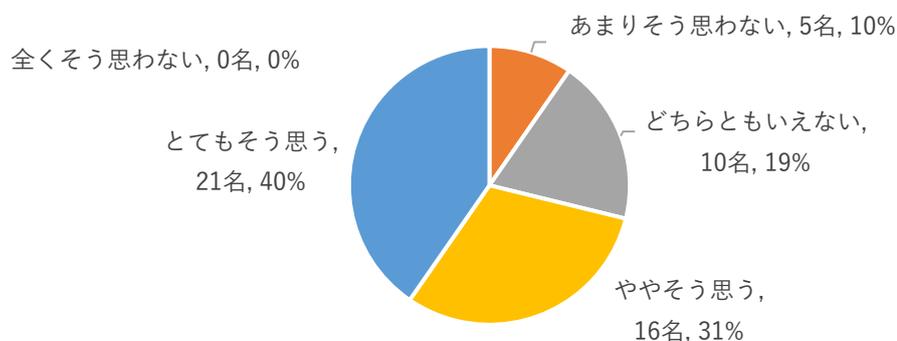


3. 今日の区民会議のグループワークについて、お聞きます。

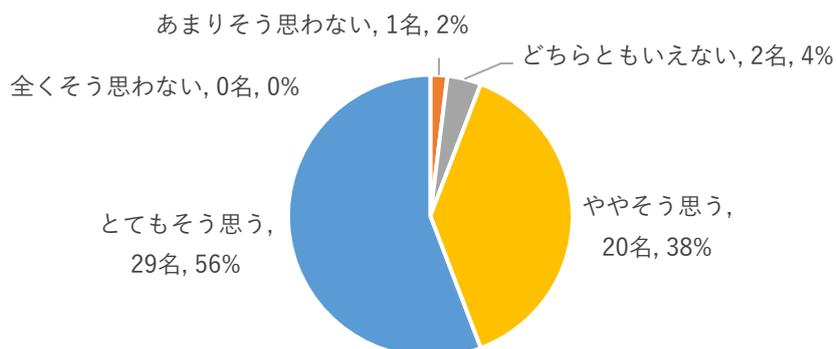
(1) 意見交換は円滑にできたと思いますか？



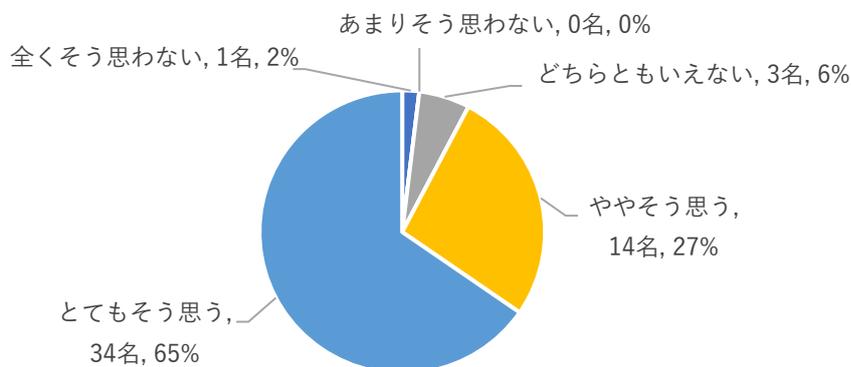
(2) グループワークの時間は十分でしたか？



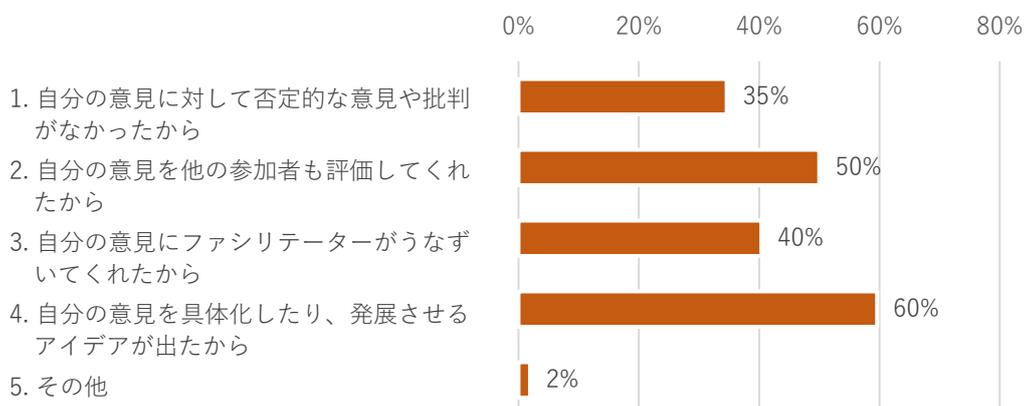
(3) 自分の考えを話す時間は十分にありましたか？



(4) 自分の意見は尊重されていると感じましたか？

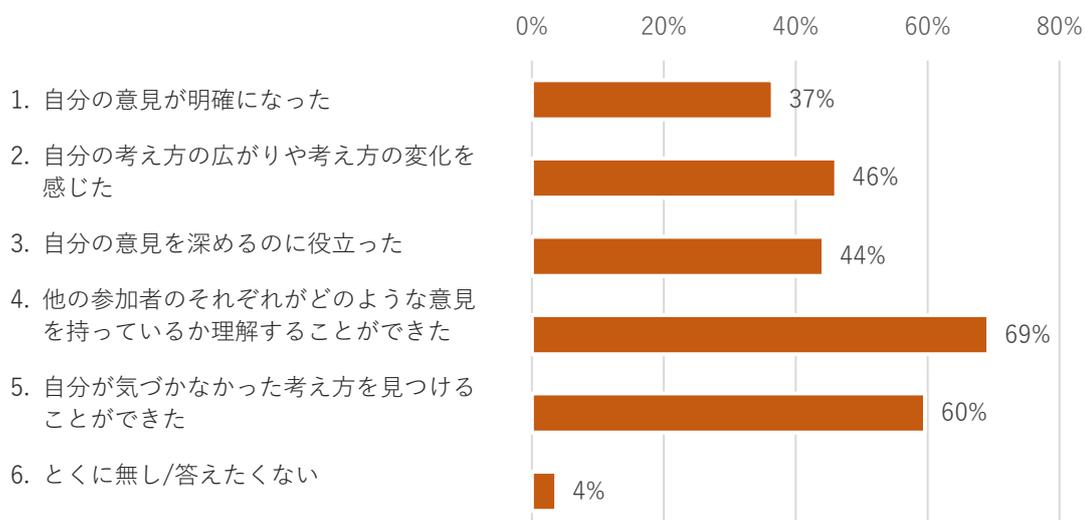


(5) (4)で「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答された方にお聞きします。自分の意見が尊重されていると感じた理由を教えてください。(複数回答可)

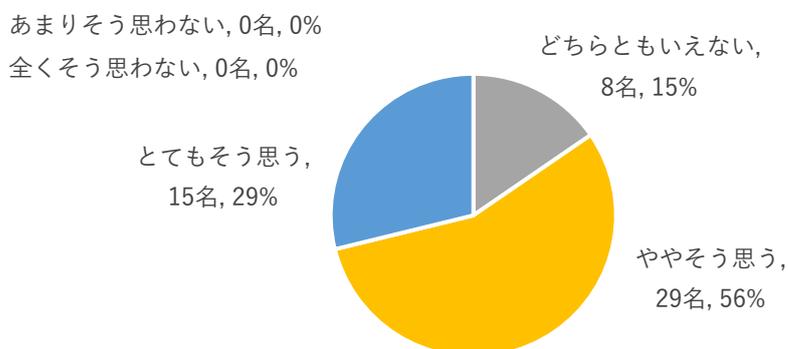


(その他については1名から「意見を聞いてくれた上で発展したり可能性を考えたりしてくれたから」との記載あり)

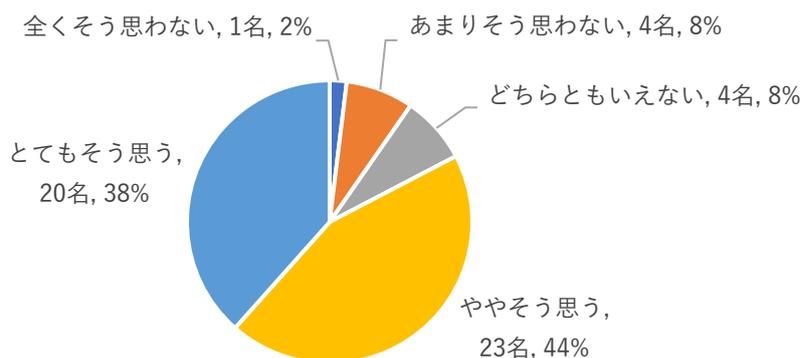
(6) グループワークで話し合った内容について以下にあてはまるものがありますか？(複数回答可)



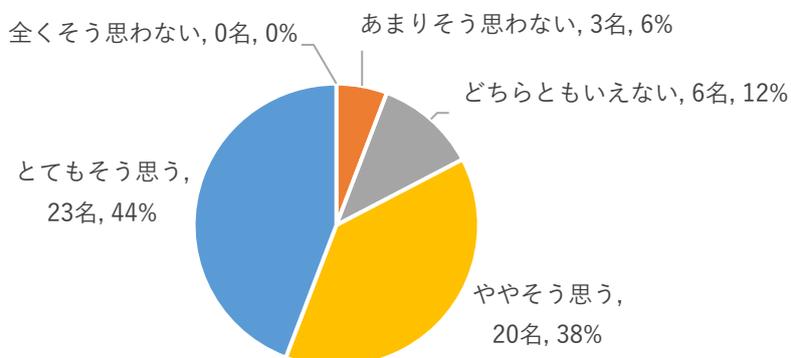
(7) グループワークのなかで疑問に思ったことは十分に解決されましたか？



(8) グループワークのなかで納得のいく成果を得ることができましたか？



(9) グループワークのなかで話したり聞いたりしたことを身近な人に話したいと思いますか？



(9) 今後のグループワークの進め方について改善した方が良いと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

- ・ 今回欠席者がいたので、次回はみんな参加だといいなと思いました。
- ・ いろいろな人の話を伺うのはとても大切なことで、且つ有意義な反面、知識や経験の違いもあり議論を深掘するのはなかなか難しいとも思います。きょうの会議については、自分のチームのテーマ以外については話すことがなかったため、アンケートにある循環型、グリーン、交通が自分の生活にどのような影響を与えると思うか？という質問につきましては、「わからない」という回答にさせていただいております。
- ・ 前回の内容から話がずれていってしまっていました。
- ・ 議論はもう少しあってもいいかなと思います。
- ・ もう少し時間があると納得度が上がると思います。
- ・ 話がなかなかまとまらなかったのも、グループのファシリテーターの方にまとめて欲しかった。
- ・ そもそも問いのたてかたが微妙なうえ、ファシリテーターのディレクションがあいまいですごく迷走した印象でした。
- ・ とても難しいテーマだったので話が中々まとまらないところがあった。
- ・ 毎回ファシリテーターの方が上手にまとめてくださってありがとうございます！
- ・ 今日は特に良かったです。

4. 今後の杉並区気候区民会議に向けて

4-1 改善した方が良いと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

- ・ 上記と同じ内容になりますが、ランダムに討論のチームを組成することは大切と思いますが、毎回同じメンバーだけで話し合っても議論の深掘は難しいと思います。例えば、ポイント還元等に非常に関心が強い人はいつでも何を聞いてもポイント還元に着目されるでしょうし、この会議の趣旨を、真に区の政策に活かすべき対策としてとらえるか、それともなんとなくこんなことがあったらよいな、おもしろいなといった目線でとらえるかは、参加者の考えや知識、経験で大きく異なると考えます。ですから、せっかくこれだけの期間とエネルギーを注力して討論するのであれば、毎回チームのメンバーを入れ替えるとか、あるいは、法律家や技術者など専門家を交えた特別なセッションも設け、それに参加を希望される方だけを集めた議論の場などもあってもよいのではないのでしょうか。
- ・ 感謝のお伝えです！前々回・前回アンケート時に終了時間守っていただけるよう意見を申したものですが、今回それを意識していただいている感じを感じられたのでご配慮いただきあ

りがとうございました。

- ・ 江守先生のお話中などにスタッフの方の控室の出入りが頻繁で、少し気が散りました。
- ・ 時間をもう少し取りたい所です！
- ・ 知識を深める時間がありましたが、ディスカッションの前にも、もう少し知識を深められたらいいなーと思いました。
- ・ 改善点はありません。
- ・ 特にありません。ありがとうございます。

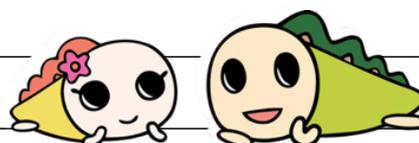
6 | 第6回会議

(1) 開催概要

- 日時** 2024年8月3日(土) 13:30～16:30(3時間)
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第4会議室(杉並区阿佐谷南1-15-1、西棟6階)
- テーマ** まとめ・振り返り
- 内容** グループで検討してきた「取組(案)」の最終調整を行いました。全体で内容を共有・最終確認し、区長に「意見提案」を提出しました。
- 参加人数** 53名(12グループ)

(2) 会議のプログラム

プログラム	時間	概要
はじめに	13:30 5分	本日の目的と進め方
意見提案の 最終確認	13:35 45分	グループで「取組(案)」の最終調整 第5回の議論やポスターセッションでの感想を踏まえて修正した「取組(案)」の内容を、最終調整しました。
	14:20 45分	全体共有 グループの成果を全体に共有しました。
	15:05 15分	休憩/意見提案(案)への感想の記入
	15:20 5分	全体で最終確認
グループ ワーク	15:25 35分	杉並区気候区民会議の振り返りと今後に向けての意見交換 杉並区気候区民会議への参加や気づきを振り返り、気候変動対策を推進していく上で、杉並区気候区民会議の意見提案をどのように生かしていくべきか、区に期待することなどについて意見交換しました。
意見提案の 提出	16:00 5分	区長へ意見提案の提出
	16:05 10分	区長よりコメント
	16:15 10分	集合写真
今後の ご案内・ 自由交流	16:25 5分	今後のご案内
	16:30	終了



(3) グループワークの結果

* 意見交換の記録の詳細は、「開催レポート」をご参照ください。

▽ 第6回会議 開催レポート

URL : https://www.city.suginami.tokyo.jp/documents/699/report6_1.pdf



■ 意見提案（案）の最終調整・最終確認

第5回の議論やポスターセッションでの感想を踏まえて修正した取組（案）の内容を、グループごとに最終調整しました。最終的な内容を全体で共有し、各取組に対して感想や応援メッセージを書き出しました。



意見提案（案）を「この内容で区に提案して良いか」について参加者に最終確認し、区長に提出しました。



■ 振り返り・今後に向けた意見交換

杉並区気候区民会議への参加を通じて感じた変化や気づきを振り返り、気候変動への取組を推進していく上で、杉並区気候区民会議の意見提案をどのように生かしていくべきか、区に期待することなどについて幅広く意見交換しました。



(4) アンケートの概要と結果

■ 実施概要

回答方法：WEB フォームもしくは用紙

回答者数：51 件

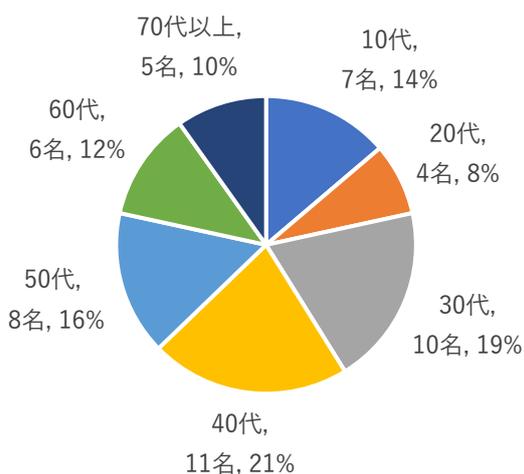
* 回答者が必ずしもすべての設問に答えていないため、回答数が上記件数に満たないものがあります。

* 自由記述は、原則として回答された内容のまま掲載しているため、誤字脱字と思われるものそのまま表記しています。ただし、個人情報等を含むものは掲載していません。

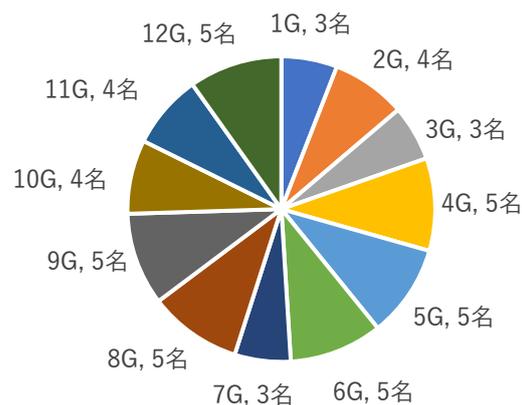
■ 結果

1. あなたのことについて、お聞きします。

1-1 年代を教えてください。

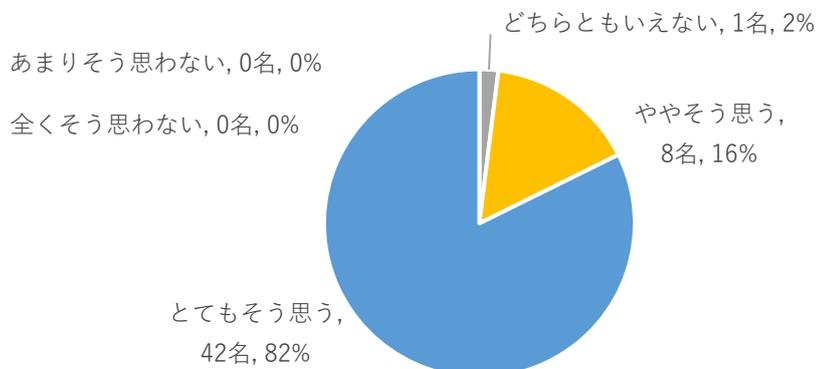


1-2 本日参加したグループ番号を教えてください。

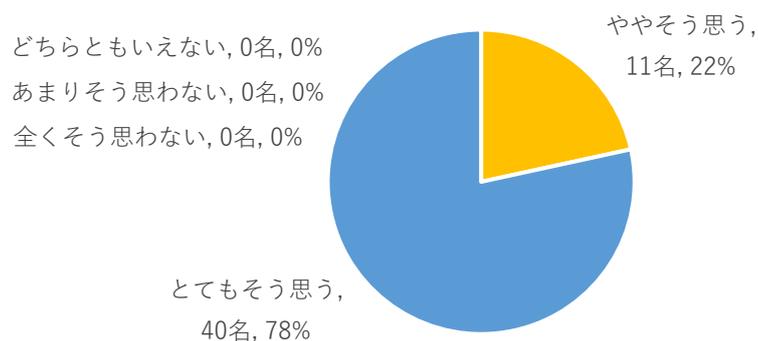


2. 本日およびこれまでの気候区民会議への参加について、お聞きします。

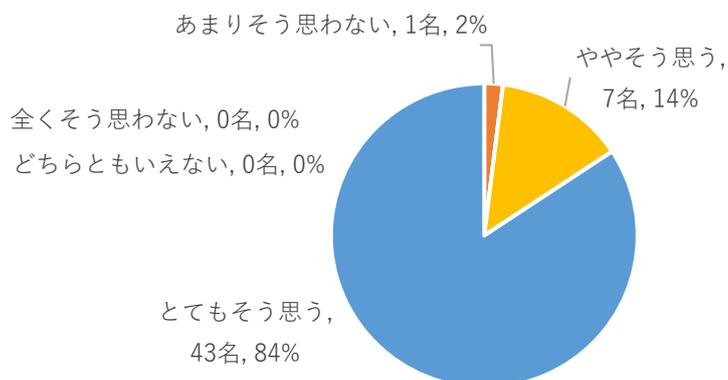
2-1 全体として気候区民会議に参加して満足している。



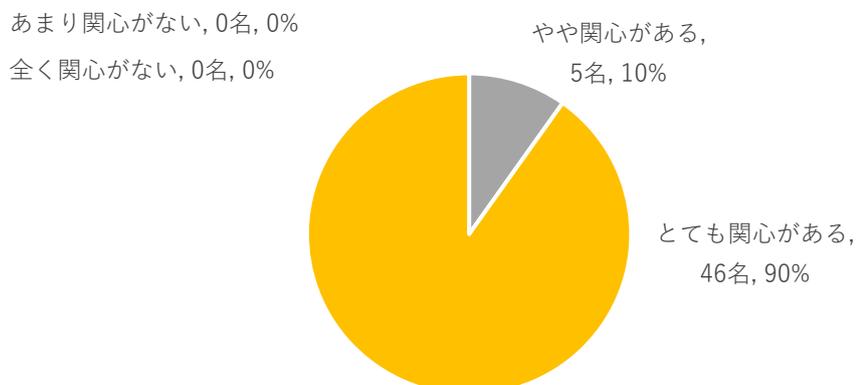
2-2 気候区民会議に参加したことで、自分とは異なる関心や見解を持つ人と知り合うことができた。



2-3 気候区民会議に参加したことで、多くの新しい知識と情報を得られた。



2-4 今日の気候区民会議を終えてみて、気候変動問題に関心はありますか？



2-5 全6回を終えてみて、気候区民会議に参加する前と比べてあなた自身の変化として感じていることはありますか？

〔10代〕

- ・ ペットボトルの使用を控えて、水筒や給水器を活用するようになった。
- ・ ニュースなどで環境問題など取り上げられているのを見ると、自分ならどうするのか、自分には何ができるのかを考えるようになった。
- ・ 気候変動対策に対して、もっと真剣に私達も取り組まなければいけないと思いました。

〔20代〕

- ・ テレビ等でも意識的に気候変動に関する話題を見るようになった。

〔30代〕

- ・ 気候変動の危機感と緊急性が分かり、自分事として考えられるようになりました。
- ・ 省エネに対して意識するようになった。
- ・ 多様な意見があると感じた。同時に自分と同じような意見を持つ人が多いと感じた。
- ・ スーパーの資源回収ボックスの活用など自分でできる取り組みから始めた。
- ・ 環境のことを考えて行動しようと思った。
- ・ 企業を迎えて話を聞く機会がなかったのでいい機会でした。
- ・ また機会があれば参加したい。
- ・ 環境問題は話題にしにくいトピックでしたが、会議に参加するようになって、「こういう会議に参加しているんだよね」と切り出すことで、友人と話しやすくなった。
- ・ 自分が出来ることから、環境配慮をしていこうと思えた。

〔40代〕

- ・ 個人や区でできることがあるとわかった。
- ・ 主体性がでた。
- ・ 世界のさまざまな取組を知ることができたこと、区でいままで取り組んできたこと、検討されてきたことを知れて良かった。またより生活に根付いた観点で気候変動について考えるようになった。
- ・ 環境問題がより自分ごとになり、杉並に愛着がわいた。区政に関心が高まった。
- ・ 自分にできることがたくさんあると知った。
- ・ 個人の努力だけでなく、地域や自治体でできること・すべきことの理解が深まった。
- ・ 世代や立場は違えど、目指すことは同じであることを感じられました。
- ・ 自分事と考えるようになり、まめにごみの分別をするようになった。
- ・ まったなしで気候変動に対する対策が必要だと実感しました。
- ・ 具体的な視点を持たたことで、自分で出来ることに気づけました。また行政単位でも取り組むべきことがたくさんあることに気づけました。
- ・ 区民にこれだけ問題意識をもって、前向きに考えてらっしゃる方々がいらっしゃることを知ることができ、自分自身も具体的に行動していこうと思うことができました。

〔50代〕

- ・ 自らが変化を起こす必要性を感じた。
- ・ ゴミの処分方法や節電。
- ・ 太陽光パネルなど具体的な行動に移りたい。
- ・ 再生エネルギーの関心が高まり、太陽光パネルを設置すると思う。
- ・ 環境の話を周りにするようになった。
- ・ 様々なことに対して意識が変わった。
- ・ 環境問題の知識が増え、関心も高まり、個人でできることを実践していこうと思う。
- ・ 普段会わない方たちといい意味での議論が多少はできるようになりました。

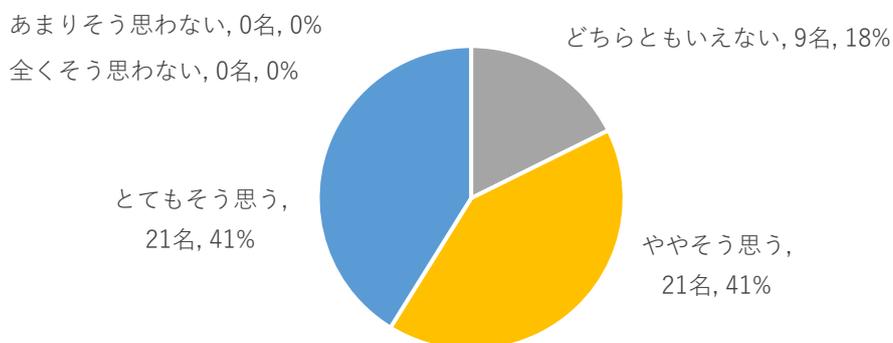
〔60代〕

- ・ 気候変動への関心が高まり、気候変動関連の報道にも目が行くようになりました。
- ・ 温暖化について、学べる事ができ、ありがとうございました。
- ・ 温暖化問題は国レベルの話だと思っていたが、市民レベルからも築き上げていく必要があることが分かりました。
- ・ 自分ごととして考えるようになり、関心が高まりました。
- ・ 家族や知人に私達がいま出来ることを自信を持って話せるようになった。

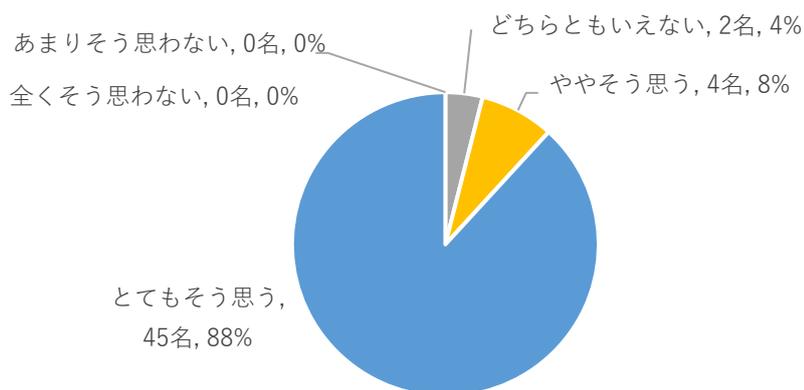
〔70代以上〕

- ・ 変わりました。
- ・ 杉並区がより好きになった。
- ・ 関心の異なる人と会議していくことに少しとまどったが、そんな人とも足並みそろえて生活しなければならないことを痛感している。
- ・ 特に無し。

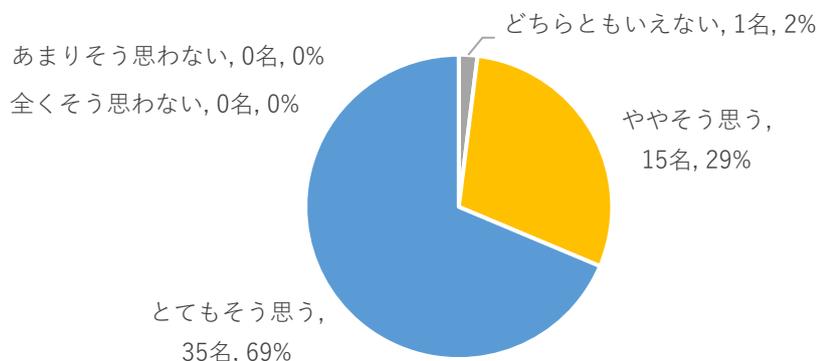
2-6 今回の意見提案によって杉並区の温暖化防止政策に関する区民の関心が高まるだろう。



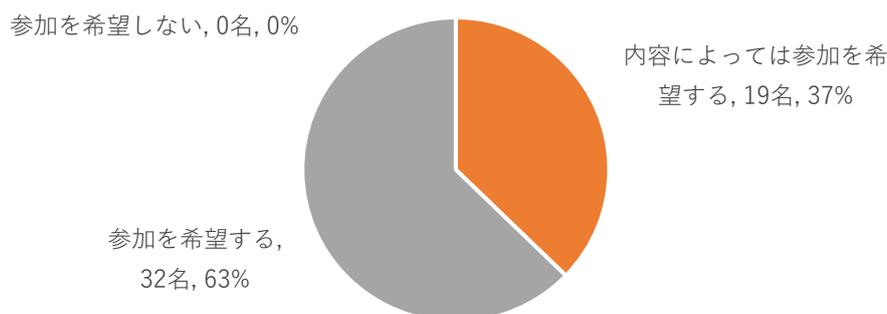
2-7 気候区民会議のように、区民が気候問題の政策について議論に参加することは重要だ。



2-8 気候区民会議の終了後も、杉並区の温暖化対策の推進に向けて何か活動したい。

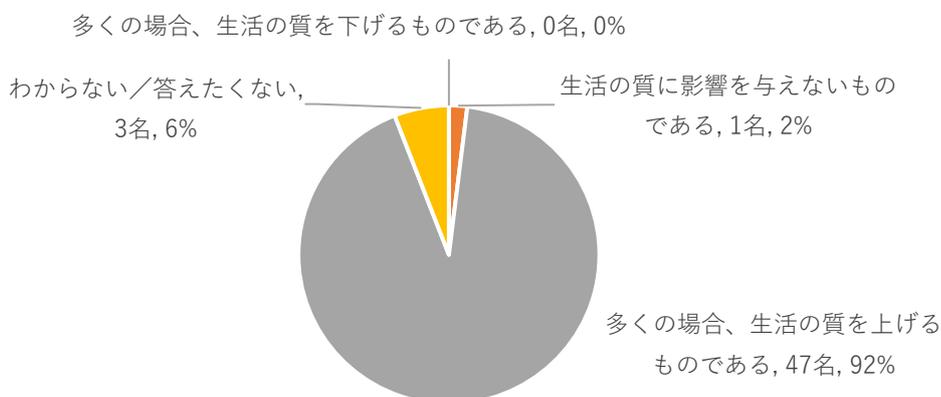


2-9 今後、意見提案の実現に向けた取組などについて、もし機会があれば参加してみたいと思いますか？

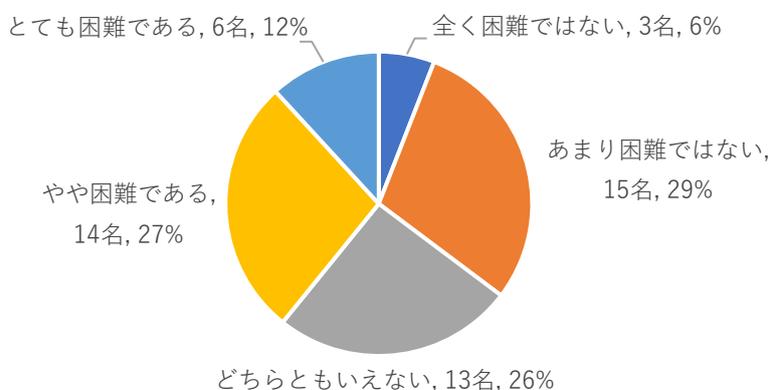


3. 今回の気候区民会議で作成された提案について、お聞きます。

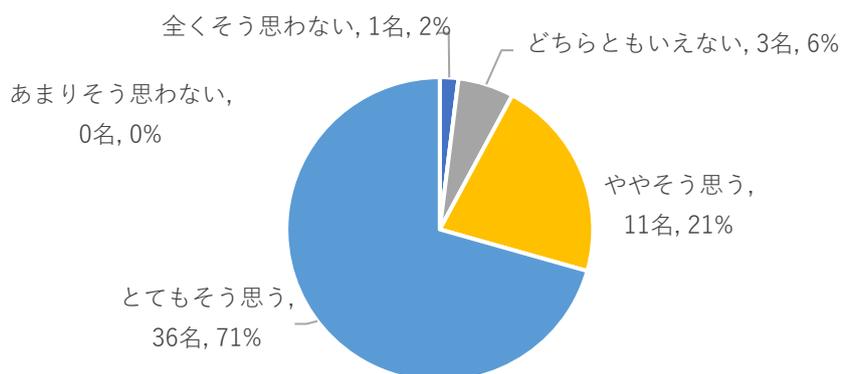
3-1 今回の気候区民会議の提案内容のうちあなたが議論に参加したグループの提案内容は、あなたの生活にとってどのような影響を与えるでしょうか？



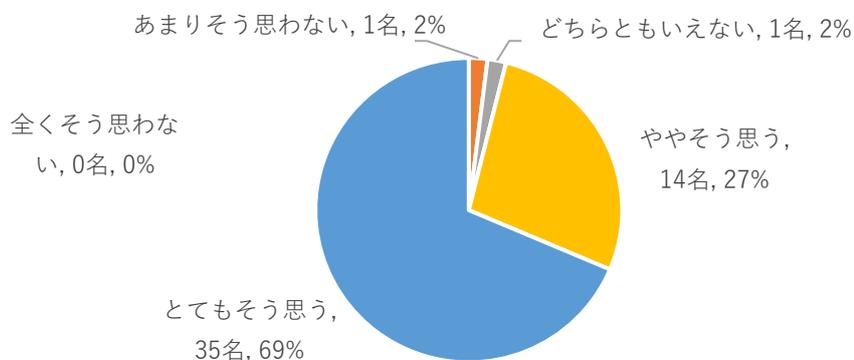
3-2 今回の気候区民会議の提案内容のうちあなたが議論に参加したグループの提案を実現することは、どのくらい困難だと思いますか？



3-3 今回の気候区民会議の提案内容には、グループワークの議論の結果は反映されていますか？

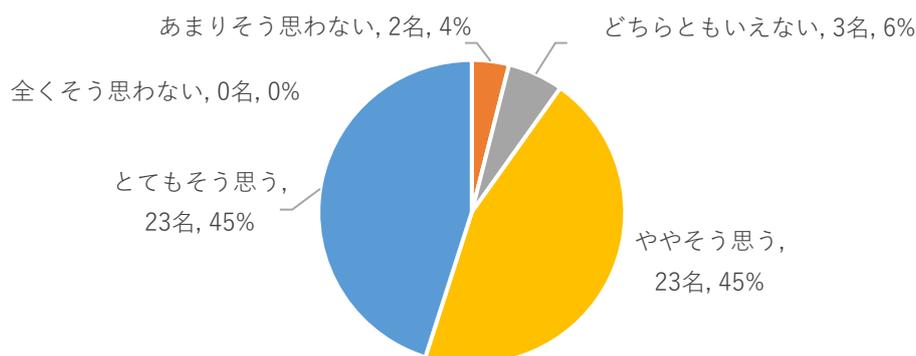


3-4 今回の気候区民会議の提案内容には、あなた自身の意見は反映されていますか？

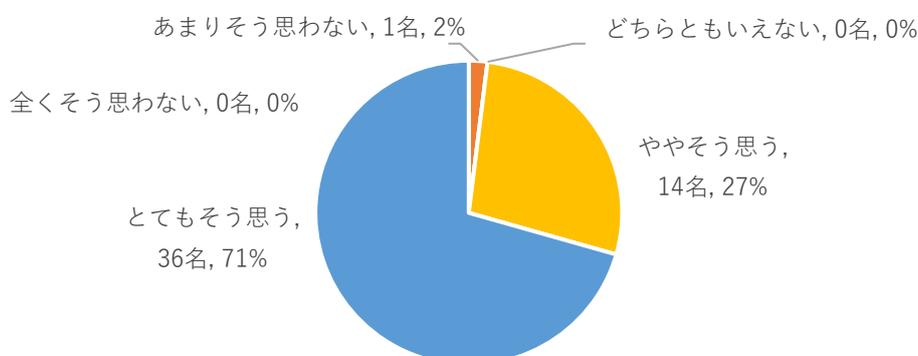


4. 全6回の気候区民会議を終えてみて、運営について感じておられることについて、お聞きします。

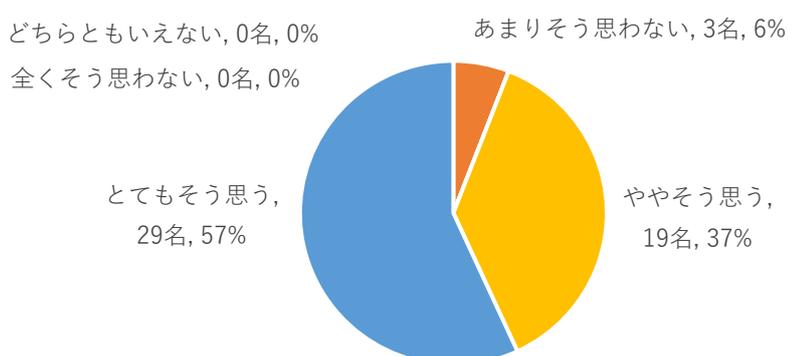
4-1 学識者、事業者、NPO 団体、区の職員などから提供された情報は、異なる視点が公平にバランスよく取り上げられていた。



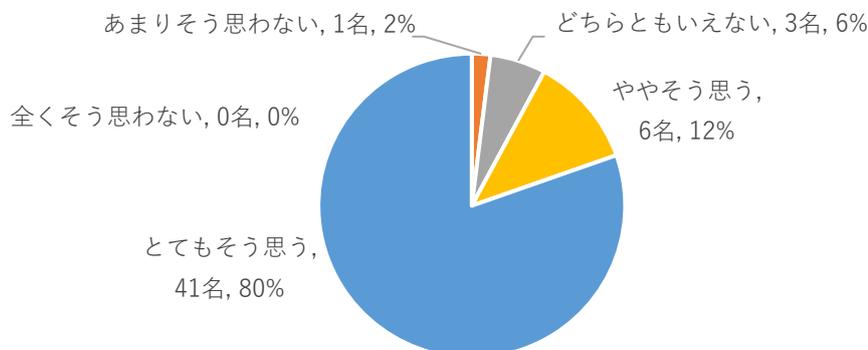
4-2 学識者、事業者、NPO 団体、区の職員などから提供された情報は、杉並区の気候変動対策を考える材料として参考になった。



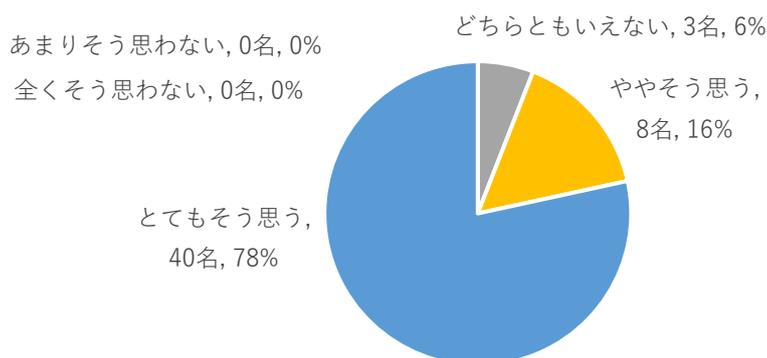
4-3 グループワーク中の質問に対し、専門家または区のスタッフからの回答は適切であった。



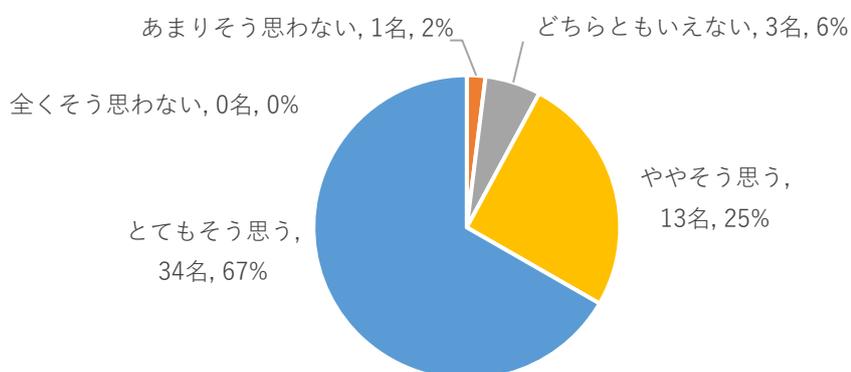
4-4 グループワークのなかで、ファシリテーターは、参加者同士が自由に発言できる雰囲気を作ることができていた。



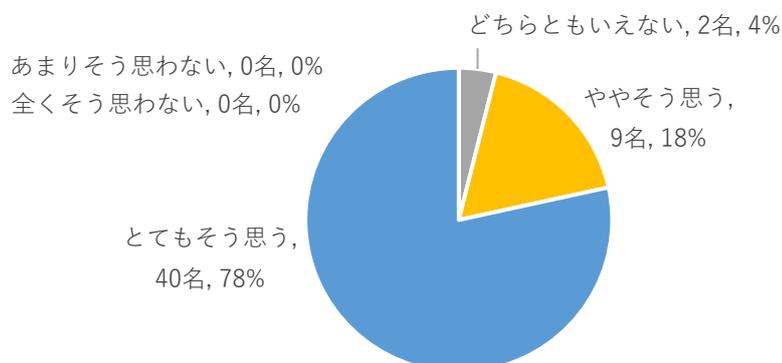
4-5 グループワークのなかで自分の考えを話す機会は十分にあった。



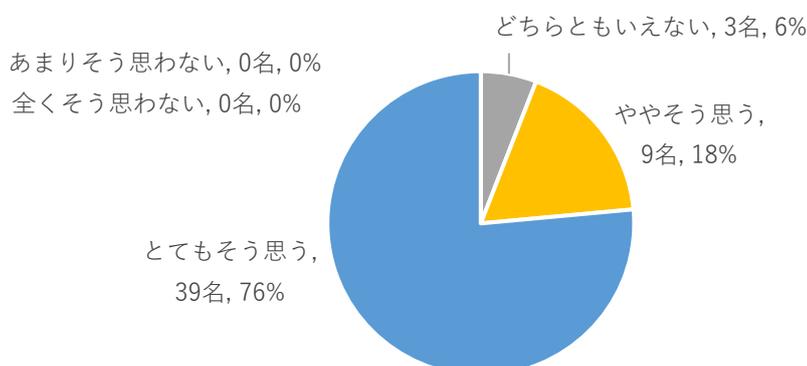
4-6 グループワークのなかで納得のいく結論を得ることができた。



4-7 会場の雰囲気は、安心して自由な発言ができるものだった。



4-8 会場の会議室は、快適であった。



4-9 改善した方が良いと思われる点などご要望等ございましたら、ご記入ください。

〔10代〕

- ・ Wi-Fi があまり使えなかった。
- ・ もう少し熟議の時間が欲しかったです…。

〔20代〕

- ・ グループメンバー内で意見を出し合うようなグループワークをしている途中で専門家？区の方？どのような方が分からなかったのですが、からご意見頂戴することもありがたかったが、一度、年配の男性にグループワークの意見方向性がある程度固まった際に、ついさっきその方向性ではないよね、とグループメンバーで話したような全く逆のご意見をいただいたことがありました。個人的な印象としては変に横槍を入れられたという感じだったので、ご意見いただく際はそのような流れも汲み取った上で対応いただきたかったなという点がありました。

〔30代〕

- ・ やはり、期間はもう少し長い方が良いと思います。半永久的な改善をする必要があるのに、半年は短すぎると思います。
- ・ 異なる立場や意見をもつひと同士でも、安心して合意形成に至れて楽しかったし、自信につながりました。

〔40代〕

- ・ 実務者（提案を受けて実際に作業をおこなう方々）の現場の意見ももっとお伺いしたかったです。
- ・ 今後も参加者同士の意見交換の場が、Web上でも設けられるとありがたいと思います。

〔50代〕

- ・ 事前の資料が若干遅く感じる回があった。
- ・ ありがとうございます！

〔60代〕

- ・ 区の関係者、会議運営に当たった方々、同じグループの参加者、みなさんすばらしく、大変有意義な会議でした。関係者の皆様ありがとうございます。
- ・ 資料等の事前メール送信は余裕を持って早めに送信していただければと思いました。
- ・ 私は区役所から遠く、交通機関も不便で不公平感があったので、会場を何ヶ所かに分けるなどの工夫があれば良いと思う。

〔70代以上〕

- ・ 参加できて良かったと思います。有難うございました。
- ・ 難しい要求ではあるが、脱炭素に向けて、もっと実効性のある、かつ定量的かつ客観的な議論がしたかった。
- ・ 異なった年代の人との話し合いがほとんどであったので、年代の近い人との話し合いがあってもよかったかと感じた。

第3章 意見提案の作成過程

1 | 意見提案の概要

杉並区気候区民会議全6回の議論を通じて、杉並区気候区民会議として大切だと考える「全体方針」、2050年までに実現したい杉並区の「めざす姿」、その実現に向けて多様な主体が連携しながら実施すべきテーマ別（「エネルギー」、「循環型社会」、「みどり」、「交通」）の33の取組をまとめました。



(1) 概要

題名	ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた意見提案
作成	杉並区気候区民会議
発行時期	2024年8月
発行	杉並区 環境部 環境課
体裁	A4判・52ページ
構成	1 はじめに（杉並区気候区民会議とは） 2 全体方針とめざす姿 3 テーマ別の意見提案（エネルギー、循環型社会、みどり、交通） 4 参考（杉並区気候区民会議の歩み、杉並区気候区民会議を通じて得た気づき）

意見提案の全文は、以下の URL よりご参照ください。

▽ **ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた意見提案**

URL : <https://www.city.suginami.tokyo.jp/s103/700.html>



(2) 構成

■ 1 | はじめに

杉並区気候区民会議の開催経緯や趣旨を掲載しています。



■ 2 | 全体方針とめざす姿

意見提案の取組内容を推進していく上で、全体に共通する考え方や大切にすべき「全体方針」と、2050年までに実現したい気候変動対策を実施した杉並区のめざす姿を整理しています。



■ 3 | テーマ別の意見提案

2050年までに「めざす姿」の実現に向けて、杉並区として実施すべき気候変動に対する取組として、4つのテーマ（エネルギー、循環型社会、みどり、交通）ごとに、33の取組を提案しました。

取組の概要

- ・ テーマ
- ・ 達成したいこと
- ・ 取組のタイトル
- ・ 取組の内容
- ・ 取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要なの？

進め方のイメージ

- ・ 実現に関わるべき主体
- ・ 実現に向けたステップ
- ・ 議論した具体的なアイデア

■ 4 | 参考

杉並区気候区民会議のプロセスの紹介や、参加者が杉並区気候区民会議を通じて得た気づきなどを紹介しました。

2 | テーマ別の提案内容

■ エネルギー

取組 01

再エネを近所の人たちとみんなで安心して導入できるようにする



取組 02

省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる



取組 03

区民や事業者が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける



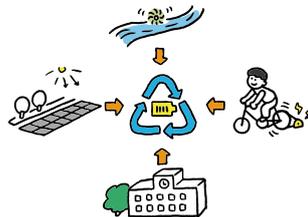
取組 04

床発電や太陽光パネルを公共施設等に設置し、省エネ・再エネに関する啓発を充実させる



取組 05

区民が参加できるような事業体「杉並電力」により、自分たちでコツコツと積み上げて発電し、再エネを地産地消するまちにする



取組 06

交流自治体や地方と再エネを起点にした相互的な協力体制をつくる



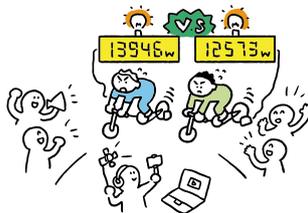
取組 07

家庭でお得に省エネ・再エネにチャレンジできる情報ポータルを整備する



取組 08

区民・事業者・杉並区で気候変動対策の取組を考える場を設け、積極的に情報を発信する



取組 09

化石燃料由来の電力から再エネ由来の電力に切り替えるための情報発信とサービスを提供する



■ 循環型社会

取組 10

区内のイベント・お祭りで、フードロスやごみの削減につながる取組を行い、区民の環境意識を高める



取組 11

杉並循環ラボをつくる



取組 12

杉並式ごみ可視化システムをつくる



取組 13

一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる拠点を創出し、区民へ普及させる仕組みをつくる



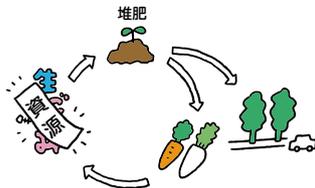
取組 14

区民が日常的に自分が使っているお気に入りの容器（マイリユース容器）を使うことができる環境を整備する



取組 15

杉並区内の生ごみを資源化し、杉並モデルの循環システムをつくる



取組 16

リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会をつくる



取組 17

リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やし、リサイクルしたくなる環境を広める



■ みどり

取組 18

樹林しか勝たん！私有地のみどりを区民が推し活として守るムーブメント「推し樹林」をつくる



取組 19

みどりのおもてなし 駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりをつくり区民と守り育てる



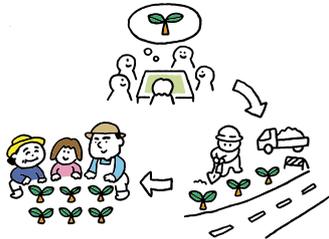
取組 20

お願い「みどり先輩」！ みどりに詳しい区民を増やすために、身近なみどりの専門家とつなぐ「みどり先輩マッチングサービス」を立ち上げる



取組 21

公共のみどりの整備をきっかけとした、コミュニティや活動の場を創出する



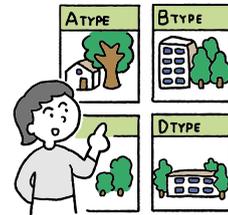
取組 22

歩いて 10 分 森林浴ができる杉並区を実現する



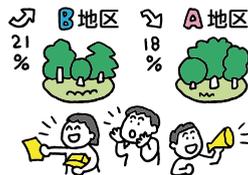
取組 23

一人で始められるみどりを増やすためのサポートを充実させる



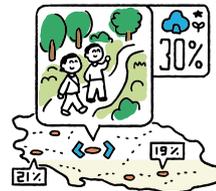
取組 24

「わたしが緑を増やさなきゃ」と思える新たなグリーン指標をつくる



取組 25

緑視率 30% の小さなモデルエリアをつくる



■ 交通

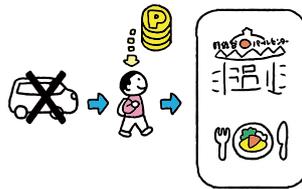
取組 26

車利用からの転換を推進するため、徒歩や自転車の利用を促進するようなアプリを開発し、便利さ・楽しさを伝える



取組 27

自動車を使わないことが杉並を楽しむことにつながるポイント制度を設ける



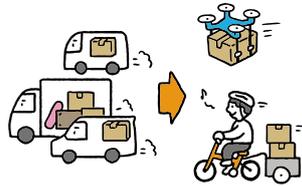
取組 28

車利用から自転車への切り替えを促す事業者の取組にインセンティブをつける



取組 29

物流で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に変化させる



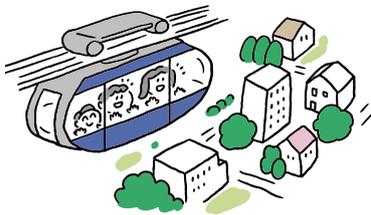
取組 30

東西の移動だけでなく南北移動も省エネで移動できる選択肢を増やす



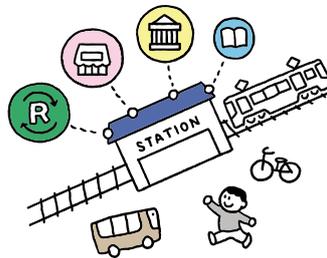
取組 31

区内の移動を快適に! 南北を楽しく空でつなぐ



取組 32

交通結節点を人にやさしく付加価値の高い場にする



取組 33

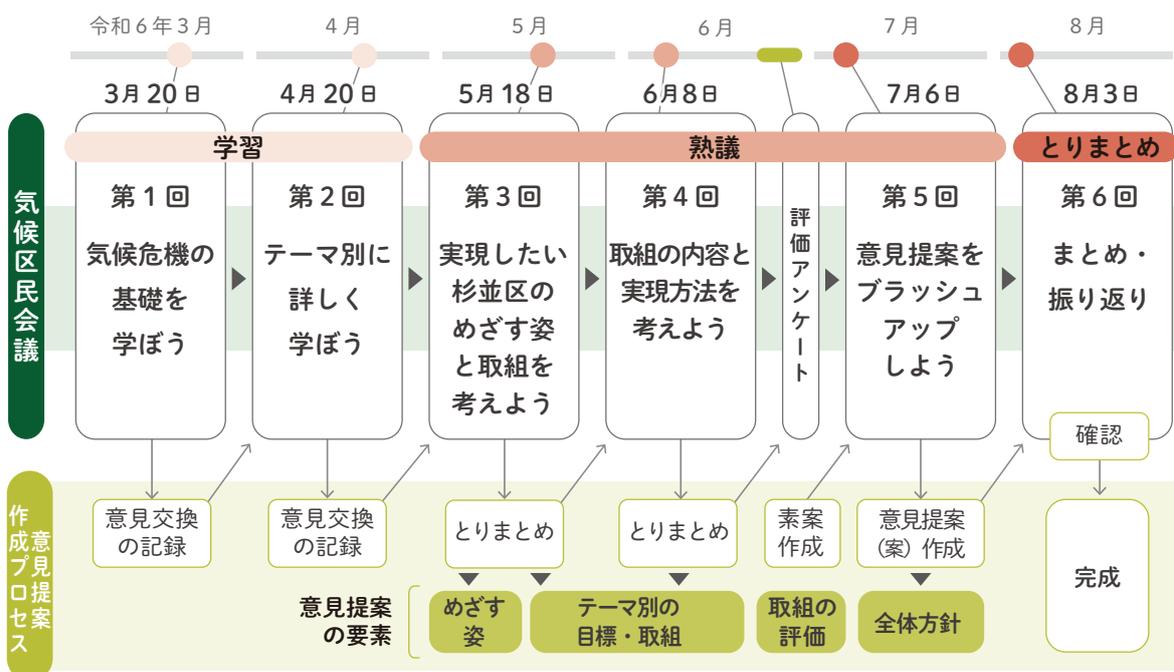
四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる



3 | 意見提案の作成プロセス

(1) 作成の流れ

気候区民会議での議論をもとに、以下のプロセスを経て意見提案をとりまとめました。



(2) 作成にあたって重視したこと

■「全体方針」の設定

「全体方針」は33の取組を推進する上で大事にすべき「共通の考え方」を設定しました。提案を実現していく中で、状況に応じてその内容や方法が変わってしまった場合でも、大切にすべき考え方を軸に立ち返ることを狙っています。

■ 提案の具体化

様々なステークホルダーを巻き込んだ、より具体的な意見提案にするため、取組を33に厳選し、一つひとつの内容を深めました。(提案として採用されなかった取組については、「参考：参加者が得た気づき」として紹介しています。)

■「取組の意義」と「杉並区に必要な理由」の言語化

提案の意図や背景を記載することで、より具体的な提案にすることができ、また生活者の目線で「なぜ杉並区に必要な取組なのか」を検討することで、杉並区の状況に即した提案ができるため、気候変動対策として「何を」実施すべきかの提案とともに、「なぜ」実施すべきかという点を議論し、言語化しました。

■訴求力のあるデザイン

取組を広めていくためには、提案内容がわかりやすく提示されていることも重要であることから、多くの方が理解しやすい、共感を得られる、訴求力のあるものとするため、デザイン及び編集を大切にしました。見やすいレイアウトやイラストを用いて視覚的に内容を伝えるなど、デザインに配慮しました。

杉並区気候区民会議
実施報告書

令和7（2025）年3月

発行 | 杉並区 環境部 環境課

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南1丁目15番1号
TEL : 03-3312-2111（代表） FAX : 03-3312-2316

登録印刷物番号
06-0106

